市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑤	那覇市伝統工芸ブランド確立事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ウ 文化コンテンツ産業の振興
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

伝統的工芸品を国内外にアピールして那覇発世界ブランドとして確立させ、その伝統工芸品の唯一の販売店及び体験工房である那覇市伝統工芸館を観光施設として整備し機能強化を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	30,142				
	(b) 予算現額	30,142				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	30,142	0			
	B. 執行済額	30,098				
	うち交付金充当額	24,078				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.9%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
伝統工芸品のブランディング強化・PR	目　標	（伝統工芸品のブランディング強化・PR）	（　）	（　）	（　）
	実　績	伝統工芸品のブランディング強化・PR			
那覇市伝統工芸館特別展示室の改築	目　標	（特別展示室の改築）	（　）	（　）	（　）
	実　績	特別展示室の改築			
那覇市伝統工芸館販売所POSレジの購入	目　標	（POSレジの購入）	（　）	（　）	（　）
	実　績	POSレジの購入			
琉球ガラス体験工房の窯の機能強化	目　標	（琉球ガラス体験工房の窯の機能強化）	（　）	（　）	（　）
	実　績	琉球ガラス体験工房の窯の機能強化			

達成状況説明

那覇市伝統工芸館の特別展示室を改築し、工芸品をより魅力的に展示することによりブランド力を向上する事ができた。琉球ガラス体験工房の窯を機能強化し、体験を希望する観光客等の受入環境を整えることができた。販売所にPOSレジを導入したので、ニーズ調査等を行いブランド商品開発に役立てたい。伝統工芸品のブランディング強化・PRでは、ブランドカラーを朱色に設定し、ショップバッグ等を作成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
1. 伝統工芸品のブランディング強化 2. 那覇市伝統工芸館特別展示室受入整備 3. 琉球ガラス体験の受入整備	目　標	（　）	（3指標の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		3指標の実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

那覇市伝統工芸館特別展示室を改築することにより、施設利用者の受入体制を整備することができた。
琉球ガラス体験工房の窯の機能強化をすることにより、体験希望者の受入体制を整備することができた。
那覇市の伝統工芸品のブランディング強化については、H24年度にブランドカラーは決定したので、H25年度以降さらなる強化を図っていきたい。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	那覇市伝統工芸館特別展示室を改築することにより、ハード面の整備は完了したが、特別展示室に展示する工芸品の充実や企画展の開催等ソフト面の課題が浮上した。 那覇市の伝統工芸品のブランディング強化・PRについては、ブランドカラーを設定したものの、ブランド確立には及ばずPRも不足していた。 販売所にPOSレジを導入し、購入者の年代や性別・人種等のマーケティングができるよう設定した。	那覇市伝統工芸館特別展示室のソフト面の充実を図る。 ブランドコンセプトの確立を図り、那覇市の伝統工芸品及び伝統工芸館を発信していく。 POSレジを利用してマーケティングを行う。

今後の取り組み方針

那覇市伝統工芸館に学芸員を配置し企画展を開催する等、ソフト面を充実させていく。
ブランドコンセプトに沿った販売所の改築、新商品の開発等を行っていく。
POSレジでマーケティングを行い、消費者のニーズを把握する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,098	30,098	24,078	6,020	

那覇市 30,098千円 → 委託料 30,098千円 → 那覇市伝統工芸館共同企業体 30,098千円

（那覇市の伝統工芸品のブランディング強化・PR
那覇市伝統工芸館特別展示室の改築
那覇市伝統工芸館販売所POSレジの購入
那覇市伝統工芸館琉球ガラス体験工房窯の機能強化）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑥	常設展音声ガイダンス事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	市民文化部　　文化財課 （※平成24年度中/市民文化部　博物館）	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

壺屋焼物博物館を観光施設としてグレードアップするため、常設展示コーナーの案内を外国人観光客に対応した多言語音声システムに整備する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,780				
	(b) 予算現額	3,780				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,780	0			
B. 執行済額		3,623				
うち交付金充当額		2,898				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.8%				

予算の状況の説明

・不要額157千円は、業務委託料の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
壺屋焼物博物館常設展音声ガイダンスシステムの整備	目　標	（音声ガイダンスシステム整備）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	音声ガイダンスシステム整備完了			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

常設展示１２箇所において、ipadを使用した６言語（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、沖縄方言）による音声、文字及び画像解説が行えるガイダンスシステムを構築し、展示案内サービスを平成25年3月末から実施している。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（H23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（H28年度）
壺屋焼物博物館常設展音声ガイダンスシステムの整備	目　標	（入場者数 17,131人）	（音声ガイダンスシステム整）	（　　）	（　　）	（入場者数 21,900人）
	実　績		音声ガイダンスシステム整備完了			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

音声ガイダンス利用者からは概ね好評な意見を得ており、壺屋焼の理解を深めるとともに本県伝統文化の情報発信に活用できている。今後は、壺屋焼物博物館入館者数の増加に向けて、音声ガイダンスシステムの利用促進を図る必要がある。

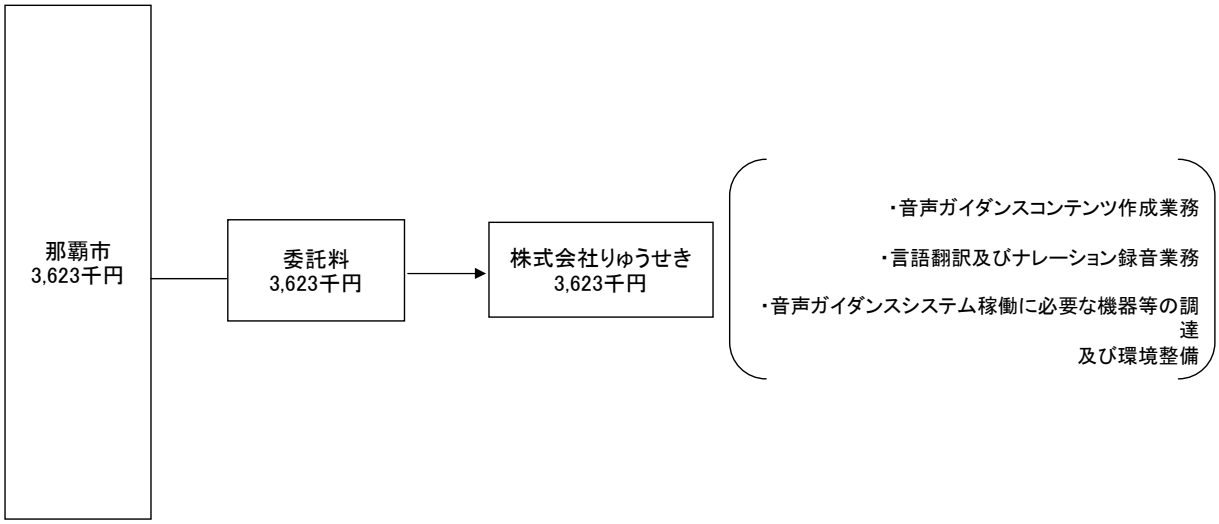
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・ipad本体の盗難防止策として、貸出し時に住所、氏名、連絡先及び免許証またはパスポートのナンバーを記入してもらっているが、煩わしがったり個人情報の記入を拒む外国人観光客も多い。 ・音声ガイダンスシステムの効果的な活用方法及び利用促進を図る。	・個人情報保護対策の徹底及び貸出し手続きの簡素化を図る必要がある。 ・外国人観光客の誘客への取組みを強化し、音声ガイダンスの利用者数を増加させる。

今後の取り組み方針

・貸出しの際は、必要最低限な個人情報の記入にとどめ、統計用データ収集後は速やかに裁断・破棄する。
・音声ガイダンス利用者の声を分析し、活用の利便性を図る。
・観光協会や沖縄コンベンションビューロー等との連携により、外国人観光客の来館を促す。
・マスコミやホームページ等の情報提供媒体を活用し、音声ガイダンス導入についての継続した情報提供を行い周知を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,623	3,623	2,898	725	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は一般競争入札において決定し、企業組織規模、実績、知識等においても妥当であったと考える。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑨	プラネタリウム番組開発事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章　1（5）　ウ 文化コンテンツ産業の振興
担当部課名	生涯学習部　中央公民館	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－（1）

事業内容	観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のプラネタリウムをグレードアップするため、番組制作システムを導入し、集客力のある番組を委託制作する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	31,398				
	(b) 予算現額	31,398				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	31,398	0			
B. 執行済額		30,641				
うち交付金充当額		24,512				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.6%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・プラネタリウム上映番組賃借 ・プラネタリウム上映自主番組開発 ・自主制作システム購入	目　標	（番組4本製作、1本借用）	（　）	（　）	（　）
	実　績	番組4本制作、1本借用			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	全国的に有名な番組をレンタルし上映することで、プラネタリウムの認知度を上げることができた。委託製作する番組に沖縄の民話や自然風景、うちなーぐちを取り入れることで、那覇市民だけでなく観光客にも強くアピールできる番組に仕上がった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（22年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
プラネタリウム年間観覧者数：23,000人	目　標	（22,000人）	（23,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		24,000人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	宮沢賢治の名作を元にした大ヒット作品「銀河鉄道の夜」を借用、投影する事で、科学や天文になじみのない層にもプラネタリウムに足を運んでもらうことができた。制作委託した番組は沖縄の民話や自然風景を取り入れ、沖縄ならではの番組が完成した。

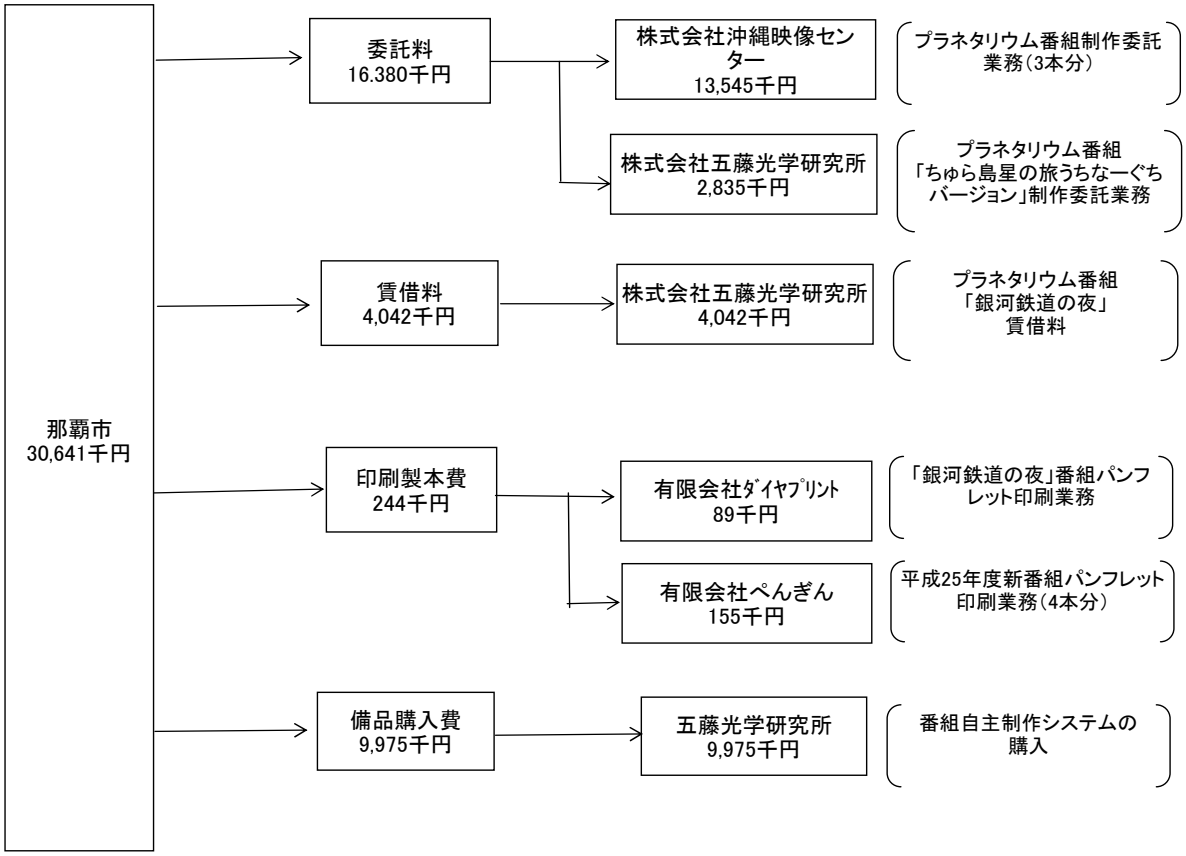
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	番組自主制作システムを購入したが、番組制作に必要な専門的な技術を職員が習得するのに時間がかかり、現状では十分に使いこなせていない。	メーカーから技術指導を受け技術習得に励み、将来的には職員の手でニュース性のある番組を制作できるようにしたい。

今後の取り組み方針

継続して番組を委託制作していくとともに、番組自主制作システムを活用して、ニュース性のある短いコンテンツ等は自作できるよう、職員のスキルアップを図る。
また、委託制作した番組を多くの市民や観光客に見てもらえるよう、チラシ配布やマスコミへの依頼等、広報活動に力を入れる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,641	30,641	24,512	6,129	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	番組内容を重視したため、番組制作の委託先選定はプロポーザル方式でおこなったが、これは妥当だと考える。印刷費は数社から見積書を徴収し最低価格の業者に決定。番組自主制作システムと番組借用は既設のプラネタリウムとの互換性、ソフトウェアの著作権等を考慮し決定したが、妥当だと考える。予算額は見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模となっている。費目、使途は必要最小限のものに限定し支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑩	壺屋地区シンボルシーサー整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	建設管理部　道路建設課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

観光都市としてのグレードアップを図るため、壺屋焼巨大シーサーをやちむん通りの入り口となる牧志壺屋線の広幅員の歩道部（シンボル広場）に設置し、併せて多言語の観光案内施設を整備する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	16,191				
	(b) 予算現額	16,191				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	16,191	0			
B. 執行済額		15,687				
うち交付金充当額		12,549				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		96.9%				
予算の状況の説明		・不要額が504千円発生しているが、シーサー設置工事費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施しており適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・壺屋地区のモニュメントの設置 シンボルシーサー1基	目　標	（　1基　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	1基			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：シンボルシーサー（H＝3.6m）設置完了。（平成25年2月9日供用開始）

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
シンボルシーサー音声案内利用回数	目　標	（　－　）	（1,000回/年）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		約3,600回			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：目標を上回った。
※音声案内を壺屋方言（地域代表者：町民会長）で語ることや、近隣に存在する同様のモニュメントとのコラボ（兄弟シーサーとの噂が。。。）が回数増に繋がったと考えられる。

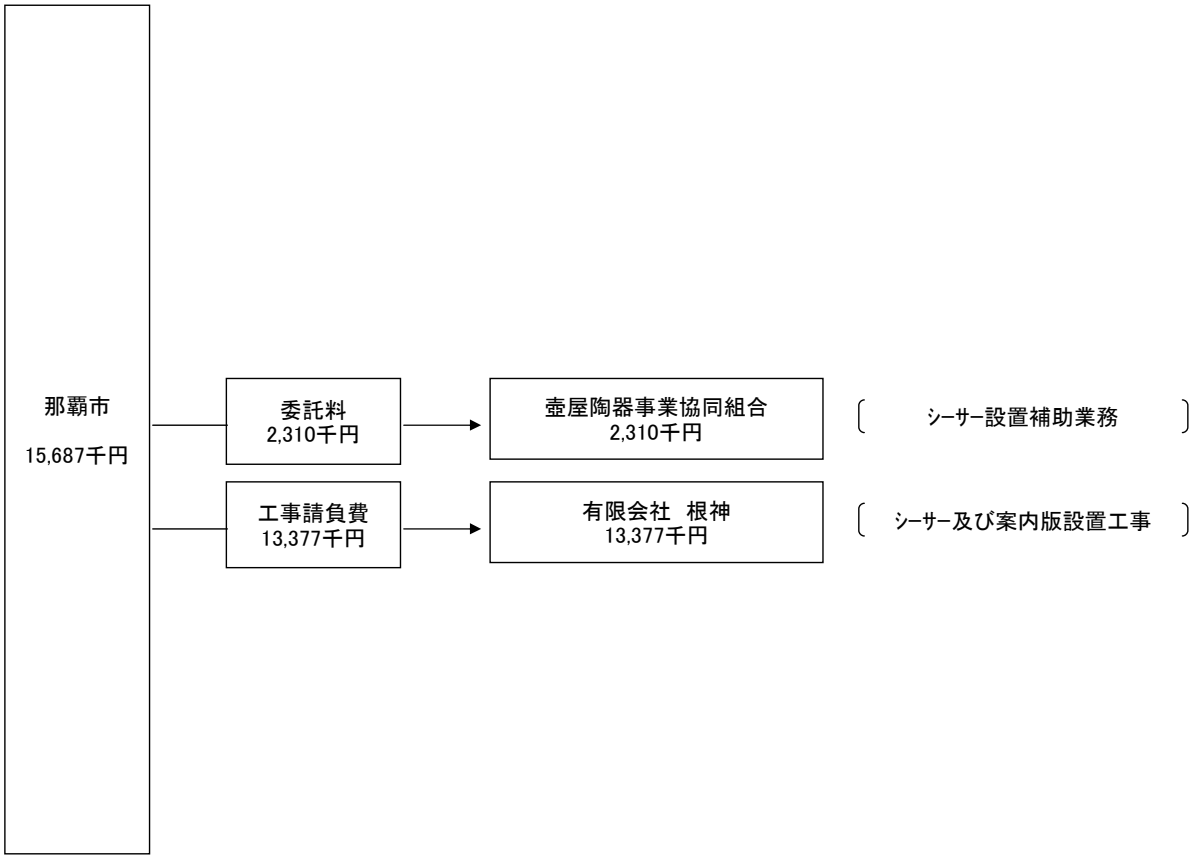
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①当該地区へのアクセスの向上 ②地域住民の満足度（愛着など）の向上 ③モニュメントを囲んだ地域イベントの開催	①については、他事業で取り組んでいる道路整備の推進と、併せて、案内板等の充実を図り、アクセスの向上に取り組んでいく。 ②及び③については、地域住民とのまちづくりを協働により進めていく中で取り組み、課題解決に繋げたい。

今後の取り組み方針

道路整備等による当該地区へのアクセスの向上を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,687	15,687	12,549	3,138	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに限定され、支出等に関する書類により確認でき、適正であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑫	首里地区回遊促進案内板等設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	都市計画部都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光都市としての景観・美観形成のため、特に観光客が多く、本市伝統文化の香りが残る首里城を中心とした首里地区に、地区内回遊促進を図るための調査を実施する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,027				
	(b) 予算現額	6,027				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,027	0			
B. 執行済額		5,723				
うち交付金充当額		4,578				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.0%				
予算の状況の説明		・不要額304千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・案内板等の設置に向けた実施計画案の策定	目　標	（実施計画案策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施計画案策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：実施計画案を策定した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
実施計画案の策定	目　標	（－）	（実施計画案策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施計画案策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：実施計画案を策定した。

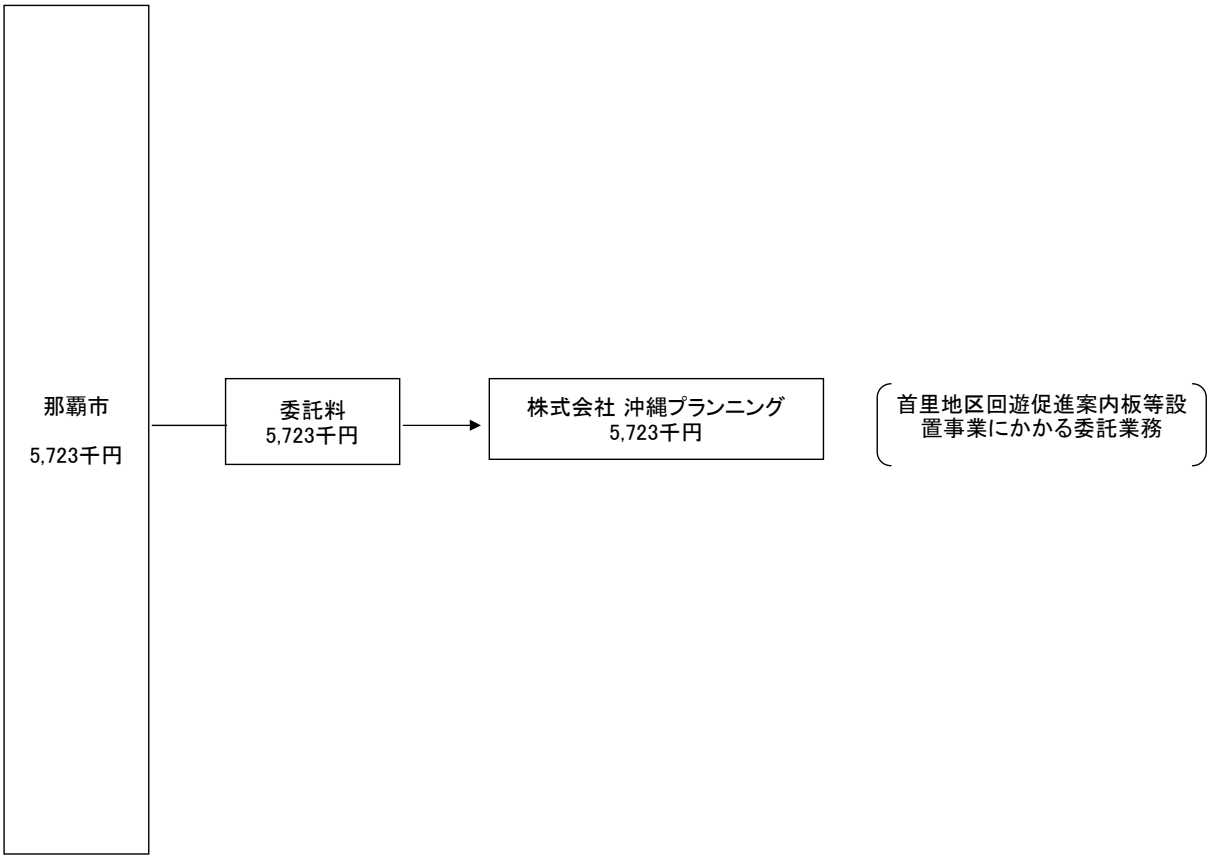
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	モノレール首里駅から首里城までの円滑な誘導及び、首里城から首里地区の回遊性向上に必要な方法として、案内板設置等の促進を図るための実施計画案を策定するものである。 しかしながら、系統的な案内板設置には一定の期間が必要であり、既存案内板の維持管理計画の調整も必要となる。	複数年計画として関係事業機関の全体計画への反映や、管理計画についてもより風化しにくい素材を選択するなど維持管理しやすい材質の選択を行う必要がある。

今後の取り組み方針

計画の促進のため今後も関係機関と調整を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,723	5,723	4,578	1,145	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○回遊促進策としての案内板等の設置に向けた実施計画案の作成業務であり、委託事業者は都市計画に精通した10業者による指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに限定され、支出等に関する書類により確認でき、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑮	亜熱帯庭園都市の歩行者専用道路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	企画財務部財政課 （上下水道局管理課）	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光地としてのグレードアップを図るため、那覇新都心シビックコア地区整備計画に基づき、官庁施設や商業施設をつなぐ亜熱帯庭園都市にふさわしい歩行者専用通路を整備した。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	12,600				
	(b) 予算現額	12,600				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	12,600	0			
B. 執行済額		10,800				
うち交付金充当額		8,640				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		85.7%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇新都心シビックコア地区内における歩行者専用通路整備延長	目　標	（　約75m　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	約75m			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：那覇新都心シビックコア地区における歩行者専用通路整備延長：約75m

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇新都心シビックコア地区内における歩行者専用通路の整備延長率	目　標	（　　）	（　100%　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

・ 那覇新都心シビックコア地区整備計画に基づいて計画された歩行者専用通路は、計画どおり整備を進めている。

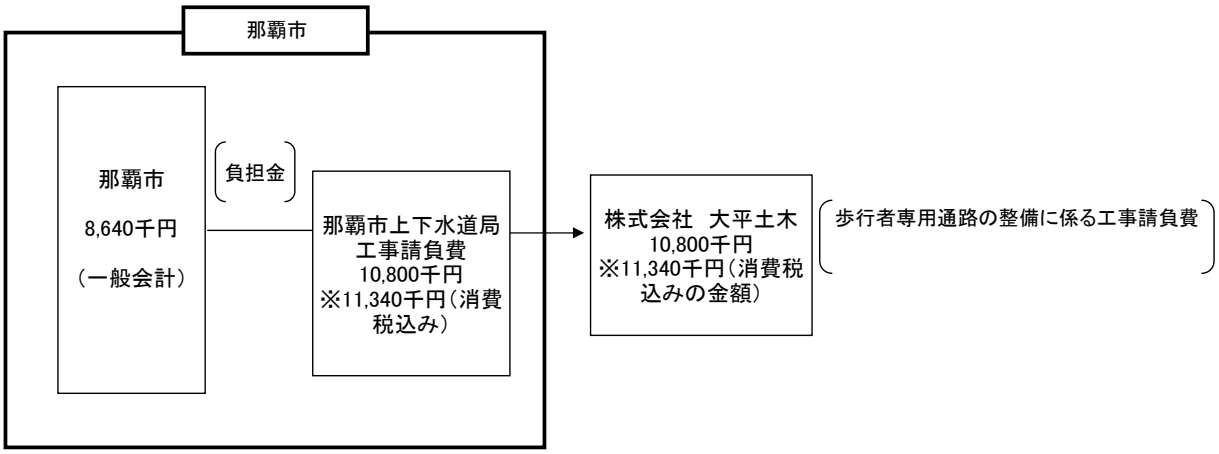
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	計画どおり整備を進めている。	現時点では、整備完了時期についての変更はない。

今後の取り組み方針

那覇新都心シビックコア地区整備計画に基づいて計画された残りの歩行者専用通路の整備については、民間の事業者により整備完了を予定している。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,800	10,800	8,640	2,160	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付金交付要綱に沿った事業であり、負担金支出は妥当である。○請負業者については、工事に当たって必要な技術者がいる登録業者より指名選定を行い、競争入札を実施して決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑯	市内観光地観光客安全対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	市民文化部　　市民生活安全課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	観光都市としてのグレードアップと、観光客等の安心安全確保のため、市内観光地に防犯カメラを設置する。
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	0				
	(b) 予算現額	14,548				
	(c) 増減額 (b-a)	14,548				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	14,548	0			
B. 執行済額		14,378				
うち交付金充当額		11,501				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.8%				
予算の状況の説明		・地域団体から、同団体が主体となって設置する街頭防犯カメラに対する支援要請があり、年度途中で事業化した。ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
補助件数：2地域（2団体）	目　標	（　2地域（2団体）　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	2地域（2団体）			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	主要観光地である2地域（那覇市松山及び国際通り）の主体となる団体と、地域の実情や事業を実施する上での負担割合等に関する意見交換を行い、事業化に結びつけた。 なお、記録画像の適切な管理を行なえるよう、事業化に至る前に那覇警察署と連携し、団体、警察、行政の3者で管理に関する協定書を結んだ。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
主要観光地（施設）における防犯カメラ設置補助件数：2件	目　標	（　－　）	（　2件　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		2件			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	主要観光地である、2地域（那覇市松山及び国際通り）で補助事業を実施した。 ・松山地域・・・主体：若松通り会、設置台数：15台 ・国際通り地域・・・主体：那覇市国際通り商店街振興組合連合会、設置台数：16台

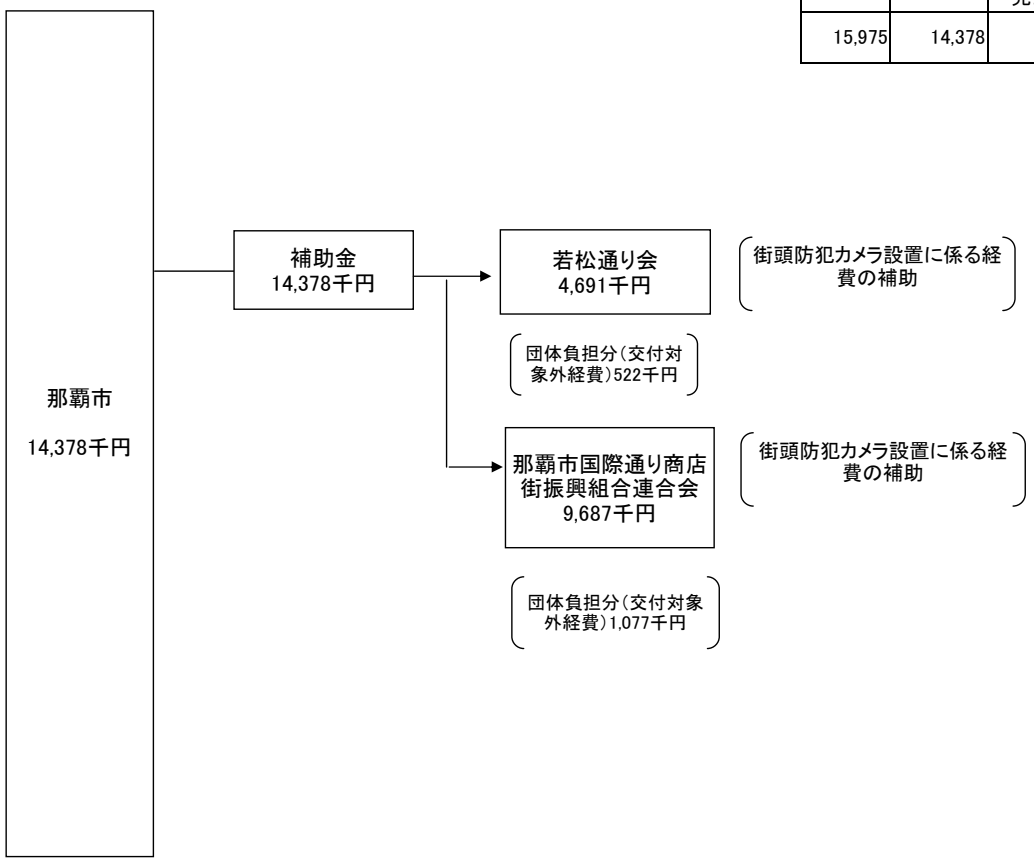
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	1. 団体負担分として、設置費の1割及び維持管理費が必要となるが、財政力が弱い団体においては、費用の捻出が難しい。 2. 団体が街頭防犯カメラを設置する際に、設置場所の許可に時間がかかる、または許可が得られないケースがあった。 3. 団体、警察、行政の3者で協定を結ぶことで、各自の役割を明確化した。	1. 団体が本事業の必要性を感じて、自主的に費用面の課題を解決していこうと思えるような意識付けを行う。 2. 今回は、年度途中で事業化し時間が短かく、団体と店主との交渉の時間が十分に取れなかったことが主な原因であった。

今後の取り組み方針

1. 本事業を検討している団体に、事業内容や費用負担面の説明を行い、事業実現に向けて団体加入率の拡大などを検討してもらう。
2. 要請にあたっては、団体が店主と十分な交渉を行い、設置場所を確定した上で提出するよう指導する。
3. 今後も協力関係を維持するよう努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,975	14,378	11,501	2,877	1,598



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助団体は、これまで地域防犯活動に取り組んでおり、本事業によって、さらなる安全安心なまちづくりを推進する上で、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については、団体から事業化に向けた要請を受けた時点でも補助内容の確認を行い、額の確定時における書類においても確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑳	那覇の観光イメージアップ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観・美観の確保のため、国際通り等の観光地の歩道路面に点在し景観悪化を招いている付着物の除去作業を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	23,888				
	(b) 予算現額	23,888				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	23,888	0			
B. 執行済額		23,888				
うち交付金充当額		19,110				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初の計画通り執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国際通りの環境美化（歩道付着物（ガム等）の一斉除去）の実施	目　標	（環境美化の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	環境美化の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・国際通り（3,000m、15,019㎡）、・沖映通り（900m、3,987㎡）、・中心商店街（①平和通り②むつみ橋通り③市場本通り④市場中央通り⑤新栄通り、970m、7,063㎡）のガム除去作業を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
国際通りの環境美化（歩道付着物（ガム等）の一斉除去）の実施	目　標	（－）	（歩道付着物除去）	（　）	（　）	（　）
	実　績		歩道付着物除去 249,520個			
【参考指標】	目　標	（－）	（－）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・国際通り（165,726個）、・沖映通り（61,689個）、・中心商店街（22,105個）のガム除去作業を行った。
・ポスター（A2）2,000枚、・チラシ（A4）5,000枚、・ステッカー（4C）2,000枚、・ポケットティッシュ40,000個を作成・配布し啓発活動も行った。

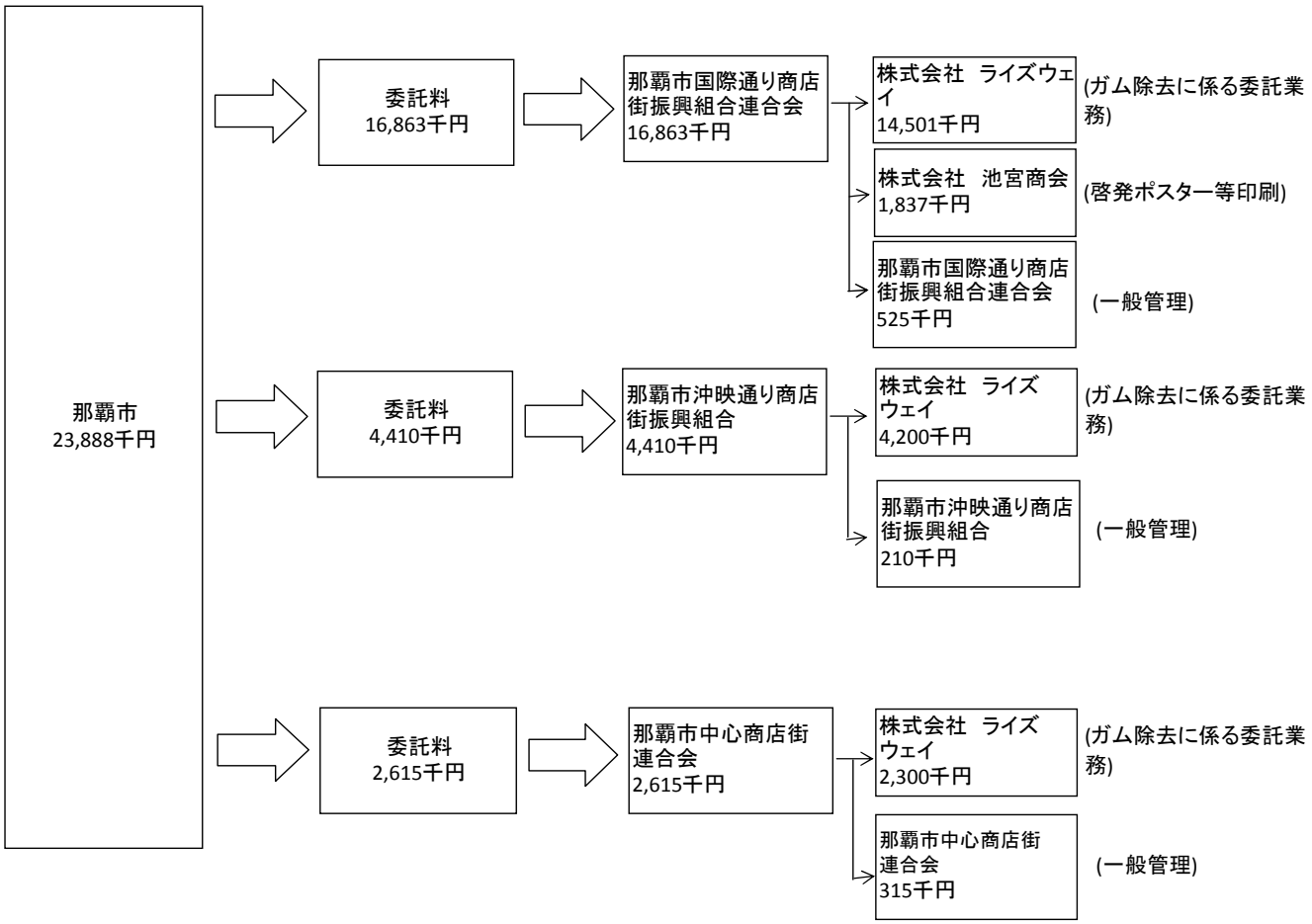
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・当該事業は、ガム除去の作業であり、歩道には油汚れ等も目立つ。それらの対応に苦慮している。	・各商店街の、美化へ対する積極的な取り組みが求められる。

今後の取り組み方針

・当該事業にて、美化作業を実施した歩道を各商店街等が維持できるよう、指導・助言・支援等を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,888	23,888	19,110	4,778	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・当該事業については、「那覇市国際通り商店街振興組合連合会」、「那覇市沖映通り商店街振興組合」、「那覇市中心商店街連合会」から、強い要請がなされており、これを受けて、行政、地域団体、市民との協働によるまちづくりに資する事業として、当該要請団体への事業委託という形で事業を実施した。　・事業内容及び費目については報告書類等により適正であると確定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－25	ベランダ緑化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ 価値創造のまちづくり
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、ベランダ緑化推進事業としてのブーゲンビレアの苗等の配布を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,500				
	(b) 予算現額	1,500				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,500	0			
B. 執行済額		600				
うち交付金充当額		480				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		40.0%				

予算の状況の説明

当事業はベランダ緑化の講習会を実施し、参加者にブーゲンビレア苗等を配布しているが、今年度、当初見込んでいた参加人数より実績が下回る見込みだったため、当初予算から900千円減額補正とした。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布：300鉢	目　標	（300鉢）	（　）	（　）	（　）
	実　績	240鉢			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

ベランダ等緑化講習会を全7回実施し、講習会の参加者にブーゲンビレア苗等の配布を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布：300鉢	目　標	（－）	（300鉢）	（　）	（　）	（　）
	実　績		240鉢			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

ベランダ等緑化講習会を全7回実施し、講習会の参加者にブーゲンビレア苗等の配布を行った。

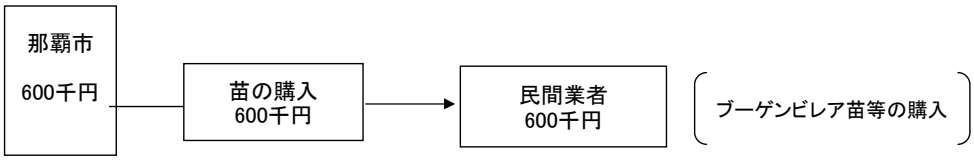
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当事業はベランダ緑化の講習会を実施し、参加者にブーゲンビレア苗等を配布しているが、今年度、当初見込んでいた参加人数より実績が下回っており、事業規模の検証、事業の啓発活動の取組方などの検証が必要である。	市民への当事業に関する情報発信の方法等を改善するとともに、他の施策とも連携しながら、更なる緑化に対する意識向上に資するべく、啓発活動により一層取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

他の施策とも連携し、緑化に対する啓発活動に努めながら、本市の緑化推進のためベランダ緑化推進事業を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
600	600	480	120	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費用・使途については事業目的に即し真に必要なものか等、支出関係書類等において確認を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－26	花いっぱい運動推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ 価値創造のまちづくり
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、市域を花でいっぱいにするための草花苗の配布等を実施する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,900				
	(b) 予算現額	3,774				
	(c) 増減額 (b-a)	874				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,774	0			
B. 執行済額		3,774				
うち交付金充当額		3,019				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明

市民団体等からの要望が多数あり、市域の花いっぱい運動を推進するため、当初予算から900千円増額補正とした。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布：26,000鉢	目　標	（26,000鉢）	（　）	（　）	（　）
	実　績	33,504鉢			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

市域の花いっぱい運動推進のため、全140団体（個人含む）に草花苗の配布等を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布：26,000鉢	目　標	（－）	（26,000鉢）	（　）	（　）	（　）
	実　績		33,504鉢			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

市域の花いっぱい運動推進のため、全140団体（個人含む）に草花苗の配布等を行った。

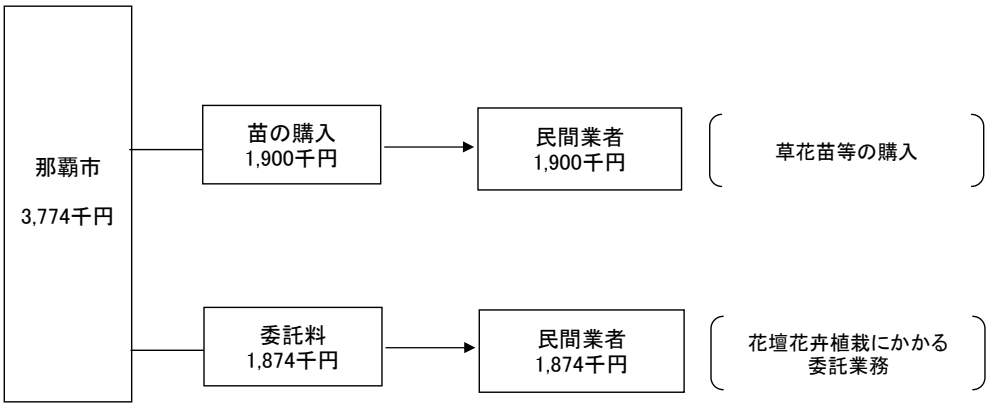
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今年度は、当初見込み以上の草花苗の配布希望があり、当初の事業目的を達成できたと考える。今後も取り組みを継続または発展していけるよう、適宜、事業の効率化等の検証を行っていく必要がある。	他の施策とも連携しながら、更なる緑化に対する意識向上に資するべく啓発活動に取り組みながら、継続的に事業を行う必要がある。

今後の取り組み方針

他の施策とも連携し、緑化に対する啓発活動に努めながら、本市の景観・美観の創出・継承のため、市域の花いっぱい運動を推進していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,774	3,774	3,019	755	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費用・使途については事業目的に即し真に必要なものか等、支出関係書類等において確認を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－27	緑の診断・生育事業（公共空間）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ
					価値創造のまちづくり
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、公共空間の樹木の専門家診断に基づく適切な手当や保全生育を図る。また、必要に応じて樹種の入れ替え等を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,000				
	(b) 予算現額	5,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,000	0			
	B. 執行済額	4,830				
	うち交付金充当額	3,864				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		96.6%				
予算の状況の説明		不用額が170千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
緑の診断・生育マニュアルの策定	目　標	（緑の診断・生育マニュアル策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	緑の診断・生育マニュアル策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	当初の目標どおり、緑の診断・生育マニュアルを策定した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
緑の診断・生育マニュアルの策定	目　標	（－）	（緑の診断・生育マニュアル策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		緑の診断・生育マニュアル策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	当初の目標どおり、緑の診断・生育マニュアルを策定した。

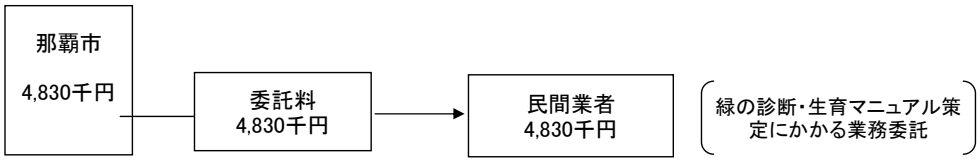
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今年度は、緑の診断・生育マニュアルの策定を行った。今後は、策定したマニュアルをもとに、効果的に事業を実施していくため、関係部署へﾏﾆｭｱﾙの周知を行う必要がある。	今後は、今年度（平成24年度）に策定したマニュアルをもとに事業を行っていくが、マニュアルの見直しなど、改善の余地がないか定期的に事業効果の検証を行う必要がある。

今後の取り組み方針

今後は、今年度（平成24年度）に策定したマニュアルをもとに、定期的に事業効果の検証を行いながら、緑の診断及び生育に必要な手当等を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,830	4,830	3,864	966	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定については、指名競争入札により行ったため、選定方法は妥当であったと考える。 ○費用・使途については事業目的に即し真に必要なものか等、契約一件書類等において確認を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－31	那覇大綱挽振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ 文化の発信・交流
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会に対して事業支援を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	12,779				
	(b) 予算現額	12,779				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	12,779	0			
B. 執行済額		12,779				
うち交付金充当額		10,223				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：計画通りに執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「那覇大綱挽」を実施する那覇大綱挽保存会に対して事業支援を実施	目　標	（那覇大綱挽への支援の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	那覇大綱挽への支援の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：事業支援として、一般社団法人　那覇大綱挽保存会へ那覇大綱挽の実施にかかる費用を補助した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
那覇大綱挽まつり会場来場者数	目　標	（320,000人）	（400,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		400,000人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

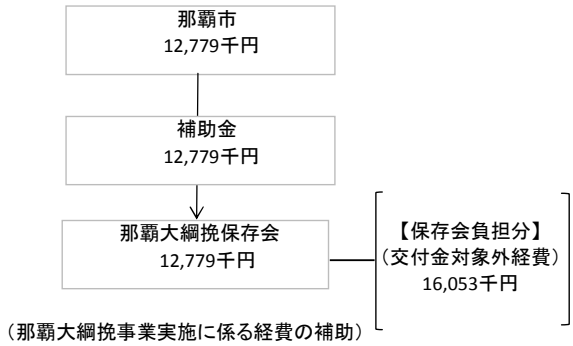
進捗状況説明：平成24年度は、那覇大綱挽保存会が補助金を活用し、新たな桟敷席を購入する等、円滑に事業を実施した。
大綱挽の前日に行われる、市民民俗・伝統芸能パレードには、初めてディズニーパレードやミス・インターナショナルも参加し、例年よりも来場者数が大幅に増加したと思われる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①まつり当日、大綱挽の観客で混雑しており安全確保の面で不安がある。 ②大綱挽保存会の自主財源が必要である。	①動員者数の確保や大綱挽会場の動線の確保、案内の方法の改善策を検討する。 ②新たに購入した桟敷席に寄付団体名を付ける等、寄付金収入が得られるように事業を行う等。

今後の取り組み方針

補助交付団体である那覇大綱挽保存会に改善策の検討・提案を行ってもらい、安定したまつり運営が行えるよう、指導・助言を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）



総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,832	12,779	10,223	2,556	16,053

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○那覇大綱挽の保存・継承を行っている那覇大綱挽保存会に補助金交付を行っている。 ○補助金交付額は、那覇大綱挽総事業費約28,000千円のおよそ5割以下の補助となっている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－32	琉球王朝祭り首里振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ 文化の発信・交流
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会に対して事業支援を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,036				
	(b) 予算現額	6,036				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,036	0			
B. 執行済額		6,036				
うち交付金充当額		4,828				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「琉球王朝祭り首里」を開催する首里振興会に対して事業支援を実施	目　標	（「琉球王朝祭り首里」への支援）	（　）	（　）	（　）
	実　績	「琉球王朝祭り首里」への支援			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：事業支援として、首里振興会へ「琉球王朝祭り首里」実施に係る費用を補助した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
琉球王朝祭り首里観客動員数	目　標	（55,000人）	（56,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		58,000人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

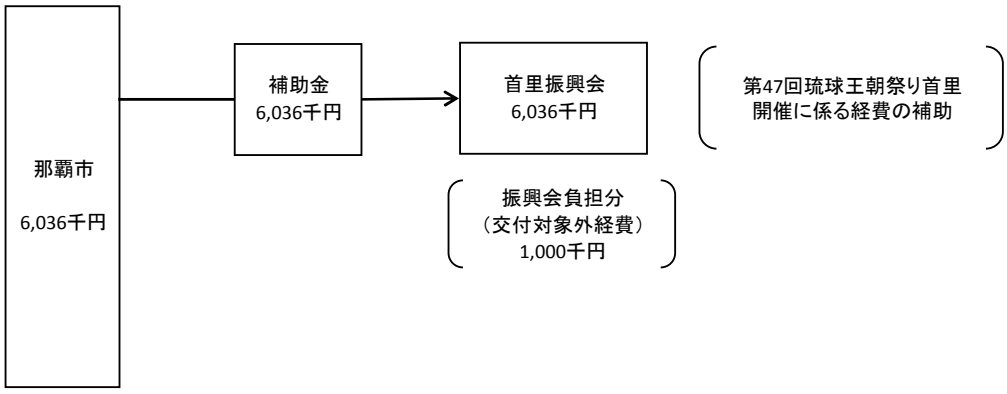
進捗状況説明：天候に恵まれ、来客数が増加した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光客の誘導 ・駐車場や会場への誘導	・首里振興会事務局との連絡体制の強化

今後の取り組み方針
・首里振興会事務局と那覇市との業務分担及び連携方法を再確認し、スムーズな事業進行を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,036	6,036	4,828	1,208	1,000



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は祭りの主催団体であり、支出先として妥当である。 ○費用について、補助金の使途として適切でない人件費や食料費等は独自予算で処理しており、補助金の使途は適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－33	プロ野球キャンプ等支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	46,142				
	(b) 予算現額	46,142				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	46,142	0			
B. 執行済額		41,517				
うち交付金充当額		33,213				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		90.0%				

予算の状況の説明：ほぼ計画通りに執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「那覇の日」観光誘客キャンペーンの実施	目　標	（キャンペーン実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	キャンペーン実施			
キャンプ受入施設の整備	目　標	（施設整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績	施設整備			
キャンプ期間中の警備	目　標	（安全確保のための警備実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	安全確保のための警備実施			
公式戦・イースタンリーグ戦の開催支援	目　標	（公式戦・ｲｰｽﾀﾝﾘｰｸﾞ戦の開催支援）	（　）	（　）	（　）
	実　績	公式戦の開催支援			

達成状況説明

・なはの日（7月8日）に東京ドームにて「めんそーれ沖縄・なはデー」を開催し、会場で那覇のPRを行った。
・キャンプ受入のため、大型テントの設置撤去、投手エリア・サブグラウンドの整地、陸上競技場の芝の整正。
・キャンプ期間中の来場者の安全確保のための警備。
・プロ野球公式戦への補助金

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
読売巨人軍那覇キャンプ見学者数	目　標	（9,500人／日）	（9,500人／日）	（　）	（　）	（　）
	実　績		5,796人／日			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

【下回った理由】
WBC日本代表に巨人軍から8選手が選出され、那覇キャンプに参加しなかった影響もあり、来場者が目標より下回った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	なはの日キャンペーンについては、問題なく実施できているが、同行するエイサー隊の人数を増やすことができればより大きな効果が期待できる。 受入施設の整備については、天候にも左右されるので余裕をもった発注が望ましい。 警備については、キャンプ期間及び内容により実施日数が左右されるので、事前の準備が難しい。 公式戦の補助金については、本県が離島であるため、渡航費に多くの費用がかかる。今後も継続して公式戦を誘致するためには補助金の額を検討。	エイサー隊の人数を増やせればより盛大な演出が可能となる。 余裕をもった発注が望ましい。 早めの情報収集が必要。 主催者の負担を減らすためにも補助金の増額が可能か検討。

今後の取り組み方針

プロ野球のキャンプおよび公式戦を継続させるために、受入体制、施設整備の充実を図っていく。
プロ野球球団に公式戦開催の要請活動も実施していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
41,517	41,517	33,213	8,304	

- 那覇市 41,517千円
  - 委託料 30,284千円
    - （株）アカネクリエーション 700千円（なはの日映像・チラシ製作）
    - （株）読売新聞社 246千円（なはの日チラシ配付）
    - （有）ターフメンテナンス・ヒガ 7,350千円（陸上競技場不陸整正）
    - （有）西原農園 8,925千円（屋外ブルペン及びグラウンド整備）
    - 砂辺松福テント 8,085千円（大型テント設置撤去）
    - （株）シミズオクト 4,978千円（キャンプ警備）
  - 補助金 2,000千円
    - 読売巨人軍那覇協力会 1,000千円（イースタンリーグ公式戦）
    - 琉球放送（株） 1,000千円（プロ野球公式戦）
  - 備品購入費 5,113千円
    - マチダテクノ（株） 4,150千円（イレクターフェンス）
    - 興洋電子 963千円（無線機）
  - 使用料及び賃借料 1,371千円
    - 沖縄日立キャピタル（株） 1,096千円（トレーニング器具リース）
    - 奥武山公園運営管理事務所 275千円（施設使用料）
  - 事務費 2,749千円（旅費、消耗品、広告料、共済費、賃金）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は入札、公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○補助金については、主催者以外の他者との競争は無いので随意契約としています。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－34	NAHAマラソンランナーリピーター促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(3)－イ 圏域の特色を生かした産業の振興 (ア)観光リゾート産業の振興
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光関連イベントの支援強化を図るため、NAHAマラソンのイメージアップを図り、県外参加者のリピータを増やすための交流イベントを開催する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,736				
	(b) 予算現額	4,736				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,736	0			
B. 執行済額		4,736				
うち交付金充当額		3,788				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ジョガー同士の交流を促進する各種イベントの開催	目　標	（交流イベント開催）	（　）	（　）	（　）
	実　績	交流イベント開催			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：NAHAマラソンゴール後にジョガー同士が交流できる場の提供。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
NAHAマラソンジョガー交流会参加者数	目　標	（0）	（800人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		800人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：悪天候のために参加者は約800人程度であった。

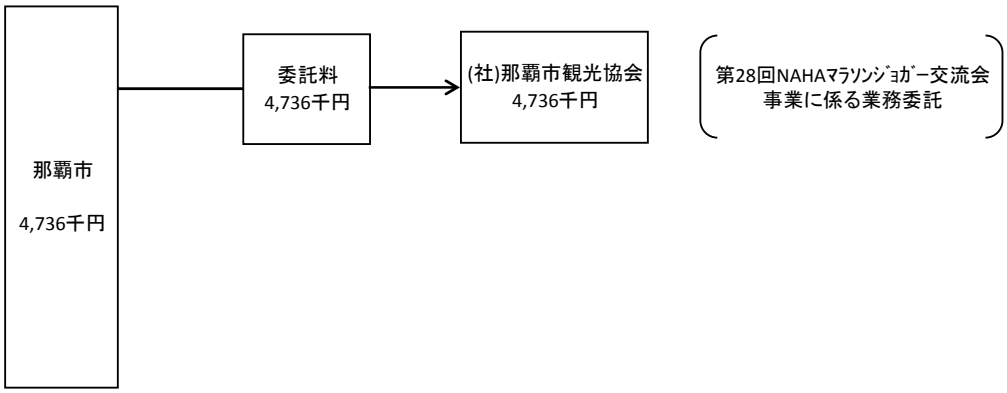
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・雨天時の対策 ・ジョガーを交流会場へ誘導する導線 ・各市町の観光PR及び物販の内容	・大型テントの増設検討 ・会場内のテントブース配置の見直し及び誘導路の整備 ・観光PRの充実及び物販内容の見直し

今後の取り組み方針

NAHAマラソン実行委員会内に設置するジョガー交流会運営委員会において、24年度の留意点を考慮のうえで改善策を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,736	4,736	3,788	948	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者(那覇市観光協会)はNAHAﾏﾗｿﾝ実行委員会内に設置されたｼﾞｮｶﾞｰ交流会運営委員会の所属する団体であり選定は妥当であると考えている。 ○観光協会が会場設営等業務を委託する際には2社から見積を取り低価格の業者を選定し、出展者はﾏﾗｿﾝｺｰｽ上の南部広域市町村圏組合に限定していることからこの事業の目的から鑑み、支出等に関して適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－35	プロ野球キャンプにぎわい創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	21,450				
	(b) 予算現額	21,450				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	21,450	0			
B. 執行済額		21,410				
うち交付金充当額		17,128				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.8%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
巨人軍への「かりゆしウェア」贈呈、着用PR	目　標	（「かりゆしウエア」贈呈、着用PR）	（　）	（　）	（　）
	実　績	「かりゆしウエア」贈呈、着用PR			
春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等の実施	目　標	（ステージイベント等の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	ステージイベント等の実施			

達成状況説明

・キャンプ期間中には多くの方に来場いただき、県内一のにぎわいを見せた。
・選手へかりゆしウェアを贈呈して着用していただいた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
読売巨人軍那覇キャンプ見学者数	目　標	（9,500人／日）	（9,500人／日）	（　）	（　）	（　）
	実　績		5,796人／日			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

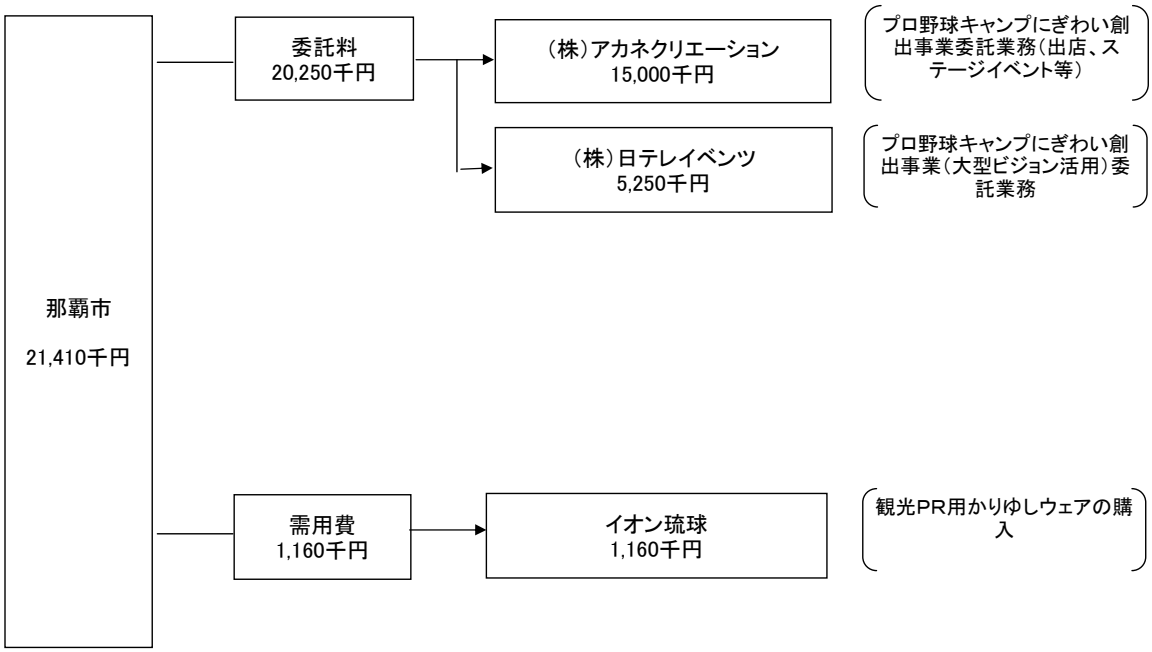
【下回った理由】
WBC日本代表に巨人軍から8選手が選出され、那覇キャンプに参加しなかった影響もあり、来場者が目標より下回った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	観客の入りが天候に左右される。	雨天時の対策を徹底し、より楽しめる会場としたい。

今後の取り組み方針
今後もより楽しめる会場にするための取り組みを推進していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,410	21,410	17,128	4,282	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○随意契約も権利の都合上、他者との競争は無いため随意契約としている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－36	国際通りとマチグワァーのにぎわい事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	ひやみかちマチグワー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントを開催する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	77,127				
	(b) 予算現額	77,127				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	77,127	0			
B. 執行済額		77,024				
うち交付金充当額		61,619				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.9%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
マチグワ―でのイベント実施	目　標	（週4～5回 約140日）	（　）	（　）	（　）
	実　績	176日			
各通り会のイベント支援 マチグワ―への集客PR	目　標	（広告等支援）	（　）	（　）	（　）
	実　績	毎月のイベントをチラシにし通り会のイベント告知			

達成状況説明：平成24年９月から平成25年３月までひやみかちマチグワ―館、周辺通り等でイベントを実施し、7か月で176日、のべ32000人の集客を得た。通り会のイベントをマチグワ―館のイベントチラシ（毎月約10000枚作成）に掲載し、PR支援を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
さいおんスクエア前広場イベントへの来場者数	目　標	（0）	（1,000人／日）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1,158人／日			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：さいおんスクエア前広場では毎週、金、土、日にイベントを開催し、7ヶ月で63回実施。のべ73000人の来場者数であった。

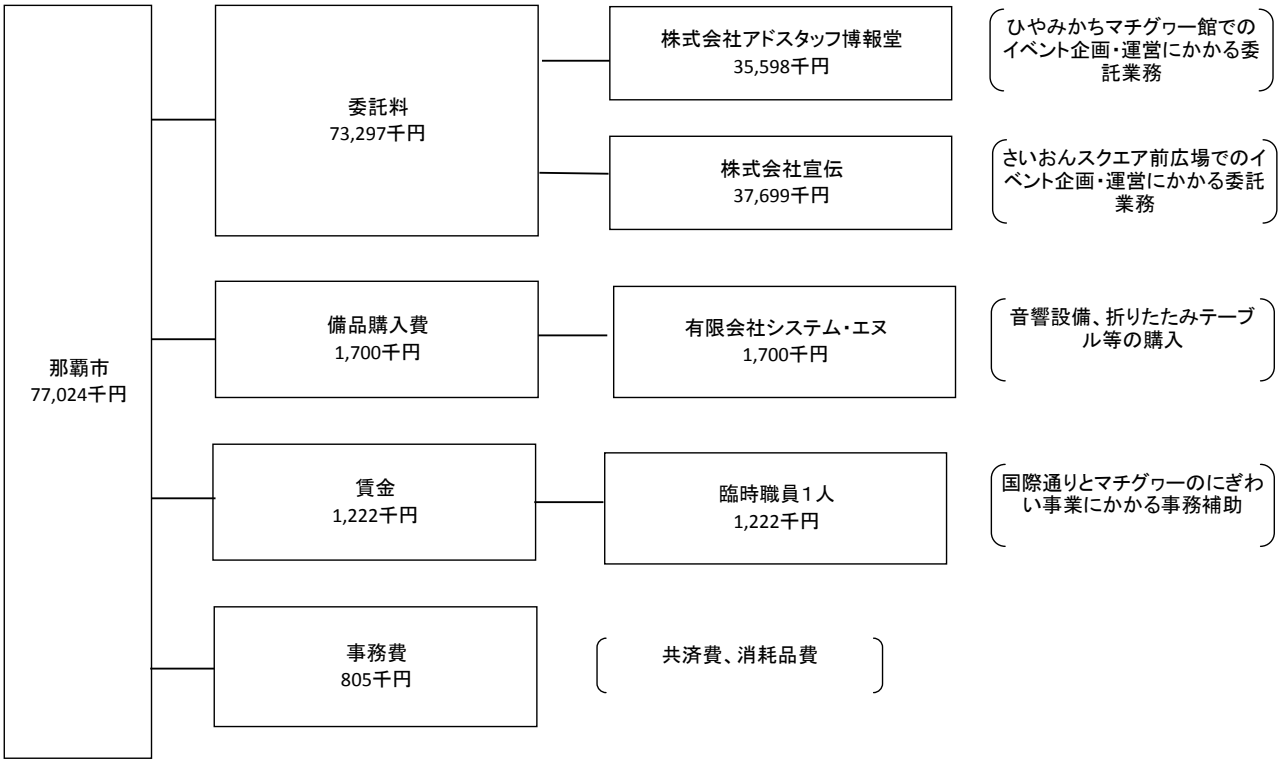
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ひやみかちマチグヮ―館、さいおんスクエア前広場、ともに目標を達成した。 アンケートでは88，5%が面白かったと答えており、満足度も高かったと評価できる。 しかし、50代から60代が来場者の5割を超えており、次世代を担う若い世代への誘客が課題となる。 また、イベント集客による周辺商店街への経済効果についての検証がされていないことも課題である。	来場者数については、前年度と同等の集客を目標とし、多様な年齢層に来場してもらえるように、工夫することが必要。 また、周辺商店街への経済効果を意識したイベントを行い、商店への聞き取り調査を行うことで実施の効果をはかる必要がある。

今後の取り組み方針

事業委託業者へはひやみかちマチグヮ一館での定期的なイベント（週3・4回以上）で前年と同等の集客をすることを目標とし、若い世代を誘客できるようなイベントを実施してもらう。
また、周辺商店街への経済効果を意識したイベントを実施し、効果の検証をするよう求める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
77,024	77,024	61,619	15,405	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーザル方式で、企画提案、企業組織、実績等をふまえて選定をしており妥当である。 事業実績からも妥当な予算であったと言える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－37	パフォーマンス等による国際通り活性化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光誘客のため、国際通りトランジットモールでのイベント・パフォーマンス等を行うことにより、国際通りの活性化を推進する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,184				
	(b) 予算現額	9,184				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,184	0			
B. 執行済額		8,265				
うち交付金充当額		6,612				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		90.0%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国際通りトランジットモールの集客活動（パフォーマンス、音楽ライブ等）の支援	目　標	トランジットモール集客活動支援（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	トランジットモール集客活動支援			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・トランジットマイルでのパフォーマンスイベントを充実させるべく、新たなパフォーマーの発掘や、観客からの声を収集した。12週（回）開催した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
トランジットマイル開催時の通行者数	目　標	（－）	（20,000人／日）	（　）	（　）	（　）
	実　績		20,000人／日			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・パフォーマンスの観客を1日あたり1600人～1700人集め、トランジットマイル全体（通行者含む）では、20,000人の来街があった。

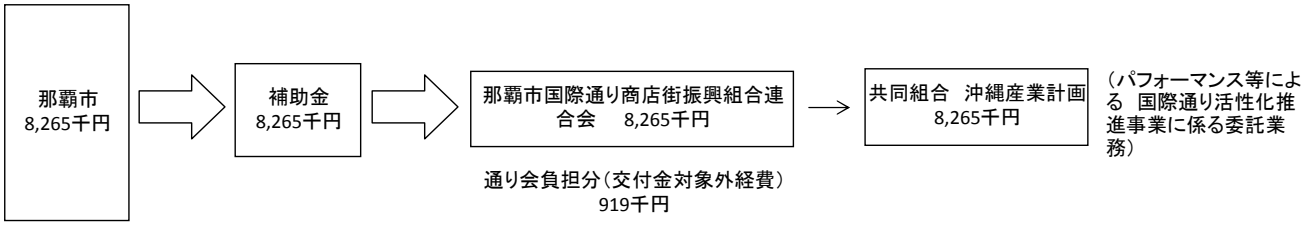
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・当該事業にて、パフォーマーを登録制にし、運営していく中で、未登録のパフォーマーをうまく引きこむことができるか。	・当該事業で、発掘したパフォーマーや、これから活躍できる若いパフォーマーの育成の場としても活用できるイベントにしてもらいたい。

今後の取り組み方針

・当該事業にて、発掘したパフォーマーの活用や、アンケート結果等を参考にし、今後のトランジットマイル運営に生かせるよう、連携していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,184	8,265	6,612	1,653	919



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助事業者である那覇市国際通り商店街振興組合連合会は、トランジットマイルを主催・運営している団体であり、妥当と考える。　・事業内容及び費目については報告書類等により適正であると確定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－38	国際通りトランジットマイル推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの実施主体である国際通り商店街振興組合連合会に対して事業支援を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,520				
	(b) 予算現額	1,520				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,520	0			
B. 執行済額		1,520				
うち交付金充当額		1,216				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国際通りトランジットモール環境整備の支援	目　標	（トランジットモール実施の支援）	（　）	（　）	（　）
	実　績	トランジットモール実施の支援			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：国際通りの活性化を目指して、平成24年7月から平成25年3月までの間、毎週日曜日の12時から18時まで、県庁北口交差点～蔡温橋交差点の約1.3Kmをトランジットモール区間として実施した、那覇市国際通り商店街振興組合連合会へ事業支援を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
トランジットマイル開催時の通行者数	目　標	（－）	（20,000人／日）	（　）	（　）	（　）
	実　績		20,000人／日			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：トランジットモールの実施により、平均20,000人／日（平均）の来街者があり、事業による国際通りへの集客効果があった。また、平成24年12月から3月までの間はトランジットモールにあわせて、パフォーマンス等による国際通り活性化推進事業を実施し、パフォーマンスや音楽ライブ等により、国際通りが活性化された。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・トランジットモールの実施により、国際通りへの来街者が増加し、一部店舗の売上増加も報告されている。一方、実施時間中は一般車両の通行が制限されることから、国際通りに近い周辺商店街への影響が懸念される。 ・雨天時や猛暑日は、来街者が減少傾向にある。	・国際通りと周辺商店街を来街者が回遊し、中心市街地内での滞留時間及び消費活動の増加を促進する取組が求められる。 ・雨天時や猛暑日を逆手に取った誘客イベントの実施や来街者受入環境の整備が求めれれる。 ・広告や寄付収入など、自主財源の確保を目指した取り組みが必要である。

今後の取り組み方針

事業主体である国際通り商店街振興組合連合会に改善策の検討・提案を求め、安定した事業運営が行えるよう、指導・助言を行う。
また、当該事業が、国際通りの活性化と合わせて、周辺商店街への誘客及び販売促進に繋がる事業となるよう、国際通り及び周辺商店街が連携する取り組みの支援を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,020	1,520	1,216	304	500

那覇市
1,520千円

⇒

補助金
1,520千円

⇒

那覇市国際通り商店街振興組合連合会
1,520千円
（補助内容：交通規制に係る人件費の補助）

組合負担分（交付金対象外経費）500千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者である那覇市国際通り商店街振興組合連合会は、国際通りを地区とする商店街振興組合で構成されており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から額の確定時において支出に関する書類により確信し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－39	ストリートダンスバトルin国際通り観光誘客事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光都市としてのグレードアップを図るため、国際通りでのトランジットモールを活用した定期的なダンスイベントを実施し新たな観光資源とする。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,550				
	(b) 予算現額	7,550				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	7,550	0			
B. 執行済額		2,049				
うち交付金充当額		1,639				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		27.1%				

予算の状況の説明

当初予定より事業開始が遅れたため、事業実施計画を変更し、当初予定していた事業規模を縮小し事業実施を行った。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国際通りを会場とした定期的なダンスイベントの実施	目　標	（ダンスイベントの実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1月～3月毎月1回実施			
ダンスを観光資源とした観光都市PR	目　標	（観光都市PRの実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	観光都市PRの実施			

達成状況説明

○平成25年1月～3月の第3日曜日に国際通りてんぶす前広場「ポケットパーク」において、ストリートダンスコンテスト「King of Street」を開催（計3回）。
○プロダンサーを中学・高校へと派遣し、ダンスレッスンを行った。2月と3月（計2回）行っている。
①訪問（那覇市立石嶺中学校、参加人数26名）
②訪問（那覇高等学校、参加人数32名）

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
ストリートダンスバトル来場者数	目　標	（－）	（6,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		6,000人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

集客人数　毎月約2000人（延べ人数推定）の観覧者【県内　7～8割、観光客2～3割】
≪参加者≫
平成25年1月20日（日）：キッズ部門10チーム、一般10チーム、平成25年2月17日（日）：キッズ部門10チーム、一般4チーム、平成25年3月17日（日）：キッズ部門5チーム、一般9チーム

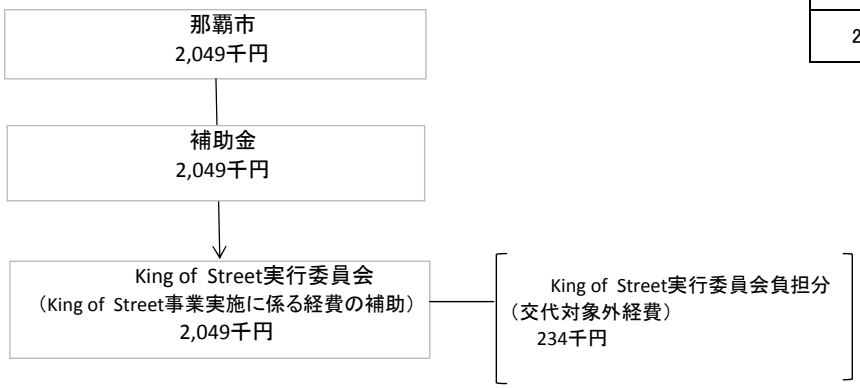
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①エントリー数が伸びない ②現在、雨天時の対策が施されておらず、雨天の場合イベントの中止を余儀なくされる。 ③スポンサー獲得について、自主財源の確保が必要。	①H24年度は、告知不足によりダンス関係者への認知度が低かった。周知・広報について検討してもらう。 （県内ダンススタジオへの定期的なポスティング、テレビ、ラジオ等を利用したプロモーション活動の実施）などを提言。 ②パワーテントの設置を検討する。 ③県外および県内広告代理店を通して、スポンサー獲得を行う。

今後の取り組み方針

補助交付団体である「King of Street実行委員会」には、課題の検証及び改善事項の提案を行ってもらい、適正な予算管理の上、事業実施を行ってもらう。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,283	2,049	1,639	410	234



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○King of Street事業実施プロジェクト団体である「King of Street実行委員会」に補助金交付を行っている。 ○当初予定より事業開始が遅れたため、事業計画を見直し事業実施規模に見合った額へと変更している。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－40	中心商店街活性化支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、国際通り等中心商店街の振興組合等が行う活性化のための研修事業やイベント等の支援を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,500				
	(b) 予算現額	2,500				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,500	0			
B. 執行済額		1,777				
うち交付金充当額		1,421				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		71.1%				

予算の状況の説明：悪天候等の理由により、当初計画していたイベント事業の一部が中止されたため、不用額が生じた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中心商店街（マチグヮー）が実施するイベント等の支援	目　標	（　9件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	9件			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：中心市街地の活性化に向けた創意工夫による積極的な取り組みを行う商店街及び通り会等に対して、事業費の一部を支援する。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
中心商店街（マチグヮー）が実施するイベント等の支援件数	目　標	（　12件　）	（　9件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		9件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：商店街及び通り会等が実施した以下のイベントに対して、事業費の一部を支援した。
①家族みんなでカラオケ大会、②栄町市場ライブ、③壷屋やちむん通り祭り、④うりずん横町バルーンフェスタ、⑤ハロウィーン仮装大会、⑥おきえいイルミネーション、⑦イルミネーションinガーブ川、⑧むつみ橋イルミネーション、⑨太平通りアモーレ芸能団

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・特段の課題はみられない。 理由として、雨天等の悪天候により、イベントが中止になった事業もあるが、概ね計画通り実施されている。また、イベントを継続的に実施することにより、認知度、集客率も向上の傾向にあり、当該事業が中心市街地の活性化に寄与しているものと考える。	・現在は、商店街及び通り会等が主体的に実施するイベントを支援することで、中心市街地の認知度及び集客率の向上を目指している。 将来的には、これらの取り組みにより、商店街及び通り会の会員数、売上の増加を目指し、支援を必要としない商店街及び通り会を目指す。

今後の取り組み方針

将来的には、これらの取り組みにより、商店街及び通り会の会員数、売上の増加を目指し、支援を必要としない商店街及び通り会を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,451	1,777	1,421	356	674

那覇市
1,777千円

⇒ 補助金（70千円） ⇒ 新栄通商店街振興組合（70千円）
組合負担分（交付金対象外経費）27千円

⇒ 補助金（155千円） ⇒ 栄町市場商店街振興組合（155千円）
組合負担分（交付金対象外経費）59千円

⇒ 補助金（300千円） ⇒ 壷屋やちむん通り会（300千円）
組合負担分（交付金対象外経費）114千円

⇒ 補助金（148千円） ⇒ うりずん横町通り会（148千円）
組合負担分（交付金対象外経費）56千円

⇒ 補助金（179千円） ⇒ 那覇市平和通り商店街振興組合（179千円）
組合負担分（交付金対象外経費）68千円

⇒ 補助金（157千円） ⇒ 沖映通り商店街振興組合（157千円）
組合負担分（交付金対象外経費）59千円

⇒ 補助金（300千円） ⇒ ガーブ川中央商店街組合（300千円）
組合負担分（交付金対象外経費）114千円

⇒ 補助金（281千円） ⇒ むつみ橋通り会（281千円）
組合負担分（交付金対象外経費）106千円

⇒ 補助金（187千円） ⇒ 太平通り商店街（188千円）
組合負担分（交付金対象外経費）71千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者である商店街及び通り会は、商店街活性化助成事業補助基準に該当しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から額の確定時において支出に関する書類により確信し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－41	マチグヮー屋台村構想事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光誘客と観光地としてのグレードアップを図るため、国際通り及びさいおんスクエア周辺など中心市街地に屋台村を設置する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	21,014				
	(b) 予算現額	21,014				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	21,014	0			
B. 執行済額		21,013				
うち交付金充当額		16,810				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はおおむね実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
屋台村の実施回数	目　標	（　90回以上　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	73回			
屋台村への出店数	目　標	（1回あたり5店舗以上）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1日あたり8店舗			
屋台村の出店場所	目　標	（　3ヶ所以上　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3ヶ所			

達成状況説明：中心市街地への集客、にぎわい創出を目指して、屋台村設置を73回（日）実施した。目標は90回であったが、台風や大雨のため、中止となった分があった。総計31台のキッチンカーと149店舗が出店した。開催場所は、3箇所（牧志駅前交通広場、美栄橋駅前交通広場、中心商店街にぎわい広場）であった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
屋台村への来場者数（別事業：国際通りとマチグヮーのにぎわい事業と合わせての開催）	目　標	（　－　）	（1,000人／日）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1,057人／日			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：9月から3月までの実施期間中、約77,000人の集客を達成した。

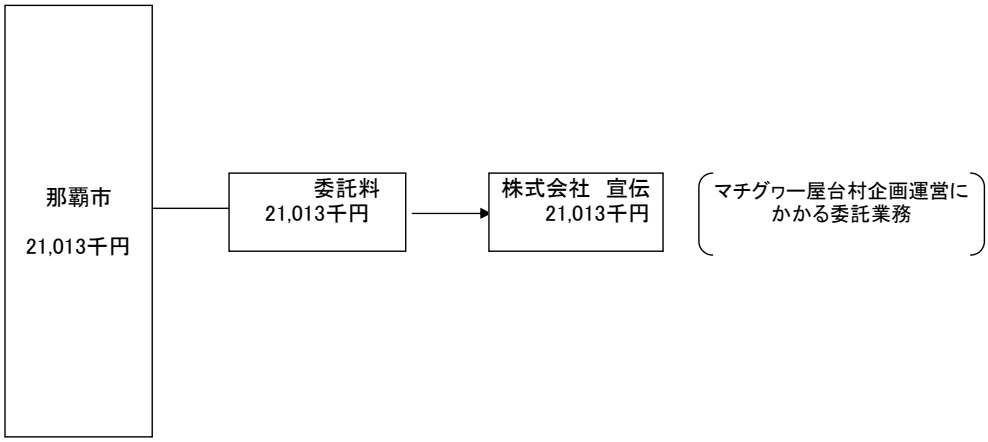
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●美栄橋駅前交通広場での開催では、音楽ライブなどのイベントがなく、実施時間が21時までと制限があり、屋台村として飲酒する空間としての確立が難しく、集客が伸び悩んだ。 ●民間事業者による自立した屋台村運営の実現は、テント設営・事務局人件費・電気等に予想以上にコストがかかり、出店者・キッチンカーから出店料を徴収しても現実的に運営費を賄うことは難しいということが分かった。	●民間事業者による自立運営のためには、深夜まで運営できる実施場所、給排水設備の整った施設など、常設で運営できる仕組みが必要。

今後の取り組み方針

当該事業の実現可能性について検証する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,013	21,013	16,810	4,203	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－42	一万人エイサー踊り隊推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「一万人エイサー踊り隊」事業を推進する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,320				
	(b) 予算現額	1,320				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,320	0			
B. 執行済額		1,320				
うち交付金充当額		1,056				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：・当初の計画通り執行した

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国際通りをステージに6千人以上が出演する「一万人エイサー踊り隊」の支援	目　標	「一万人エイサー踊り隊」への支援	（　）	（　）	（　）
	実　績	「一万人エイサー踊り隊」への支援			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・当初は、平成24年8月4日～5日の開催予定であったが、「オスプレイ配備に伴う県民大会」開催により、平成24年8月11日～12日に日程を変更し、開催した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
一万人エイサー踊り隊来場者数	目　標	（90,000人）	（73,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		73,000人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・日程変更しての開催（「オスプレイ配備に伴う県民大会」）の為、県外からの観客や参加団体の減少、他エイサーイベントの開催等が重なり、観客が減ったと思われる。

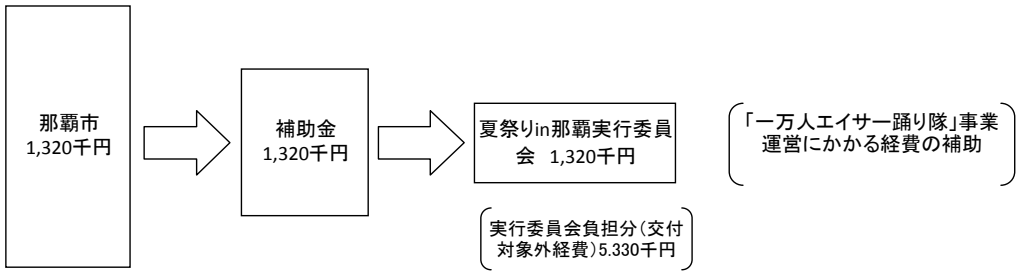
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・真夏の炎天下に、実施される事業なので、観客の安全に気をつける必要がある。	・今回、ミスト機の導入や、打ち水を実行し、見た目にも涼しく良かった。次回以降も取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

・今後も、当該事業が国際通りの活性化へ寄与するイベントであり続けるよう協力連携を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,650	1,320	1,056	264	5,330



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助事業者である夏祭りin那覇実行委員会は主体が那覇市国際通り商店街振興組合連合会であり、国際通りの活性化に寄与する団体であることから妥当である。 ・事業内容及び費目については報告書類等により適正であると確定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－43	那覇まちまーい推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ 文化の発信・交流
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	27,586				
	(b) 予算現額	27,586				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	27,586	0			
B. 執行済額		25,085				
うち交付金充当額		20,068				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		90.9%				

予算の状況の説明：ほぼ計画通りに執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・着地型観光メニューとして実施している「那覇まちま～い」の実施 ・散策コースの新規企画	目　標	（新コース　7作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績	新コース　7作成			
・「那覇まちま～い」のPR活動	目　標	（雑誌・観光サイトへの情報掲載）	（　）	（　）	（　）
	実　績	雑誌6・観光サイト5掲載			

達成状況説明：24年度の「那覇まちまーい」コース実施回数は、1，066回で、6，571人の参加者であった。
7つの新コースを作成し、また、1日限りの限定イベントとして、沖縄都市モノレールコラボ企画「ゆいレールde那覇まちま～い」など5企画を実施した。
「那覇まちま～い」のPRとして、「沖縄グラフ」「沖縄・離島情報」等の6雑誌に記事を掲載し、「楽天トラベル」等の5観光サイトへ広告を掲載した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
「那覇まちま～い」の参加者数	目　標	（6，132人）	（6，200人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		6，571人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：新たなコースの作成や、イベント企画、また、PR活動の成果により目標を371人、上回った。

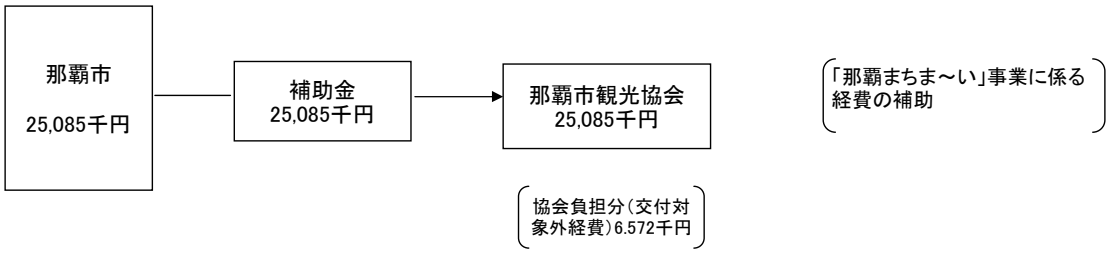
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	２年目を迎え那覇まちま～いの認知度が上がってきているが、まだまだ県内の参加を増やす必要がある。 個人旅行者、旅行会社、宿泊施設からのニーズに応えきれていない。 大通りに面している通りから少し込み入った路地に入った隠れ家的店舗に興味を示す人が増えた。	コース内容を見直し、魅力あるコースにする必要がある。 修学旅行等の団体客を増やし、参加者増につなげる。

今後の取り組み方針

主催者の那覇市観光協会が、修学旅行をはじめとする団体客の増加のため、旅行会社等への取組みを行ったり、県内・県外参加者の増加のため、継続的な県内外へのプロモーションを実施することへの支援を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,657	25,085	20,068	5,017	6,572



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「那覇まちま～い」を実施する那覇市観光協会へ補助金を交付した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－４４	「なはの日」ウチナーグチ再発見イベント		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	市民文化部　まちづくり協働推進課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光地らしさとウチナーグチの普及啓発による観光都市としての魅力を高めるため、「なはの日」に合わせてイベントを開催する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,000				
	(b) 予算現額	2,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,000	0			
B. 執行済額		2,000				
うち交付金充当額		1,600				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「なはの日」に合わせてイベントを展開	目　標	（　イベントの実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	イベントの実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：　那覇市と、那覇市協働大使（※）を中心に構成される市民組織「那覇市協働によるまちづくり推進協議会」の共催で、事業を実施。　那覇市協働大使の多様性や、繋がりを活かし、幅広い年齢層や、商店街等を巻き込みながらイベントを開催することで、中心市街地の活性化及び活気ある観光都市としての魅力の向上に寄与した。
（※）那覇市協働大使とは、地域活動やボランティア活動等、協働によるまちづくりを実践している方に対して、これまでの活動に敬意を表し、那覇市が大使として委嘱をしている方々のこと。約500名の協働大使が、各分野や市内各地で活躍している。（平成25年4月末日現在）

成果目標（指標）及び進捗状況

		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
「なはの日」関連イベント会場への来場者数	目　標	（　0　）	（　2,000人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		3,200人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：　観光分野や、文化分野のみならず、多様な分野及び市内各地で広域的に活躍する那覇市協働大使が、当該事業に関わることにより、効果的な広報活動を展開した結果、目標値を上回る来場者に対して、ウチナーグチの普及啓発を行うことができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ウチナーグチの普及啓発を図る上で、イベントの開催による単発的なものだけではなく、別途、持続性の期待できる取組との組合わせが、肝要と考える。	ウチナーグチの普及をさらに推進する上で、公的機関における普及促進に係る取組のほか、教育機関や地域等と連携した、持続可能な取組を実施することで、より大きな効果が期待できるものと考える。

今後の取り組み方針

「那覇市協働によるまちづくり推進協議会」に対し、同会の会合や事業の場でウチナーグチを取り入れるほか、協働大使の所属する団体等で実施するウチナーグチの普及を目的とした取組みに、協働大使が積極的に参加するよう呼びかけを行うこと等を通して、持続性のあるウチナーグチの普及啓発に努めるよう促したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,000	2,000	1,600	400	

那覇市 2,000千円 → **委託料 2,000千円** → **那覇市協働によるまちづくり推進協議会 2,000千円**

[「なはの日」ウチナーグチ再発見イベントの実施に係る委託業務]

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○効果的な広報及び普及啓発を行うという観点から、本市と、多様な分野で活躍する那覇市協働大使が、協働で事業を実施することは、目標を達成する上で、妥当であった。 ○費目・使途の、事業目的達成上の必要性について、実績報告書における支出等に関する書類を確認した結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－45	「JAZZ Night in 那覇」事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ア 文化資源を活用したまちづくり
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	観光都市として来客者の満足度を高めるため、沖縄独特の「沖縄ジャズ」の魅力に満ちた「JAZZ Night in 那覇」イベントを実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,173				
	(b) 予算現額	7,173				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	7,173	0			
B. 執行済額		7,158				
うち交付金充当額		5,726				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.8%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・市内の各スポットで「JAZZ Night in 那覇」と銘打ったJAZZイベントを実施 ・JAZZを観光資源としたナイトエンターテイメントのPR	目　標	（JAZZイベント実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	JAZZイベント実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	H24年12月～3月の間に、さいおんスクエア、とまりん、パレット久茂地前、てんぶす那覇前、セルラースタジアム等で全28回のジャズライブを実施。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
JAZZイベント来場者数	目　標	（　－　）	（2,400人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2,985人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	さいおんスクエア、とまりん、パレット久茂地前、てんぶす那覇前、セルラースタジアム等で全28回のジャズライブを実施。

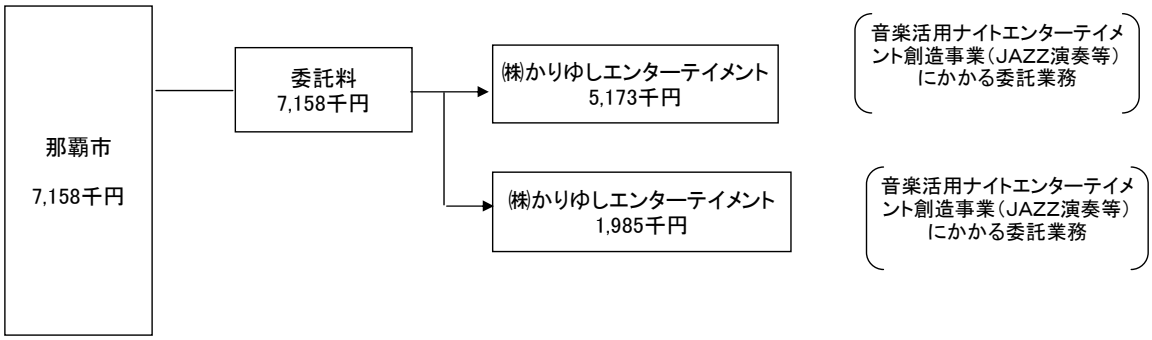
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・広報活動が弱く市民や、観光客への周知度が低かった。	・モノレール各駅やホテルへのチラシの配布や、パブリシティーを利用した広報活動の強化を図る。 ・シニア層のリピーターが多く、反響はよかったが、今後は、、他のイベントとコラボして事業を盛り上げ、ライブ後にライブハウスへ行ったり、周りの飲食店などへの賑わいを創出する工夫が必要である。

今後の取り組み方針

・平成25年度は全50回のジャズライブの開催を予定しており、国際通りを中心にイベントの半数を行い、国際通りで行われる他のイベントと一緒に組み合わせて集客を図り、毎週、国際通りのどこかではジャズライブを行っているという定着を図る。
・モノレール各駅やホテルへのチラシ配布や、パブリシティーを利用した広報活動の強化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,158	7,158	5,726	1,432	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-46	歴史博物館企画展事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	市民文化部　文化財課 （※平成24年度中/市民文化部　博物館）	事業実施（予定）年度	平成24年度～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	619				
	(b) 予算現額	619				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	619	0			
B. 執行済額		500				
うち交付金充当額		400				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		80.8%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。不要額が119千円発生しているが、委託費の契約残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
企画展開催	目　標	（　6回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	6回			
企画展広報	目　標	（　6回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	6回			

達成状況説明：設定テーマに基づき「那覇」や「沖縄」の歴史資料の企画展示を年6回開催し、企画展の内容を充実させるため他の博物館や個人より貴重な資料を借用した。また、教育普及、啓発を目的とし企画展のテーマに合わせたギャラリトークを開催した。博物館の誘客をはかるためポスター・チラシを作成し広報を行なった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
歴史博物館来場者数	目　標	（14,746人）	（14,000人）	（　）	（　）	（16,300人）
	実　績		16,950人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：琉球・沖縄の歴史・文化を企画テーマごとに分かり易く解説・展示を行なったり、企画展のテーマに合わせたギャラリトークを開催したことにより来場者数の目標を上回った。

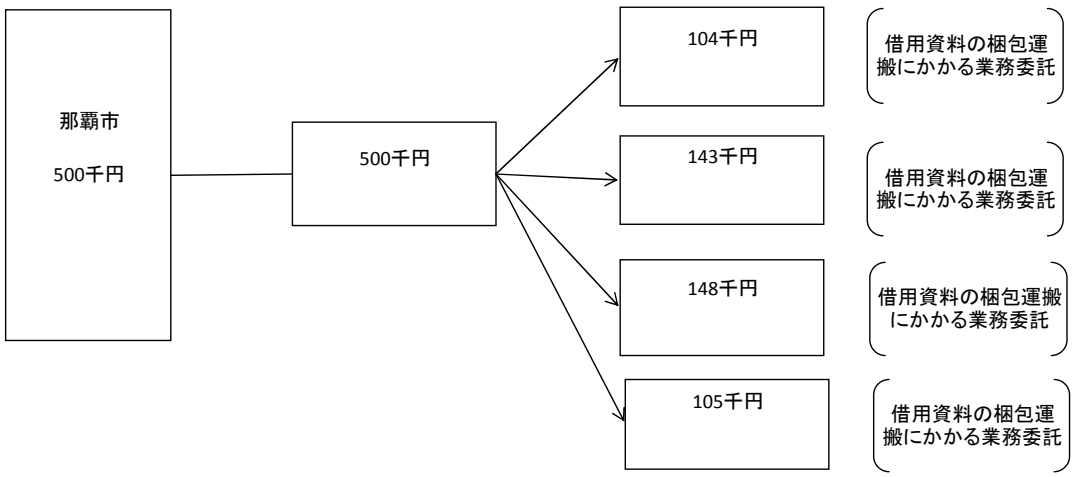
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	企画展の内容を充実させるとともに、広く市民・県民・観光客へ広報する必要がある。	企画展の内容はもとより、広報に力をいれて、更なる入館者増を目指す必要がある。

今後の取り組み方針

平成２４年度に引き続き、平成２５年度も様々な企画展を開催していく。
沖縄都市モノレールの車内や主要駅に企画展ポスターを掲示し、あるいは、テレビ、新聞等のマスコミ各社にプレスリリースを行うなど企画展の広報案内強化に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
500	500	400	100	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、実績、専門的技術等を勘案した上で、随意契約しており、妥当であったと考えている。（地方自治法施行令第167条の2第1項1号に基づく） ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－47	観光イベント安全確保事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」「NAHAマラソン」における雑踏警備を専門会社に委託する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,000				
	(b) 予算現額	2,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,000	0			
B. 執行済額		1,867				
うち交付金充当額		1,493				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		93.4%				

予算の状況の説明

那覇大綱挽まつり警備委託料に1,566,810円、琉球王朝祭り首里警備委託料に300,195円使用し、132,995円の残額となった。活動目標、成果目標を鑑みて適正だったと考える。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇大綱挽まつり等における雑踏警備の強化	目　標	（　警備委託による雑踏警備強化（3イベント）　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	警備委託による雑踏警備強化（2イベント）			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

那覇大綱挽まつりにおいては、市民演芸パレード時の雑踏警備・交通誘導等に計63名、大綱挽時の雑踏警備・交通誘導等に計83名の警備員を動員し、警備の強化に努めた。琉球王朝まつり首里においては、26名の警備員を動員し、警備の強化に努めた。
そのため、両まつりとも事故等もなく無事に終了した。
NAHAマラソンにおいては、予算残額が小額だったため、警備委託は行えなかった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
那覇大綱挽まつり来場者数	目　標	（　320,000人　）	（　400,000人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		400,000人			
琉球王朝祭り首里来場者数	目　標	（　55,000人　）	（　56,000人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		58,000人			

進捗状況説明

ディズニーパレードとミスインターナショナルが市民演芸パレードに参加したこともあり、那覇大綱挽まつりは23年度より来場者数が大幅に増加したが、警備委託業者が臨機応変に対応し、安全性の高いまつりが実施できた。目標来場者数も達成できた。
琉球王朝祭り首里は天候にも恵まれたため、多くの観客が来場し、目標来場者数を達成できた。

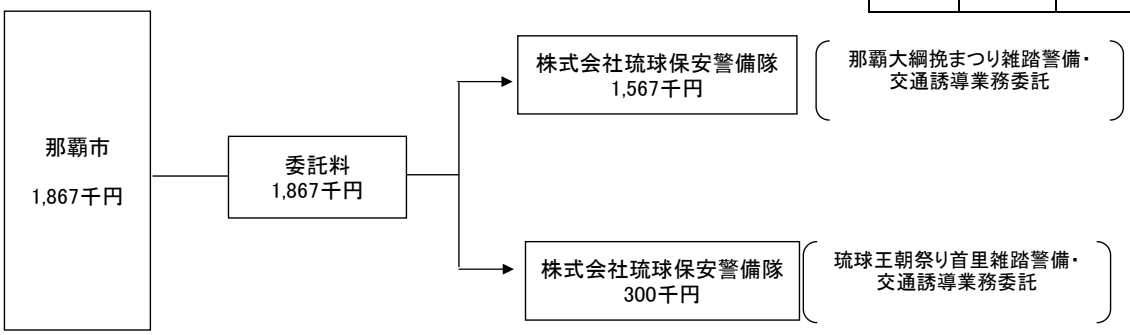
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	那覇大綱挽まつり市民演芸パレードにおいて、ディズニーパレード出演時に多くの観客が殺到し、身動きがとれない程混雑した場所があった。そのような場所においては、観客の安全確保のため、警備員による観客の誘導が必要であったが、観客数が想定外であったため警備員の配置対応が遅れた。	警備員を必要な場所に必要数配置できるよう、各まつり・イベントの集客率を予想し、まつり前には警備会社と打ち合わせを重ねる。

今後の取り組み方針

警備員を必要な場所に必要数配置できるよう、各まつり・イベントの集客率を予想し、まつり前には警備会社と打ち合わせを重ねる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,867	1,867	1,493	374	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札により決定したため妥当であった。（市内での実績等を考慮し指名選定委員会により選定、その後指名業者で入札をおこなった。） ○費目・使途は事業目的を達成するための警備委託に使用されたことを確認しており適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－50	県外メディア誘致観光プロモーション		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光情報の発信力を強化するため、県外テレビ番組のバラエティ・観光番組・ワイドショー等で那覇市の観光地、イベント、物産等をPRする。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,024				
	(b) 予算現額	9,024				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,024	0			
B. 執行済額		9,024				
うち交付金充当額		7,219				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・県外テレビ番組を活用した観光都市NAHA（観光地、イベント、物産等）のPRを実施	目　標	（　PR実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	PR実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：テレビ朝日系列全国放送（関東・関西・名古屋・福岡・北海道・青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島・新潟・長野・山梨・静岡・石川・福井・広島・山口・愛媛・高知・香川・岡山・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄の27県）の生放送番組、「朝だ！生です旅サラダ」毎週土曜8:00～9:30放送にて、
①ラッシャー板前の生中継（2012/11/24）、　②ゲストの旅“丘みつ子”（2013/3/9）で那覇市の特集を組み放送した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
県外テレビ番組の放映回数	目　標	（　）	（　2回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2回			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：テレビ朝日系列全国放送の生放送番組、「朝だ！生です旅サラダ」毎週土曜8:00～9:30放送にて、
①ラッシャー板前の生中継（2012/11/24）、②ゲストの旅“丘みつ子”（2013/3/9）で那覇市の特集を組み放送した。
① 放映時間 約14分間（CM除く）、 平均視聴率7．7%、 想定視聴者数951万5737人、 広告換算58，800，000円
② 放映時間 約14分間（CM除く）、 平均視聴率7．9%、 想定視聴者数976万2899人、 広告換算58，800，000円
上記の結果から、当初目標は概ね達成されたと考えている

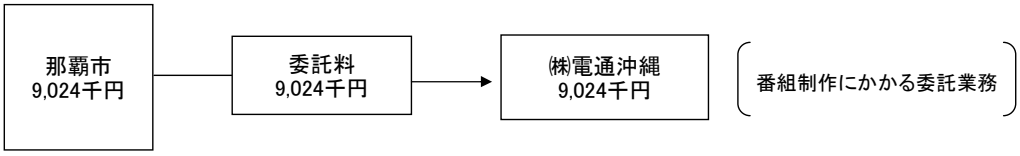
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	委託業者へ放映内容について要望を出すが、視聴率獲得を最優先する、テレビ会社側の承諾が得られず実現しなかった。	番組内容に那覇市の要望が反映され易いシステムを検討する。

今後の取り組み方針

那覇市への観光誘客、滞在意欲、購買意欲を増進させるため、継続してテレビ番組による観光PRを実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,024	9,024	7,219	1,805	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－51	観光宣伝誘致強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光情報の発信力を強化するため、観光ガイドブック、マップ等を作成するとともに、宿泊客アンケートを実施して、観光地としての改善点等を点検する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	13,704				
	(b) 予算現額	13,704				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	13,704	0			
B. 執行済額		12,194				
うち交付金充当額		9,755				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		89.0%				

予算の状況の説明：「沖縄国際映画祭のPR」事業において実績による執行残があり、執行率が89%となった。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
三ヶ国語ガイドマップの作成 観光ガイドブックの作成、県外配布 宿泊客アンケートの実施 観光統計作成 沖縄国際映画祭のPR	目　標	（各指標項目の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	各指標項目の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
三ヶ国語ガイドマップ24,000部作成。
ガイドブック『Naha』20,000部作成、ガイドブック『Naha』ダイジェスト版80,000部作成。ガイドブック『那覇じゃらん』50,000部作成。
アンケートの配布・回収作業
『那覇市の観光統計～観光客の声～』冊子80部作成
沖縄国際映画祭に関するプレイベント（那覇市内会場）、広告事業、イベントにおける那覇市PR事業を実施。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
ガイドマップ配布数	目　標	（－）	（20,000部）	（　）	（　）	（　）
	実　績		20,000部			
アンケート実施数	目　標	（575件）	（250件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		252件			

進捗状況説明：
ガイドブック『Naha』20,000部作成（内県外配布15,000部）、ガイドブック『Naha』ダイジェスト版80,000部作成（内県外配布40,000部）。
ガイドブック『那覇じゃらん』50,000部作成（内県外配布25,000部）
アンケート回答252件回収

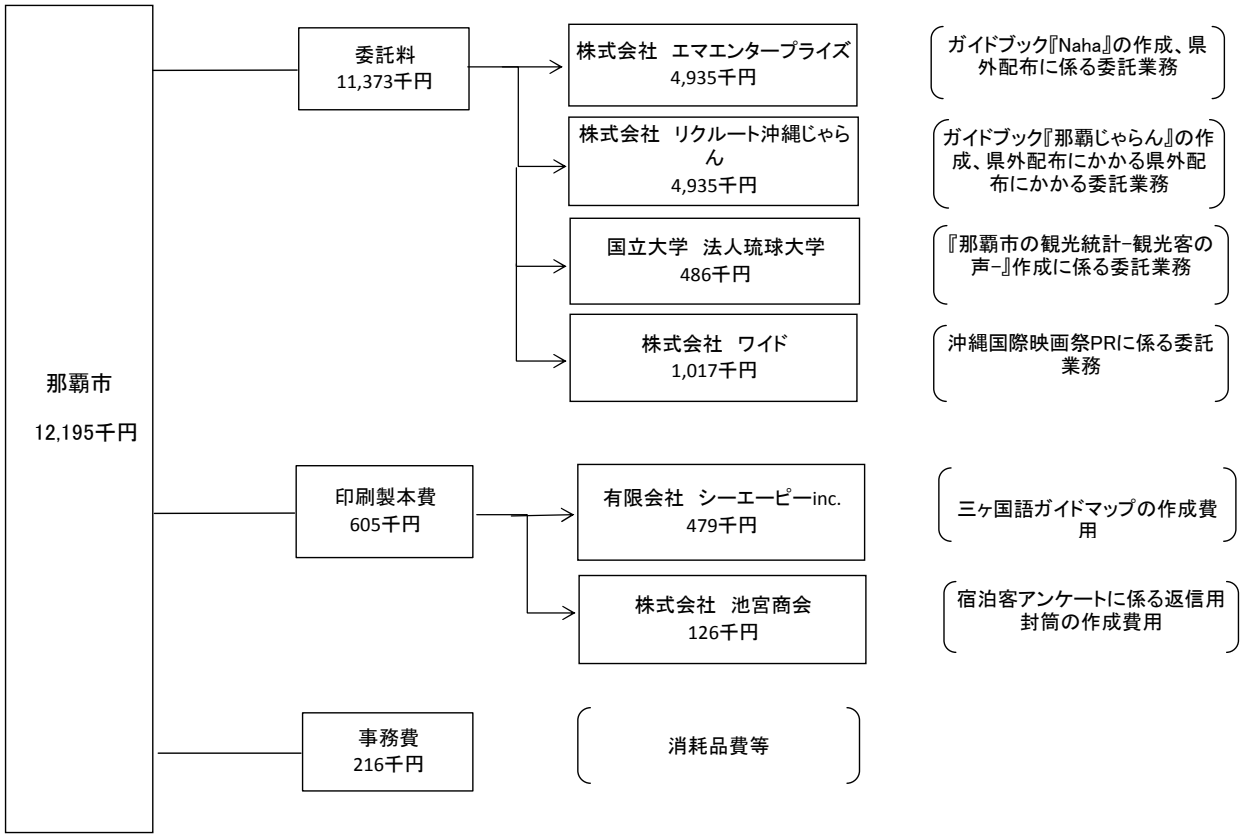
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ガイドマップの作成・県外配布業務においては、目標を上回る実績となったが、全般的に既に来沖した観光客を対象とした事業内容が目立つ。	観光宣伝対象をより広く捉え、これから新しく来沖する未来の観光客へのアプローチを強化するという点に、改善の余地がある。

今後の取り組み方針

那覇市がより積極的に県外へ出向いて、PRを行うことが重要である。その具体的な方法として、市長のトップセールスや那覇市観光PR業務の委託事業について取り組み、実際に県外でのPR活動を強化していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,194	12,194	9,755	2,439	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先についてはプロポーザルや見積りを取って選定しているので妥当であったと考えている。 ○予算規模や、費目・使途に関しては、当初の成果目標を大きく超えた事業もあったので、適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－53	観光資源データベース登録事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	観光情報の発信力を強化するため、ホームページ上に本市文化財等の観光資源紹介を作成・掲載する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	20,000				
	(b) 予算現額	20,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	20,000	0			
B. 執行済額		19,992				
うち交付金充当額		15,993				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・市内の観光資源をDB化 ・観光情報サイトにDB化したデータの多言語化	目　標	（DB構築・英語化）	（　）	（　）	（　）
	実　績	DB構築・英語化			
観光資源DBの活用による観光案内の充実化	目　標	（観光案内所での活用）	（　）	（　）	（　）
	実　績	25年度からの活用			

達成状況説明	平成24年度は、データベースシステムの構築とデータの英語版の作成が終了した。 システム構築及びデータ作成が3月までかかったため、観光案内所での活用、及び観光情報サイトでの公開は、平成25年度で実施する。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・市内観光資源のデータベースシステム構築（日本語、英語）	目　標	（　）	（システム構築）	（　）	（　）	（　）
	実　績		システム構築			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	システム構築及び英語化の目標は達成したが、活用については平成25年度に取り組んで行く。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・多言語化を進めるため、今後は中国語、韓国語にも対応する必要がある。	・多言語化を進めるため、中国語、韓国語への翻訳を行う必要がある。

今後の取り組み方針

平成25年度は、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語でも閲覧可能となるよう、翻訳を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,992	19,992	15,993	3,999	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-56	人・地球にやさしいミスト事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	企画財務部財政課 （上下水道局企画経営課）	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	観光地としてのグレードアップ及び誘客効果と環境負荷低減等のため、ミスト発生器をイベントや公共施設等において実証実験を行う。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,640				
	(b) 予算現額	4,640				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,640	0			
	B. 執行済額	3,459				
	うち交付金充当額	2,767				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		74.5%				
予算の状況の説明		・不用額が1,007千円発生しているが、委託費等の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・実証実験の実施	目　標	（ 実証実験実施 ）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	イベントや公共施設等で実証実験を実施			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	観光振興等に資する新たなツールとして、冷却機能を有し、暑さ対策が可能な、ミスト装置を利用した実証実験をイベントや公共施設で行い、ニーズや課題等の把握を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
活用方法の提案策定	目　標	（　　）	（ 提案策定 ）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		策定完了			
【参考指標】 ミスト装置を設置した時のイベント等に参加した人数	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		85,000人			

進捗状況説明	実証実験を踏まえ、今後の活用方法について、観光分野を含めた関連分野における利活用を提案した。

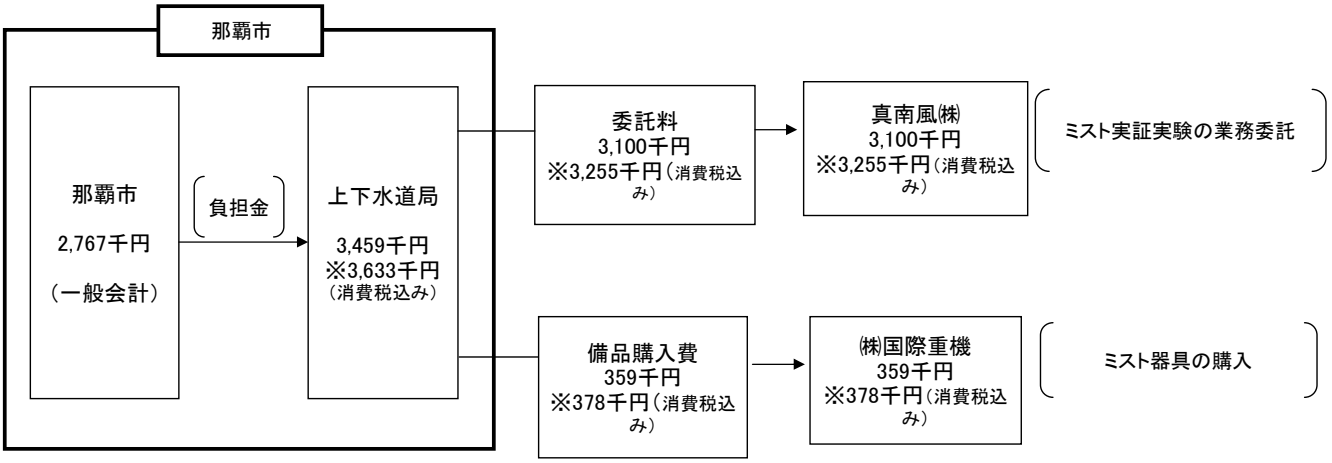
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	1. 実証実験のアンケート結果によるとミストの認知度は5割弱で、十分な認知にはない。 2. 天候や散布時間、散布場所によって、効果に違いがあり、散布方法に留意する必要がある。 3. 暑さ対策として使用期間が限定されるため、冬場等の使用できない期間での活用検討。 4. 設置付近では冷却効果が見られたが、具体的な環境負荷低減効果が難しい。 5. 事業化に向けては、使用目的に応じたインセンティブが働く企画立案の策定等が求められる。	1. 認知度の向上として、継続したミストの活用。 2. 効果的な設置場所や運用の検討。 3. 冷却効果とは別に、イメージアップ効果の活用検討。 4. 環境施策としてどのような役割が果たせるかの検討。 5. 有効な施策実施に向けて、その事業に応じた体制づくりが重要。

今後の取り組み方針

屋外の暑さ対策において、ミストの利用は有効であると実証実験等を通して確認できた。また、その活用としては、観光、地域活性、環境、健康、サービス向上及び水道の有効利用など幅広い施策での活用が期待できる。しかしながら、ミストの活用による効果が十分に理解されている状況とは言いがたいため、多様な分野での活用を通した、周知活動が今後は重要である。また、各施策におけるミストの活用効果は、ミスト単独では限りがあり、他の施策と組み合わせることや事業間での連携を進めることで、効果的な施策へと展開できるとともに導入に向けたインセンティブを高めることになる。このため、関係機関と連携を行いつつ、ミスト装置(移動式2台)を活用して認知度の向上等を継続して取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,459	3,459	2,767	692	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付金交付要綱に沿った事業であり、負担金支出は妥当である。 ○委託事業者は契約事務規程等に基づきた選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－59	びんがた体験型観光施設基本構想調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度～	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、伝統工芸品である琉球びんがたを活かした体験型観光施設の整備に向けた基本構想を策定する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,401				
	(b) 予算現額	4,401				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,401	0			
B. 執行済額		4,401				
うち交付金充当額		3,520				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
びんがた体験型観光施設の基本構想の策定	目　標	（基本構想の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本構想の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：びんがた体験型観光施設の建設に向けて、びんがたの現状調査・施設機能の検討・事業手法の検討・概算事業費と建設スケジュールの案の作成等、基本構想の策定を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
びんがた体験型観光施設の基本構想の策定	目　標	（　）	（基本構想の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基本構想の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
今後の展開方針
H25年度：基本計画の策定
H26年度：実施計画
H27年度：施設整備

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	施設機能を検討した結果、共同作業所としての機能を重視する事となった。 施設を建設する場所の候補地や、必要な面積を概算で算出したが、建設地の決定にまでは至ってない。 事業手法について、関係機関との調整が必要。	施設規模が大きいと運営費等も嵩むので、必要な機能だけを備えたコンパクトな施設を検討。 建設地が決定しないと、事業が進捗しない。 事業手法について、受益者負担も考慮して関係機関と協議しなければならない。

今後の取り組み方針

施設の運営費も考慮し、最低限必要な機能だけ備えたコンパクトな施設とする。
早急に建設地を決定する。
関係機関と協議して、事業手法を決定する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,401	4,401	3,520	881	0

那覇市
4,401千

→ 委託料
4,401千円

→ ㈱国建
4,401千円

（びんがたの現状調査
施設機能の検討
事業手法の検討
概算事業費と建設スケジュール等）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-60	壺屋地区まちづくり総合計画推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ア 文化産業の戦略的な創出・育成
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施（予定）年度	平成２４	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出のため、「やちむんの里」壺屋において、陶器関連産業再生のための調査と沖縄らしい美しい街並みの再生・創出に向けた総合的なまちづくりのための調査を実施する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,423				
	(b) 予算現額	6,423				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,423	0			
B. 執行済額		6,090				
うち交付金充当額		4,872				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		94.8%				
予算の状況の説明		・不用額333千円発生しているが、主な要因は業務委託費の入札残によるもので、当初計画していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正な執行であったと考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
壺屋地域整備計画案の策定	目　標	（整備計画案策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	整備計画案策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	地域整備計画案を策定した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
壺屋地域整備計画案の策定	目　標	（　－　）	（整備計画案策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		整備計画案策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	地域整備計画案を策定した。					

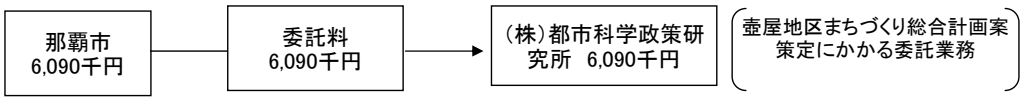
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現在、壺屋地区の都市基盤は狭小道路が多く改善が望まれるが、未整備の狭小道路等が、往時の風景を醸しだし壺屋地区の魅力となっている。都市基盤の整備事業に当たって景観に配慮し、地域と関係機関との協議を行いながら整備を進める必要がある。また、壺屋地区には、新たな陶器工房は原則建築できないことより、地区内の陶器産業の再生にあたっては特別用途地区の指定などにより地区内の陶器関連産業の工房が建築できるようにする必要がある。	狭小道路等の都市基盤整備に当たっては、地域の要望と景観向上の他に交通及び防災機能を確保しなければならないことから、整備に向けて今後関係機関等と綿密な協議を行い、詳細な計画を作成する必要がある。また、陶器関連工房の施設整備に当たっては、周囲の住環境を保護する必要があることから、地区内に陶器関連施設を設置する場合は、作業場の規模や防音対策等の条件整備をする必要がある。

今後の取り組み方針

今後、陶器関連事業の再生に向けて、特別用途地区の指定や条例等の制定と、細街路などの地区施設の整備に向けて地域住民や関係機関と調整を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,090	6,090	4,872	1,218	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○過去に整備計画等の策定業務の実績のある委託業者10業者による指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－62	新垣家住宅登窯保存活用計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	市民文化部　　文化財課 （※平成２４年度中／生涯学習部文化財課）	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、本市伝統工芸の郷・壺屋地区の新垣家住宅登窯をシンボルとして保存活用するための計画を策定する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,730				
	(b) 予算現額	2,730				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,730	0			
B. 執行済額		2,361				
うち交付金充当額						
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		86.5%				
予算の状況の説明		委託業務内容に変更（保存活用計画部会の謝金が不要）が生じたため、369,千円の減額となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
登窯の保存管理・環境保全・防災・活用等の計画策定	目　標	（　計画査定　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	目標達成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：国指定重要文化財新垣家住宅の登窯を文化財として保存活用する指針として作成し、文化財の保存、周辺環境の保全、防災の点を踏まえ、登窯の継続的な保存活用を行う計画を策定した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
登窯の保存管理・環境保全・防災・活用等の計画策定	目　標	（　）	（左記成果目標のとおり）	（　）	（　）	（　）
	実　績		目標達成			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：委託期間内に策定できた。

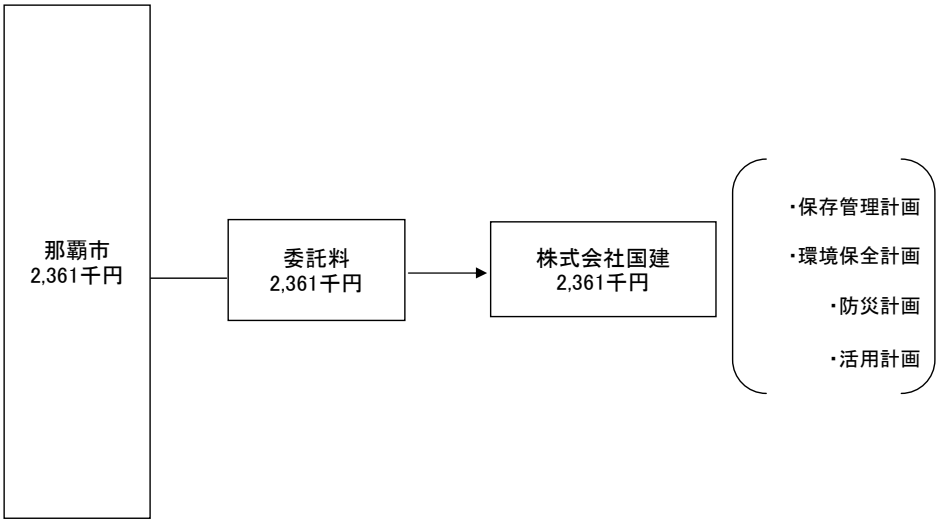
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	登窯の現状と課題を把握し、保存・活用を図るために必要な事項や範囲を明らかにして、保存と活用に向けた計画を策定	登り窯の保存・活用に向け、具体的な作業を検討する。

今後の取り組み方針

登窯を焼ける窯として活用するためには、地域住民の合意形成、地域の陶器組合関係者および壺屋やちむん通り会などの組織づくりが必要となる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,361	2,361	1,888	473	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令167条第1項第2号の規定に基づき実施したが、入札不調が生じたため、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号により随意契約とした。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－①	市魚マグロ等水産物流通支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－イ 流通・販売・加工対策の強化
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

マグロを中心とする近海漁業の振興のため、市魚であるマグロの解体ショーなど、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催や流通設備の整備を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	64,806				
	(b) 予算現額	64,806				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	64,806	0			
B. 執行済額		64,140				
うち交付金充当額		51,311				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.0%				

予算の状況の説明：各種イベントへの助成や流通設備の整備等を行った。ほぼ計画通りに執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・マグロ解体ショーの実施　・マグロ料理選手権の開催　・マグロ鍋料理選手権　・冷凍冷蔵庫の新規導入　・PR用DVD製作、大型TV設置、大型看板設置　・まぐろPRテレビ特番　・市魚マグロPR委託事業	目　標	（各指標項目の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	各指標項目の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：予定していた活動目標はすべて予定どおり終了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市魚マグロ等イベント開催回数	目　標	（　）	（3回）	（　）	（　）	（　）
	実　績		5回			
市魚マグロ等イベント来場者数	目　標	（　）	（20,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		20000人以上			

進捗状況説明：来場者の実績として、1日限りで行われた「泊いゆまち勤労感謝祭」は9，100人、「まぐろ都市那覇・ビンチョウまぐろ販売促進イベント沖縄美ら海まぐろフェアー」は8．400人の来場者となっているが、泊いゆまち内にてのまぐろ解体ショーは約3ヶ月で120回行われており、相当数の来場者があった。また、テレビ特番によるイベントでは、放映が土曜日の午後の時間に放映されたため、大きな反響がありPR効果は非常に大きかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業執行までの準備期間が短く、業務執行が後手になり、イベント内容等の検討が難しい状況となった。	迅速な対応による十分な事業内容の検討が必要と思われる。また、泊いゆまちだけでなく、市内の飲食店協会等によるまぐろPRイベントも開催可能ならば、さらに市の魚まぐろの周知効果があると思われる。

今後の取り組み方針

沖縄鮮魚卸流通協同組合だけでなく、漁協や飲食店組合等広くまぐろのイベントが可能か検討したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
72,526	64,140	51,311	12,829	8,386

那覇市　64，140千円

- **委託料10，478千円**
  - 錦屋旗店株式会社499千円：市の魚「マグロ」のぼり製作にかかる業務委託
  - 業務委託代表者沖縄鮮魚卸流通協同組合9，979千円：量販店においてのマグロ刺身試食会及びホテルでのマグロ料理の提供によるPR業務委託
- **補助金53，662千円**
  - 沖縄鮮魚卸流通協同組合3，093千円：泊いゆまち内でのマグロ解体ショーに係る経費に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費773千円））
  - 沖縄鮮魚卸流通協同組合2，804千円：勤労感謝祭イベントの経費に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費711千円））
  - 沖縄鮮魚卸流通協同組合5，087千円：まぐろ都市那覇・ビンチョウまぐろ販売促進イベント沖縄美ら海まぐろフェアーイベント経費に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費1，272千円））
  - 沖縄鮮魚卸流通協同組合29，106千円：泊セリ市場改修工事に伴うプレハブ冷蔵庫新規設置の経費に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費3，234千円））
  - 沖縄鮮魚卸流通協同組合6，400千円：まぐろPRテレビ特番ガチ対決まぐろ王決定戦イベント番組に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費1，600千円））
  - 沖縄鮮魚卸流通協同組合7，172千円：泊いゆまちまぐろPR用DVD作製、PR用イメージソング作製及び大型TV、音響設備、大型看板設置の経費に対する補助（協同組合負担分（交付対象外経費７９６千円））

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	水産物流通支援事業補助金交付要綱により適正に支出している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－②	中層浮漁礁設置強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

本市の漁業振興を図るため、沖縄独特のマグロ漁法である浮漁礁設置に対して補助を行う。船舶の航行に支障がなく耐久性に優れた中層浮漁礁を設置し、市魚マグロを中心とする水産業の振興を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	30,000				
	(b) 予算現額	30,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	30,000	0			
B. 執行済額		29,468				
うち交付金充当額		23,574				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.2%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中層浮漁礁2基の新規設置	目　標	（　2基設置　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2基設置			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年12月20日に糸満沖約50km北緯25度41分東経127度9分に1基、北緯25度43分東経127度11分に1基の合計2基を水深1200mに設置した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
中層浮漁礁2基の新規設置	目　標	（　）	（　2基設置　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2基設置			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24年12月20日に糸満沖約50km北緯25度41分東経127度9分に1基、北緯25度43分東経127度11分に1基の合計2基を水深1200mに設置した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	耐用年数が10年と言われているが、どの程度の年数使用出来るか不明である。	表層浮漁礁に比べ1基あたり10倍以上の費用がかかっているため、その費用対効果を検証する必要がある。

今後の取り組み方針

費用対効果を検証するため、次年度の設置は見送り、漁獲高の動向を注視したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,230	29,468	23,574	5,894	762

那覇市　29，468円

↓

補助金　29，468円

↓

浮漁礁設置事業代表者　那覇市沿岸漁業協同組合（那覇市沿岸漁業協同組合、那覇地区漁業協同組合、沖縄県近海鮪漁業協同組合の3者）　29，468千円

漁協負担額（交付対象外経費　762千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先は市内の3漁協で構成する浮漁礁設置事業代表者となっており、従来からの唯一の補助対象者である。受益者負担額は従来設置の表層浮漁礁設置分と同程度の受益者負担額とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－③	那覇市沿岸漁協施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容	本市産業の振興発展を図るため、那覇市沿岸漁協施設の整備に対して補助を行い、水産業の振興を行う。
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,395				
	(b) 予算現額	2,395				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,395	0			
B. 執行済額		2,394				
うち交付金充当額		1,915				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
泊船揚場の台車1台及びレール改修台数 1ヵ所	目　標	（　施設整備　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	施設整備済			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	平成25年1月15日漁船上架用台車及びレール整備済み。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
泊船揚場の台車1台及びレール改修台数 1ヵ所	目　標	（　－　）	（ 施設整備 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		施設整備済			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	平成25年1月15日漁船上架用台車及びレール整備済み。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	漁業関係施設や機器等は常に塩害等にさらされ老朽化が著しく、作業環境の安全面からも早めの対策が必要と思われる。	老朽化した状態にある漁業関係施設の予防整備を行う漁協に対し、引き続き助成等支援を行う必要がある。

今後の取り組み方針

漁業関係施設や機器等の整備を行う漁協を支援することにより、漁業者の安全操業、経営の安定化及び生産意欲の向上になり水産業の振興に繋がるため、今後も積極的に支援を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,993	2,394	1,915	479	599

那覇市　2，394千円

↓

補助金　2，394千円

↓

那覇市沿岸漁業協同組合　2，394千円

漁協負担分（交付対象外経費　599千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市水産業振興整備対策事業補助金交付要綱に基づき適正に支出している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－④	泊セリ市場環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、泊セリ市場の改修に対する補助を行い、水産業の振興と合わせて観光拠点化についても考慮した取り組みを行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,825				
	(b) 予算現額	8,825				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	8,825	0			
B. 執行済額		8,825				
うち交付金充当額		7,060				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
泊セリ市場の壁面、階段及びトイレ改修	目　標	（　施設整備　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	施設整備済			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成25年1月18日泊セリ市場施設改修工事済み。（外壁改修、H鋼柱及びH鋼天井梁改修、階段2箇所改修、トイレ改修、シャッター改修）

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
泊セリ市場の壁面、階段及びトイレ改修	目　標	（　－　）	（　施設整備　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		施設整備済			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年1月18日泊セリ市場施設改修工事済み。（外壁改修、H鋼柱及びH鋼天井梁改修、階段2箇所改修、トイレ改修、シャッター改修）

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	泊セリ市場は築30年が経過し老朽化が著しい。今回は一部の改修工事に対し助成を行ったが、施設の老朽化改修のほかトイレ改修等衛生面の向上も図られた。	施設の老朽化が著しい未改修部分への支援と、セリ市場は生鮮魚介類を取り扱うため、今後も施設の衛生面の向上を図る等の改修に対し支援を行う必要がある。

今後の取り組み方針

漁業関係施設整備を行う漁協を支援することにより、施設の安全管理及び衛生管理の向上に繋がるため、今後も積極的に支援を行いたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,900	8,825	7,060	1,765	3,075

那覇市　8，825千円

↓

補助金　8，825千円

↓

那覇地区漁業協同組合　8，825千円

漁協負担分（交付対象外経費　3，075千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市水産業振興整備対策事業補助金交付要綱に基づき適正に支出している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑤	漁船近代化機械設置推進補助		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容	本市産業の振興発展を図るため、本市漁船の近代化装備に対する支援を行い、水産業の振興を行う。
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,000				
	(b) 予算現額	8,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	8,000	0			
	B. 執行済額	6,960				
	うち交付金充当額	5,567				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		87.0%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
漁船近代化機器設置に係る一部経費の支援	目　標	（　20件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	20件			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：那覇地区漁協、那覇市沿岸漁協及び沖縄県近海鮪漁協の3漁協へ申請依頼を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
漁船近代化機器設置の補助申請者数	目　標	（　）	（　20件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		20件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：目標件数は達成しているが、予算残となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	実績として那覇地区漁協は10件、沖縄県近海鮪漁協は8件、那覇市沿岸漁協は2件の申請件数となっている。那覇市沿岸漁協の申請件数が少ない。	3漁協への予算配分を申請が多い漁協へ振り分ける等検討したい。

今後の取り組み方針

次年度は申請件数の少ない那覇市沿岸漁協へ、もっと積極的に活用するよう促したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,814	6,960	5,567	1,393	17,854

那覇市　6，960千円

↓

補助金　6，960千円

↓

- **那覇地区漁業協同組合 4，000千円**
  組合員負担額　（交付対象外経費9，500千円）
- **那覇市沿岸漁業協同組合 712千円**
  組合員負担額　（交付対象外経費2，576千円）
- **沖縄県近海鮪漁業協同組合 2，248千円**
  組合員負担額　（交付対象外経費5，778千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市水産業振興整備対策補助金交付要綱に基づき適正に支出している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑥	那覇市農業振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－エ 農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、農機具及びビニールハウス、簡易井戸の設置・購入にかかる経費に対する支援を行い、農業振興を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	22,500				
	(b) 予算現額	22,500				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	22,500	0			
B. 執行済額		9,983				
うち交付金充当額		7,986				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		44.4%				
予算の状況の説明		補助金の交付要綱の改正等の手続きがあったため、補助対象期間が予定より短くなったことと農業の設備整備関係の補助事業が県および他市町村で実施されたため、県内の業者が需要に対応できず、事業内に補助事業を実施することを断念する農家もあったため執行率が低い水準となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
農機具、ビニールハウス、簡易井戸等の設置に係る一部経費の支援	目　標	（　50%補助　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	50%補助			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：農機具や簡易井戸等の農業用水設備整備等の農業経営基盤への補助事業と出荷箱の購入補助等の農業経営支援としての補助事業を実施することにより、農業経営の基盤強化及び農家の所得向上を図ることができた。
補助金の交付要綱の改正等の手続きがあったため、補助対象期間が予定より短くなったことと農業の設備整備関係の補助事業が県および他市町村で実施されたため、県内の業者が需要に対応できず、事業内に補助事業を実施することを断念する農家もあったため執行率が低い水準となった

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
農機具、ビニールハウス、簡易井戸等設置の補助申請者数	目　標	（　60件　）	（　50件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		54件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：補助金の交付要綱の改正等の手続きがあったため、補助対象期間が予定より短くなったことと農業の設備整備関係の補助事業が県および他市町村で実施されたため、県内の業者が需要に対応できず、事業内に補助事業を実施することを断念する農家もあったため執行率が低い水準となった。
件数としては、昨年度より減少しているが補助率が昨年度は21%であったのに対し、24年度は50%の補助率で事業を実施している。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	那覇市在住の農家の数や経営形態等を把握しきれていないという状況があり、適切な補助事業の周知ができなかった。 また補助対象者である農家には、農作業の繁忙期があり、補助受付時期によっては補助事業を受けようにも事務手続きに時間を割く時間が持てないため補助申請を断念することがわかった。 県内の農業関係の設備や機材等を扱う業者は限られているため、他市町村や県の事業の動向も考慮しなければ業者が需要に対応できないという実態が見えてきた。	那覇市在住の農家情報を適切に把握するシステムを構築する。 補助事業の実施時期や回数の見直しや補助対象を農家に限定せず、農協（生産部会）への補助も検討し、事務の簡素化を図ることを検討する。 県や他市町村の補助事業を注視し、本市の補助事業への影響を常に考慮する。

今後の取り組み方針

他事業で作成中（8月末完成予定）の「農業農家台帳データベース」の最新の電子情報を元に、那覇市内の農家情報の把握を強化する。
補助事業の実施を2回にわけ、適切な時期に補助事業を実施できるようにする
補助要綱の改正を検討し、補助のあり方を見直す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,053	9,983	7,986	1,997	11,070

那覇市 9,983千円 → 補助金 9,983千円 → 市内在住農家（54件） 9,983千円 （補助率50%）

（農家負担分（交付対象外経費）11.070千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市農業振興対策補助金交付要綱に基づき適切に執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑦	地産地消推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)-イ 流通・販売・加工対策の強化
担当部課名	学校教育部　学校給食課	事業実施（予定）年度	Ｈ２４～Ｈ２６	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、伝統野菜の生産拡大、地元野菜の利用推進に向けた取り組みを行い、本市農業の振興を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,669				
	(b) 予算現額	5,669				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,669	0			
B. 執行済額		5,669				
うち交付金充当額		4,535				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：計画通りに執行した。委託料は毎月の業務内容により、7ヶ月分（委託期間）に分割して支払った。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・生産者との調整・交流 ・産地研修、農産物勉説明会の実施 ・地元野菜を各学校へサンプル配布、調整	目　標	（　実施　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	実施			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：農産物勉強会3回、那覇市地産地消会議3回、そして産地研修2回開催し、学校給食の地産地消の拡大に取り組めた。また、県産野菜の理解を深めるため、学校給食週間（H25.1.21～25）の食育活動の一環として、小学校3・4年生対象に地産地消パンフレット（「地産地消って何？」）を配付した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
学校給食における地場産物の使用する割合	目　標	（26.2%）	（28.0%）	（　　）	（　　）	（35.0%）
	実　績		29.2%			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：学校給食における地場産物の使用する割合について、野菜類で比較すると26．2%から29．2%へと使用量が拡大した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成24年度は委託期間が年度途中の9月3日からとなったため、年間を通しての対比ができなかった。また、台風の影響のため葉野菜の利用が困難な状況であった。 しかしこの事業を行うことで、学校給食食材に使用される地場産の生鮮野菜及び青果類の普及・促進及び安定的な需給体制の構築について助言、提案、情報交換など、学校給食献立作成の支援及び地場産物を使用する割合を高めることができた。	年間をとおして事業を展開することで、さらに学校給食における地場産物の使用する割合を高める。

今後の取り組み方針

今後は、生産者及び農協等関係機関が積極的に天候の影響を受けにくい作物の品種改良又は新しい作物の植え付け生産に取り組んでいるので、それらの新しい作物の紹介や料理法など学校給食への周知活動等を行い、地産地消の拡大に取り組みたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,669	5,669	4,535	1,134	0

那覇市 5,669千円 → 委託料 5,669千円 → 協同青果株式会社 5,669千円 （学校給食地産地消にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	農林水産大臣の営業許可(S59.4)を受けた沖縄県中央卸売市場唯一の卸業者である沖縄協同青果株式会社へ業務委託することで、本市産業の振興発展が図られ、伝統野菜の生産拡大、地元野菜の利用推進に向けた取り組みが行われ、本市農業の振興に寄与できた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑧	農産物直売支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－イ 流通・販売・加工対策の強化
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、鏡水大根の生産支援、地元野菜の普及推進及び商品認知度向上への支援を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,200				
	(b) 予算現額	1,200				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,200	0			
B. 執行済額		579				
うち交付金充当額		463				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		48.3%				

予算の状況の説明

「地元野菜がジョートーサー事業」と「伝統野菜保存・普及事業」の2つの委託事業を実施したが、「伝統野菜保存・普及事業（鏡水大根）」のほうが、当初予想よりも資材がかからなかったため、執行額が低く抑えられた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
（地元野菜がジョートーサー事業）地元野菜の料理講習会等、PR活動支援	目　標	（　3講座　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3講座			
（伝統野菜保存・普及事業）鏡水大根の生産支援	目　標	（　6000粒　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	約7000粒			

達成状況説明

料理講習会等の実施及び委託業者のネットワークを活用したマスコミ等の活用によりある程度の周知はできた。
伝統野菜の「種」を増やすことと、担い手を増やすことができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
地元野菜を活用した料理講習会参加者数	目　標	（　）	（　60人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		64人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

料理講習会等の実施及び委託業者のネットワークを活用したマスコミ等の活用によりある程度の周知はできた。
伝統野菜の「種」を増やすことと、担い手を増やすことができた。

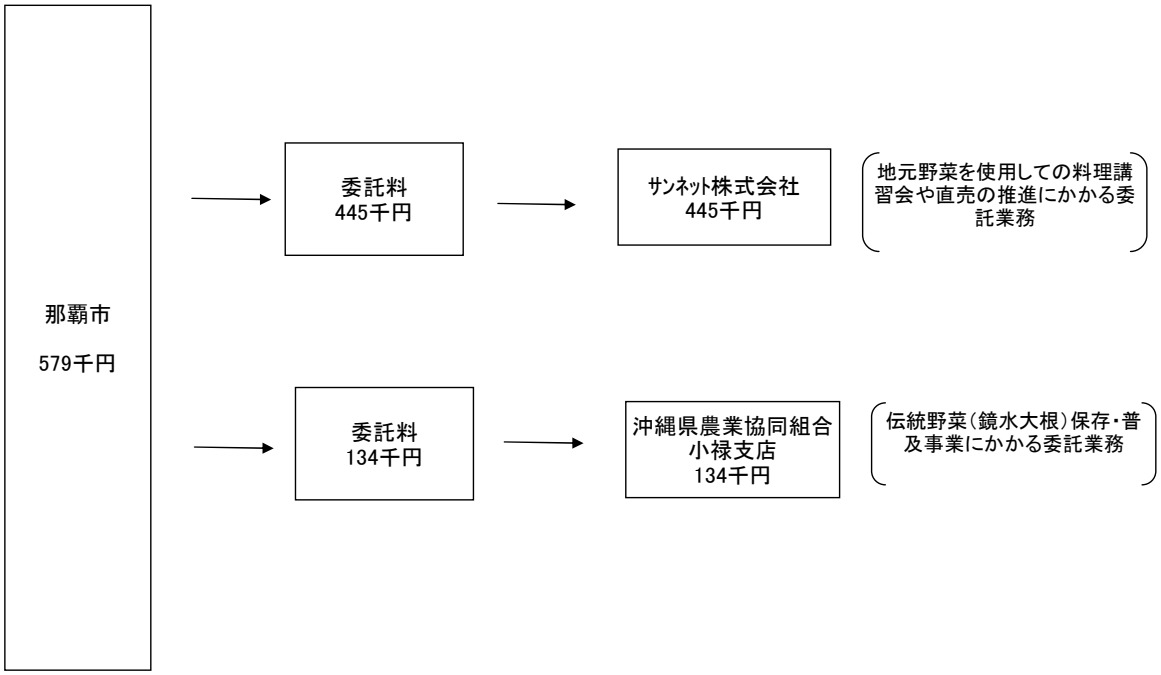
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	予算の関係上、料理講習会の実施と委託業者のネットワークにたよった周知活動を実施した。ただPR媒体（パンフレット等）を製作するまでにはいたらなかったため、広がりにはもうひとつ推進力が必要と感じる。 伝統野菜については、「種」の増加と担い手を増やすということはある程度達成できたので、次は栽培する場所と生産体制及び流通体制の確立およびブランド化等の必要性を感じた。 伝統野菜の生産者の集まりがあるが、これを組織化できるかがカギとなると感じた	パンフレットやホームページ等の広報媒体へも力を入れられるような体制を考える。 伝統野菜については、生産する農家との意思疎通を図り、作り手の考えを考慮して事業を推進する。

今後の取り組み方針

料理講習会や勉強会等のPRおよび啓蒙活動を活発させるとともに、幅広く広報できるような活動を考える。
伝統野菜の生産者と意思疎通を図りながら、今後の方向性を探る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
579	579	463	116	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	【地元野菜がショートーサー事業】 地方自治法施行令167条の2第1項1号及び那覇市契約規則第21条第1項（6）に基づき随意契約を締結（見積徴収数2社：JA小禄支店、サンネット株式会社） 【伝統野菜・保存普及事業】 地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づき随意契約 （受託業者でしか本事業の遂行は困難）
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑨	亜熱帯農作物加工支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－イ 流通・販売・加工対策の強化
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、ハーブの一種であるバジルを原料としたバジルソースの生産加工機材整備に対する支援を行い、本市農業の振興を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,838				
	(b) 予算現額	1,838				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,838	0			
B. 執行済額		1,838				
うち交付金充当額		1,470				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
地元野菜の加工商品製造機械導入支援	目　標	（　1団体　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1団体			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：地元農家が栽培した野菜を使用した加工品の大量生産に必要な機材整備がなされた

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
地元野菜の加工商品製造機械導入支援件数	目　標	（　0　）	（　1件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：地元農家が栽培した野菜を使用した加工品の大量生産に必要な機材整備がなされた

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	補助事業により加工品生産の基盤整備が整えられたが、まだ実際の運用がなされていないため、今後は導入された機材を使用しての生産及び販売拡大が課題となる	新しく導入した機材の使用の熟練度アップを図り効率のよい生産の拡大を期待する。

今後の取り組み方針

補助事業により導入された機材の運用実績を分析する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,298	1,838	1,470	368	460

那覇市
1,838千円
→
補助金
1,838千円
→
沖縄県農業協同組合
小禄支店
1,838千円
（補助率80%）
（生産加工機材整備に係る経費の補助）

（組合負担分（交付対象外経費）460千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市農業振興対策補助金交付要綱に基づき適切に執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-②	農連市場相対売り継承調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－３－（8）－イ 地域を支える中小企業等の振興
担当部課名	都市計画部　市街地整備課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(7)

事業内容

農連市場地区防災街区整備事業において、既存店舗を集約した新たな商業施設が計画されている。そこで、現在の農連市場地区にみられるマチグワー文化の特徴である相対売り等を生かした商業形態を継承し、商業の活性化を図ることを目的とした新たな商業施設の運営計画等の調査に対して補助を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,000				
	(b) 予算現額	6,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,000				
B. 執行済額		6,000				
うち交付金充当額		4,800				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
相対売り等継承調査への支援	目　標	（　1件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1件			
	目　標	（　－　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：農連市場地区における相対売り継承を可能とする為に施設の成立性、方向性及び配置計画等の検討を行ない、新たな商業施設計画の基本的方向性の取りまとめを行った。さらに商業施設の具現化推進の為、権利者意向の取りまとめ、各組織との調整、農連市場の機能継続の検討等が実施できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
相対売り等継承調査への支援	目　標	（　0件　）	（　1件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1件			
【参考指標】	目　標	（　－　）	（　－　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：事業の実施により、新たな商業施設整備に向けて農連市場地区内の個人卸業者や小売店舗営業者の士気が高まってきており、相対売り等を生かした商業形態の継承、一般消費者をターゲットとする小売店舗への業態変更等による商業の活性化についての理解が得られた。それを踏まえ、今後さらに具現化へ向けて必要な各種調査、計画案作成及び権利者調整等に係る費用に対して補助を行う。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新たな商業施設整備に向けて計画案を取りまとめる必要があることから、権利者への理解を得るための十分な説明が必要となる。	権利者への説明を十分に行い、理解を深めた上で権利者の意向を取りまとめ、新たな商業施設の計画案の作成等を行っていく。

今後の取り組み方針

権利者の意向を取りまとめながら相対売り等を生かした商業形態の継承と商業の活性化の実現に向け、商業施設の配置計画作成(業種・業態のゾーニング)・ルール検討、店舗運営方針検討(組織化、経済条件の整理)のために必要な各種調査、計画案作成及び権利者調整等に係る費用に対して補助を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

那覇市
間接補助(6,000千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,075	6,000	4,800	1,200	6,075

補助金交付
（交付対象経費の50%）

準備組合(補助事業者)
（農連市場地区防災街区整備事業の区域内に所在する団体）
（準備組合負担 6,075千円）

（ 委 託 ）
12,075千円

株式会社イデア(商業コンサルタント)
(農連市場相対売り継承調査事業の実施)

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は、業務遂行に必要な商業・経済・流通に関する高度な専門知識やノウハウ及び全国ネットの情報の集積や実績等を勘案した上で選定しており妥当であった。 ・予算規模、受益者との負担関係においては、交付申請を受けた際に書類により事業目的・概要を審査し適正であった。 ・費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3－③	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－ア 中小企業等の総合支援の推進
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(7)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、市内の中小企業事業者が新規開発した商品・サービスを県外・海外へ販路拡大する取り組みに対して助成などの支援を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	30,929				
	(b) 予算現額	30,929				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	30,929	0			
B. 執行済額		9,567				
うち交付金充当額		7,653				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		30.7%				

予算の状況の説明

・尖閣諸島問題に端を発する中国との関係悪化に伴う物流網の停滞にともない、海外における見本市等の中止が相次いだため、補助金を申請する事業者が激減した。
・上記の事情にともない、事業委託においても、当初予定していた福州市での物産展開催が困難となったため、シンガポールに会場を変更し開催した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
販路拡大支援事業補助金の採択事業者数	目　標	（県外/14社 海外/7社）	（　）	（　）	（　）
	実　績	県外/3社 海外/2社			
海外での販路拡大イベントの実施	目　標	（福州市での開催）	（　）	（　）	（　）
	実　績	シンガポールにて実施			

達成状況説明

・販路拡大支援事業補助金を募集し、3社の申請があり、3社が採択された。うち県外3社、海外2社である。（県外、海外両方に会社を持つ企業あり）
・海外向け県産加工食品等販路拡大支援事業(受託者：沖縄県物産公社)について、平成25年2月にシンガポール伊勢丹にて物産展及び観光プロモーションを実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
助成対象期間内における採択事業者の商談件数及び成約件数	目　標	（商談件数100件 成約件数5件）	（商談件数100件 成約件数5件）	（　）	（　）	（商談件数800件 成約件数30件）
	実　績		商談件数141件 成約件数13件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

・補助の実施により、商談件数が141件あり、うち成約件数が13件となった。

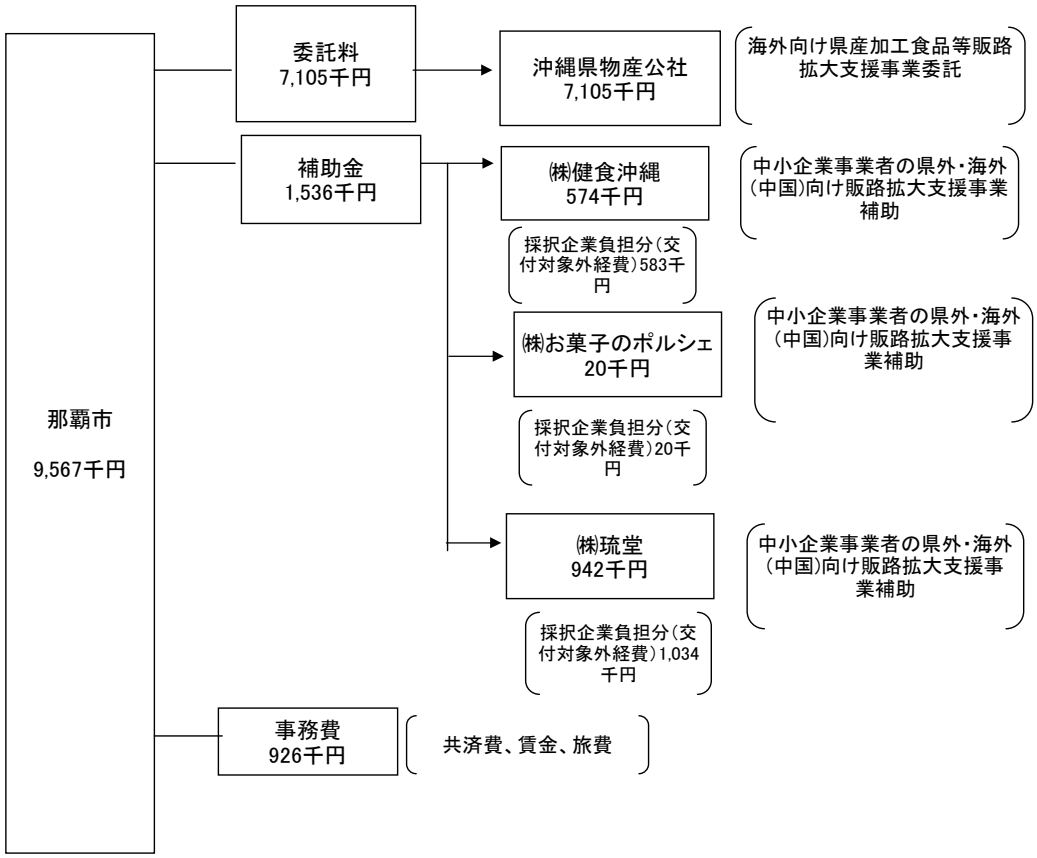
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・尖閣問題に端を発する中国との関係悪化により、いままで主に中国向けに海外への販路拡大をおこなってきた中小企業事業者に大きな影響を与えたため、見本市等への出展も停滞した。 ・補助金の対象経費が、主に見本市・展示会等の出展費用となっているため、ECサイトへの出店等幅広い販路拡大事業に対する補助が行えず、利用ニーズをうまくつかみとれていないことがわかった。	・事業委託、補助金ともに、中国に特化せず、広くアジア等への販路拡大を視野に入れて事業実施を行う必要がある。 ・中国において、ECサイトは堅調な売上を示しているとのことであり、ECサイトへの出店に対しても補助を行うことで、中国における販路拡大の支援を行う必要がある。

今後の取り組み方針

・補助金について、既存の見本市・展示会等の出展費用だけでなく、全国・海外向けECサイト等への出店にかかる費用も補助できるように、交付要綱・募集要項等の見直しを行う。
・事業委託について、広くアジア等の地域で物産展・観光プロモーションを行うだけでなく、県外の販路拡大を図るため、県外会場にて物産展等を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,204	9,567	7,653	1,914	1,637



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3－④	企業誘致促進優良オフィス認定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(3)－ア 情報通信関連産業の立地促進
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(7)

事業内容

本市への企業誘致を推進するため、企業向けの優良賃貸事務所等の情報を掲載するWebを作成する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	13,982				
	(b) 予算現額	13,982				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	13,982	0			
B. 執行済額		12,159				
うち交付金充当額		9,727				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		87.0%				

予算の状況の説明：ほぼ計画通りに執行した。活動目標・成果目標ともに概ね達成できていることから適正であると考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・優良オフィスの認定 ・優良オフィスの詳細情報（周辺環境の写真、動画等）の収集 ・優良オフィスを紹介するWEBサイトの構築	目　標	（各指標の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	各指標の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年度の目標は達成し、WEBサイトの公開が予定どおり実施できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
優良オフィスの認定店舗件数	目　標	（　）	（100件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		70件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24年度はWEB制作を中心に、平成25年度当初より公開開始。現在市内の空きオフィスの情報を不動産仲介業者に照会するなど物件が増加している。常時100件程度の情報公開を目標とし、企業誘致活動に資するよう今後も広報活動を展開する。

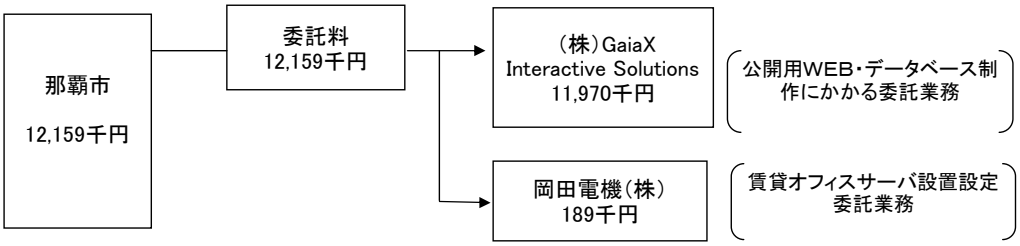
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・平成24年度は、WEB及びデータベースの制作業務を中心に実施してきたため、運用開始後、利用者の意見をヒアリングし、ニーズを把握する必要がある。	・現在は市内の賃貸オフィスから、「めんそーれオフィス」「めんそーれオフィスぷらす」の2種類の該当項目のみを表記しているが、実際の利用者のニーズに合わせあらたな要件に該当する物件を掲載することも検討が必要。 ・WEBサイトそのものの利便性についても意見を聴取する。

今後の取り組み方針

・今後は物件を実際に取り扱う不動産事業者と進出を検討している事業者の意見を取り入れながらよりニーズに合う物件を、実際の調査を通し把握。改善に向け取り組んで行きたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,159	12,159	9,727	2,432	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3－⑤	企業誘致活動サポート事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(3)－ア 情報通信関連産業の立地促進
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(7)

事業内容

本市への企業誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析並びに誘致方針の検討と各種誘致活動の展開を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	10,000				
	(b) 予算現額	10,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	10,000	0			
B. 執行済額		9,987				
うち交付金充当額		7,989				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.9%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。プロポーザル方式により契約上限額を示し、契約を実施。実施内容と執行額については問題ないと思われる。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・県外企業の意向調査 ・企業訪問 ・フォローアップ活動	目　標	（各指標の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	各指標の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：事務手続き上、24年11月の契約にも関わらず当初の予定通り事業が実施できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
県外企業の意向調査件数	目　標	（　）	（5,000件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		5,000件			
企業訪問件数	目　標	（　）	（50件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		50件			
フォローアップ活動件数	目　標	（　）	（100件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100件			

進捗状況説明：上記のとおり委託企業による5,000件の電話調査を実施し、100件の郵送調査、50件の訪問を実施し意向が把握できた。
うち4社については、市の職員及び沖縄県大阪事務所の職員が訪問を実施した。
又、1社については平成25年4月に那覇市への現地視察を実施、条件が整えば立地の可能性が高いと思われる。

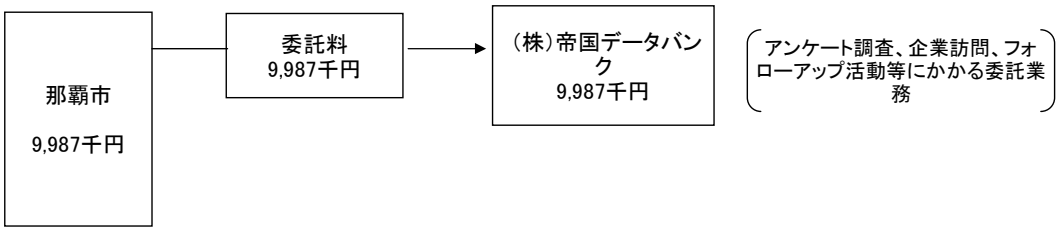
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今回の調査では、現時点で立地計画はないものの、沖縄県に興味があるという企業は見られた。これらの企業は現在は事業展開上の必要性が出てきてはいないものの、状況の変化によっては立地が具現化する潜在ニーズのある企業と思われる。 一方、郵送調査により、立地先検討の期間として、「1年未満」「1年～3年程度」と検討から決定までの期間が民間企業においては、比較的短いことが把握できた。 実際に那覇市に立地している企業への調査を重点的に行うことで、那覇のセールスポイントを細かく把握すべきであった。 委託先企業のみの訪問だけでなく、市の担当者が直接情報提供を行うことが、企業の印象に大きく作用すると思われる。	現時点で立地計画は無い企業に対する対応。 検討から決定までの民間のスピード感に対する対応。 那覇の立地環境の再検証・把握。 市職員による企業へのコンタクトを増やす。

今後の取り組み方針

・企業の立地に関しては年度単位で捉えることは困難なため、次年度は今年度の結果を踏まえた調査・コンタクトを実施する。
・意向があった場合に対応するスピード感を持った対応方針の検討を実施する。
・那覇市内の企業に調査を実施する等那覇市の立地環境の再検証を実施する。
・自治体としての関わり方を増加させるよう実施内容を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,987	9,987	7,989	1,998	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3－⑥	那覇の物産展推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(7)

事業内容

本市産業の振興発展を図るため、那覇の物産展を開催する。本市の特産品の需要拡大と販路の開拓を促進するためPRして、産業の振興を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,400				
	(b) 予算現額	1,400				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,400	0			
B. 執行済額		1,400				
うち交付金充当額		1,120				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通り執行した。平成25年2月12日～17日の6日間、市内デパートにて「那覇市の物産と観光展」を開催。出展業者数、期間売上高とも、前年度を若干下まわったが、来客数は前年度実績より2割増となっており、市長賞受賞商品や新出展店舗の売上はおおむね好調であった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
特産品のブランド化支援	目　標	（市長賞応募商品数の増加）	（　）	（　）	（　）
	実　績	12点：対前年度比3点減			
特産品のPR機会の提供	目　標	（物産展への出展社数の増加）	（　）	（　）	（　）
	実　績	34社：対前年度で5社減			

達成状況説明：○那覇市長賞は、原則は那覇の物産展出展企業が製造し、2年以内の新製品であること、市内に本社及び営業所等が所在し、物産の振興と観光産業の振興に寄与する商品で、優秀な県産品であることが審査基準となっており、市長賞受賞商品の売上は関心の高さとあいまって、おおむね好調であったが、出展社数の減にともない、全体の売上額は前年度と比較し、減となっている。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（H23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
物産展の売上額	目　標	（13,731千円）	（10,000千円）	（　）	（　）	（　）
	実　績		10,504千円			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：○出展日数は6日間となるが、市内企業は中小企業、店舗が多いため、物産展出展のために臨時休業（閉店）等が必要となる場合が多いことや、市内デパートでの物産展は県外での物産展と比較し、客の滞留時間が短く、経費以上の売上を見込めない場合が多いため、出展社数が微減傾向である。

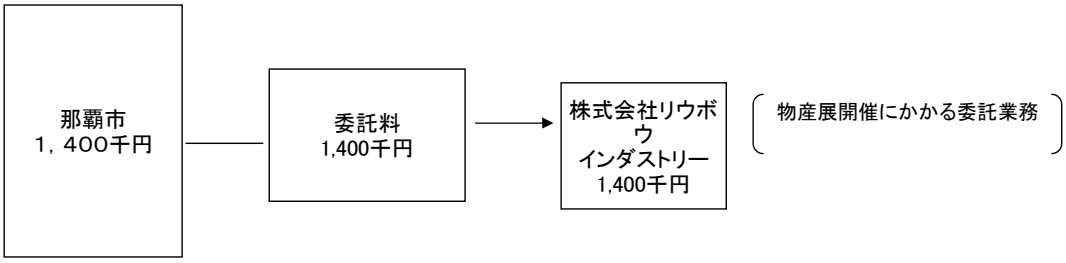
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○上記「成果目標（指標）及び進捗状況」の進捗状況説明にあるとおり、従来の物産展では売上増が見込めないため、事業の実施方法、出展方法、費用負担等を、那覇市・市内企業・委託業者らと検討していくために、これまで以上に時間をかけて、事業全体を一緒に検討していく必要がある。	○今後については、集客数の増や売上増につながる、賑わい企画、実演販売、商品演出方法等、これまでとは違った、新たな取り組みを実施していく。また、それに向けて、那覇市、市内企業、委託業者等と連携して、企業や商品のPRに結びつけ、相互に情報提供、支援していける体制づくりに結び付けていけるようにしたい。

今後の取り組み方針

○今年度事業実施後の実績をみて、今後市内での物産展については、中小企業事業者の県外・海外への販路拡大事業や那覇市の観光展など他事業との連携や、合同開催、一部事業の変更等も含め、検討していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,400	1,400	1,120	280	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、市内百貨店、大手スーパー数社へ打診・公募予定だったが、受託可能業者は1社（リウボウ）しかなく、やむを得ず随意契約を締結。地理的条件（公共交通機関網の充実、市庁舎近隣）、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4－⑤	那覇港総合物流センター可能性調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)

事業内容

国際物流拠点としての那覇港の機能拡充を図るため、総合物流センター設置に向けた可能性調査を実施する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	16,637				
	(b) 予算現額	16,637				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額					
	A. 計 (b+d)	16,637	0			
B. 執行済額		16,637				
うち交付金充当額		13,309				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		全額執行				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇港における総合物流センターの需要、可能性調査の実施	目　標	（需要、可能性調査の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	需要、可能性調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：活動目標どおり、企業アンケートやヒアリングにより、総合物流センターの需要の見込みや企業のニーズが把握できた。また、地質調査の実施により、液状化の可能性が把握できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇港における総合物流センターの需要、可能性調査の実施	目　標	（－）	（需要、可能性調査の実施）	（　）	（　）	（－）
	実　績		需要、可能性調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：成果目標どおり、施設の仕様、規模、工法、運営方法等の検討により本センターの事業化の方策をとりまとめることができた。

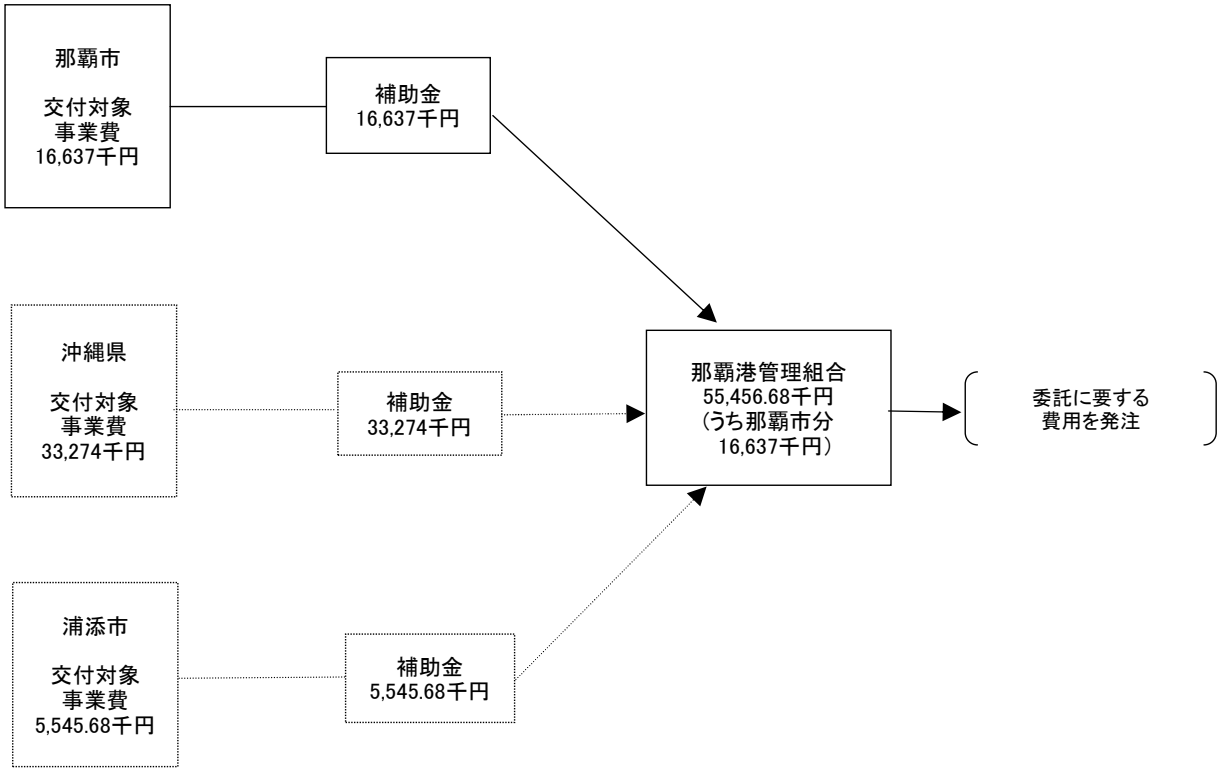
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	企業ヒアリングの結果、当該施設を民間事業で整備する場合、当面必要な施設の整備（平屋）のみにとどまり、当該土地の有効活用、施設の機能高度化に対応できない。 また、民間事業で整備する場合、建設コスト等により賃貸料を割高に設定することが想定され、物流コストの縮減には繋がらない。 企業のニーズとしては、事業費が大きいことから、公設民営（テナント入居）の希望が最も多かった。	当該土地の有効活用、施設の機能高度化に対応するためには、本センターを公で整備する必要がある。 本センターを公設民営で整備し、賃貸料を安価に設定することで、物流コストを縮減することが可能となり、また、組立加工産業等の新たな企業の誘致に繋がる。

今後の取り組み方針

一括交付金を含めた公的資金を充当し、公設民営による施設整備を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,637	16,637	13,309	3,328	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・負担割合について、「那覇港管理組合の設立に関する覚書」にて沖縄県6、那覇市3、浦添市1となっており、妥当であったと考えている。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5－①	(就労者向け)ITフォローアップ人材養成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(3)－ウ 多様な情報系人材の育成・確保
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2

事業内容	市民の就業支援と本県でニーズの多いIT業界で求められている人材育成を支援するため、IT業界に勤める方を対象としたスキル習得研修を開催する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	55,464				
	(b) 予算現額	55,464				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	55,464	0			
B. 執行済額		53,892				
うち交付金充当額		43,113				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.2%				
予算の状況の説明		講座の受講料として1人あたり20,000円を徴収することとしたため、受託業者の収入となる分が予算残となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
研修実施による即戦力人材の養成	目　標	（即戦力人材の養成）	（　）	（　）	（　）
	実　績	即戦力人材の養成			
受講生のIT能力向上の支援	目　標	（IT能力向上支援）	（　）	（　）	（　）
	実　績	IT能力向上支援			

達成状況説明：①クラウドサービスを活用した開発・企画プレゼンテーション講座（14名）、②BCP（事業継続計画）設計人材向け講座（15名）、③Androidアプリ開発者育成講座（10名）、④アクセス解析を通じた運用サイトの競争力強化講座（15名）、⑤インターネット広告講座（10名）、⑥ソーシャルゲーム開発人材育成講座（15名）の各講座を週に3回の１６週（４８回）行い７７名全員が研修課程を修了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
ITフォローアップ人材養成講座受講者数	目　標	（－）	（70名）	（　）	（　）	（　）
	実　績		77名			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：講座開始前と修了後に理解度確認テストを実施し、全講座において点数が上がった。

当初見込んでいたより受講者が上回ったため、講座受講者数の目標を上回った。

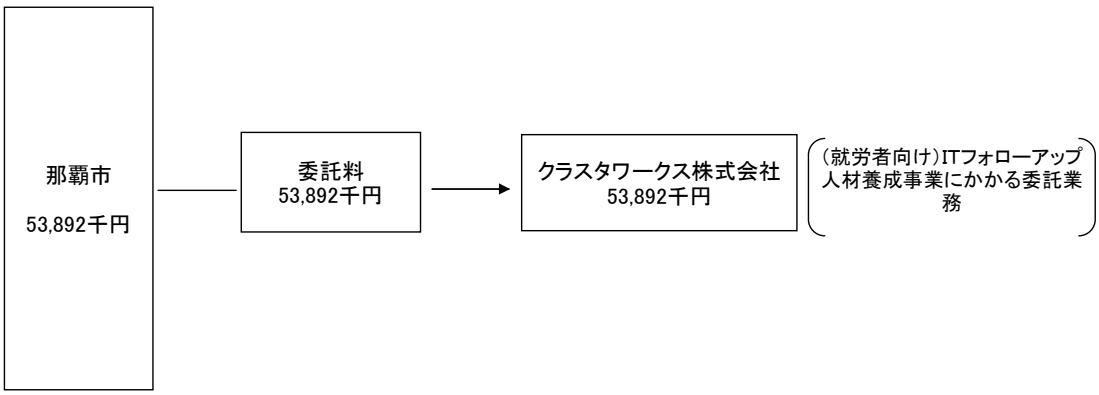
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業実施期間が年末から年度末となったが、企業の繁忙期であったため業務の都合で参加を見送る企業もあり、開催時期については検討する必要がある。 講義の時間帯が業務修了後の１７時から２１時まで週３日と疲労があったと考えられる。	今回参加した企業にアンケート等を行い開催時期については希望に沿った時期に行えるようにしたい。また、講義の時間帯については事業実施期間を長くすることで、土日の午前中にしたりするなど、なるべく仕事に影響がなく、集中できる時間帯を検討する。

今後の取り組み方針

就労者のエンジニアとしての技術レベルの向上のみならず意識レベルの向上もみられ、一定程度の事業効果はあったと思われる。しかし、多岐にわたる情報通信産業の就労者への研修としは研修開始時の個々人のレベルの差もあることから、就職して3年以内の者への研修などの受講対象者の区分けや、講座内容についても広く企業のニーズ調査が必要と考えられることから、今後の事業実施にあたってはスキームの見直し等含め検討していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
53,892	53,892	43,113	10,779	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5－②	コールセンター人材育成及びマッチング支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(3)－ウ 多様な情報系人材の育成・確保
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2
事業内容	市民の就業支援と本県でニーズの多いコールセンター業界で求められている人材育成を支援するため、アンケート調査を実施する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,000				
	(b) 予算現額	2,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,000	0			
B. 執行済額		1,999				
うち交付金充当額		1,599				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
コールセンター雇用環境実態調査の実施	目　標	平成24年10月4日～11月5日の期間で調査実施	（　）	（　）	（　）
	実　績	平成24年10月4日～11月5日の期間で調査実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：那覇市内に立地するコールセンター、就労支援施設および高等学校を訪問し、直接調査票を配布し、調査終了日にも直接訪問し回収

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
コールセンター雇用環境実態調査件数	目　標	（－）	（企業15社、勤務者1200名、離職者100名、教育機関5件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		企業17社、勤務者1244名、離職者107名、教育機関5件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：調査票配布数及び調査票回収数において目標を上回っており、回収率も約71%で目標は達成できた

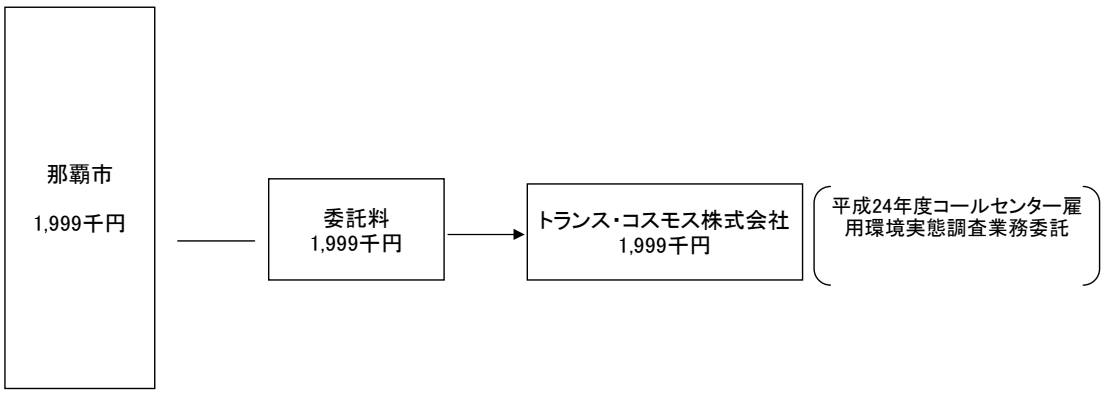
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	企業向け調査票の回収率（48.6%）が低くかった。コールセンター勤務者向け、離職者向けについては8割近い回収率であるため事業目標は概ね達成できた。	コールセンターでの離職者の増加や就職希望者の減少など、人材確保が困難な主な原因を調査結果から検証していく。

今後の取り組み方針

調査票の回収結果を分析し、どういう支援ができるのか。また効果的なのかを今後十分に調査研究し、今後の事業立案について検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,999	1,999	1,599	400	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5－③	IT業界を知る講座（高校・大学生向け）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（3）－ウ 多様な情報系人材の育成・確保
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2
事業内容	市民の就業支援を行うため、高校生や大学生向けに、IT業界の職種や職場環境を理解する講座を開催し、将来の就職につなげる。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,906				
	(b) 予算現額	1,906				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,906	0			
B. 執行済額		1,906				
うち交付金充当額		1,524				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
高校生・大学生を対象に講座を実施	目　標	平成24年12月～平成25年3月の期間で実施	（　）	（　）	（　）
	実　績	1期：平成24年12月1～平成25年1月20日 2期：平成25年1月26日～2月24日			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	
	平成24年度の目標は達成し1期生、2期生と講座を終了した

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
教育講座受講生徒数	目　標	（　）	（1期・2期（計60名））	（　）	（　）	（　）
	実　績		1期：17名 2期：36名 （計53名）			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	
	講座終了後のアンケート結果から「IT業界への理解が深まった」、「進路選択に役立った」、「スキルを習得できた」とう回答があった。また講座修了後に数名の受講生が企業訪問を行うなど就職に対する意識の醸成と具現化に寄与できたものと考えている。

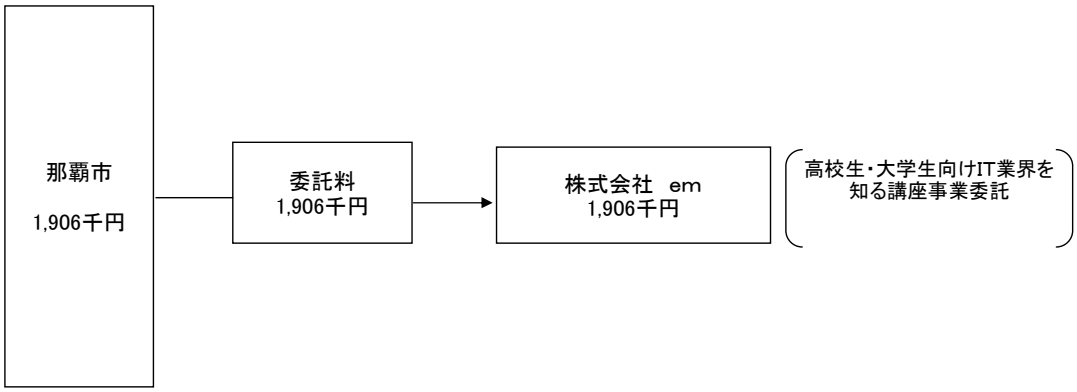
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	受講生の確保に時間を要した。理由として各学校の教師や父兄への事業概要の説明不足もあったと思うがIT業界へ理解度や認知度に差があることが原因だと考える。また開催時期が年末、年度末と学校側にとっては多忙な時期であったことも参加者が少なくなった原因と考える。	各学校の進路指導や情報科担当の教師に対して本事業への理解度と認知度を高めていく必要がある。また開催時期については年末、年度末を避け学校側と調整する必要がある。さらに生徒と企業との橋渡し役となる教師や父兄向けに、IT業界の仕組みや仕事内容などを知ってもらうよな企業説明会の開催など「理解度、認知度」をあげる取り組みも必要である。

今後の取り組み方針

事業実施にあたり、受講生の関係者となる「教師、父兄の理解度、納得度」や「IT業界の知名度」が講座の応募数に影響することから、講座内容を含め応募を募る前の段階から事業の見直しを検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,906	1,906	1,524	382	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5－④	中学生のための仕事と社会について考える講座事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2

事業内容	市民の就業支援を行うため、中学生を対象に将来の進路選択についての体験・参加型講座、講演会等を開催する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,013				
	(b) 予算現額	5,013				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,013	0			
	B. 執行済額	5,008				
	うち交付金充当額	4,006				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.9%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。公募による企画提案型による委託業者を選定し、契約を締結した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
体験・参加型の講演会を実施（中学校4校の生徒計830人余）	目　標	（830名）	（　）	（　）	（　）
	実　績	778名			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市立中学校4校で仕事と社会について考える体験・参加型の講座を実施した。講座開始前のアンケートでは、仕事や働くことに対して、「きつい」、「生活のためにやらなくてはいけない」という意見から受講後「将来が楽しみになった」、「いろいろな職業や仕事があることがわかった」など肯定的な意見が多くみられた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
キャリア教育講座受講生徒数	目　標	（0）	（830名）	（　）	（　）	（　）
	実　績		778名			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：実績は目標より下回っているが、在籍数が目標値であったため、実際に講座を受講、アンケートを回答した数字である。本事業はキャリア教育の一つとして平成24年度に初めて中学生を対象にした事業であるが、アンケート調査等から受講した中学生のにとって、仕事や社会、自分の将来を考えるよいきっかけとなったと考えられる。

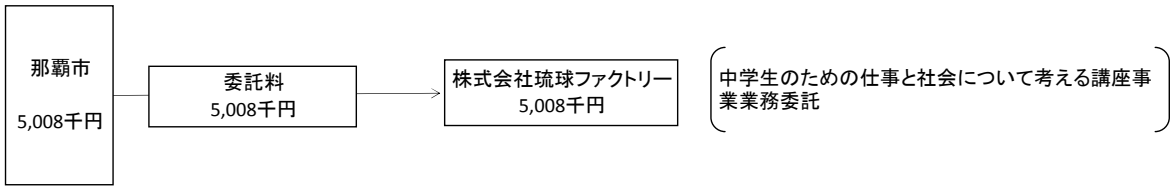
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・今回初めて中学生に対するキャリア教育という点で、アンケート調査結果等から一定程度の意義があったと思われる。 ・市立中学校18校のうち希望する4校の1学年づつを対象にしたが、その他の学校でのキャリア教育の実施や実施内容等について学校との連携を図った継続的なキャリア教育としての取り組みが必要であると考える。	・今回の事業実施において、中学生に対するキャリア教育の重要性、必要性、有効性があると認識できた。 ・単発的な事業実施ではなく、生徒を対象にした継続的なキャリア教育の実施及び教員に対する研修等の必要があるのではないかと考える。

今後の取り組み方針

教育課程と連動した全市的にキャリア教育を推進する体制やキャリア教育のあり方、方策を検討する必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,008	5,008	4,006	1,002	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、公募による企画提案型により事業者の実績やノウハウ、提案内容を勘案し選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については、事業目的の達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-⑤	訪問介護員（ホームヘルパー）養成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（10）－ア 雇用機会の創出・拡大と求職者支援
担当部課名	福祉部　ちゃ―がんじゅう課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－（1）

事業内容	市民の就業支援と本県でニーズの多い訪問介護のための人材育成を支援するため、生活保護受給者や失業者等を対象に、訪問介護員2級資格を取得するための講座を実施する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	20,981				
	(b) 予算現額	21,115				
	(c) 増減額 (b-a)	134				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	21,115	0			
B. 執行済額		21,029				
うち交付金充当額		16,823				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.6%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
訪問介護員養成人数	目　標	（　200人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	210人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	生活保護受給者や失業者等を対象に、訪問介護員2級資格を取得するための講座を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
訪問介護員養成人数	目　標	（　－　）	（　200人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		210人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	生活保護受給者や失業者等を対象に、訪問介護員2級資格を取得するための講座を実施した結果、210人の市民が資格を取得した。

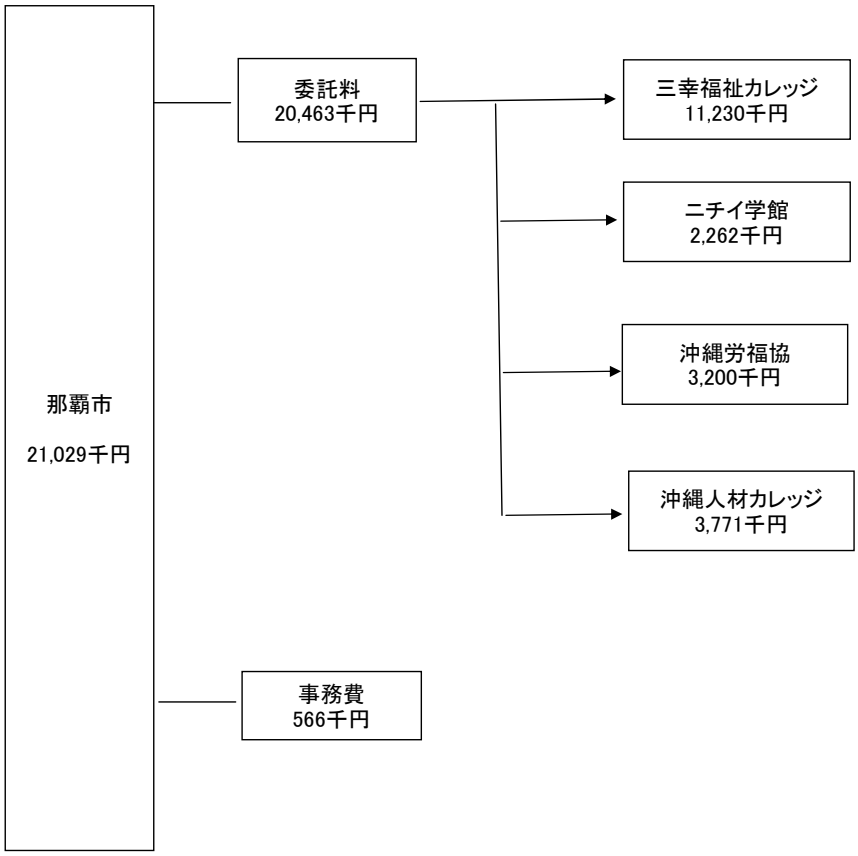
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成25年度からは、「介護職員初任者研修」となりカリキュラムの変更等が行われる。	カリキュラムの変更により、受講日数が増加し、受講料も増額されることから資格取得者200人を達成するための予算確保が必要である。

今後の取り組み方針

資格取得者200人を達成するための予算確保に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,029	21,029	16,823	4,206	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は沖縄県の指定を受けた市内研修事業者全てと契約を行った。 ○受益者は生活保護受給者や失業者等である。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5－⑥	なはし就職なんでも相談センター事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(10)－ア 雇用機会の創出・拡大と求職者支援
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2

事業内容

市民の就業支援を行うため、民間人材サービス会社のノウハウを最大限に活用した就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,119				
	(b) 予算現額	8,390				
	(c) 増減額 (b-a)	271				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	8,390	0			
	B. 執行済額	8,243				
	うち交付金充当額	6,594				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.5%				

予算の状況の説明

ほぼ計画通りに執行した。相談業務等については、公募による企画提案型による委託業者を選定し、契約を締結した。その他、非常勤職員報酬、需用費などは本事業実施に係る必要最小限の執行となっている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
就職活動支援セミナーの開催	目　標	（62講座以上）	（　）	（　）	（　）
	実　績	92講座			
・就職相談 ・求人情報の提供	目　標	（就職相談、求人情報の提供）	（　）	（　）	（　）
	実　績	就職相談、求人情報の提供			

達成状況説明

目標値を上回る講座が実施されている。求職者の方々が予約なしに気軽に受講できるような講座やマナーや面接の練習など就職活動に必要なスキルを身につける実践的な講座等を開催し、来所される求職者に対しては履歴書作成の指導や適性相談など寄り添い型の就職相談を実施している。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（18年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（29年度）
なはし就職なんでも相談センターにおける求職に結びついた相談者数	目　標	（189人）	（200人）	（　）	（　）	（250人）
	実　績		115人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

実績が目標値より少ない人数となっているが、なはし就職なんでも相談センターは職業あっせんは行っておらず、就職に結びついた相談者数は、なはし就職なんでも相談センターが毎月実施する「就職活動チャレンジセミナー、就活道場、パソコン講座」の受講者及び相談者の講座受講後または来所後3ヵ月後を目途に行う追跡調査による人数であり、正確な就職者の把握は難しい状況である。 調査後に就職された求職者や追跡調査ができなかった求職者もいると考えられるので、実数は若干増えるものと思われる。

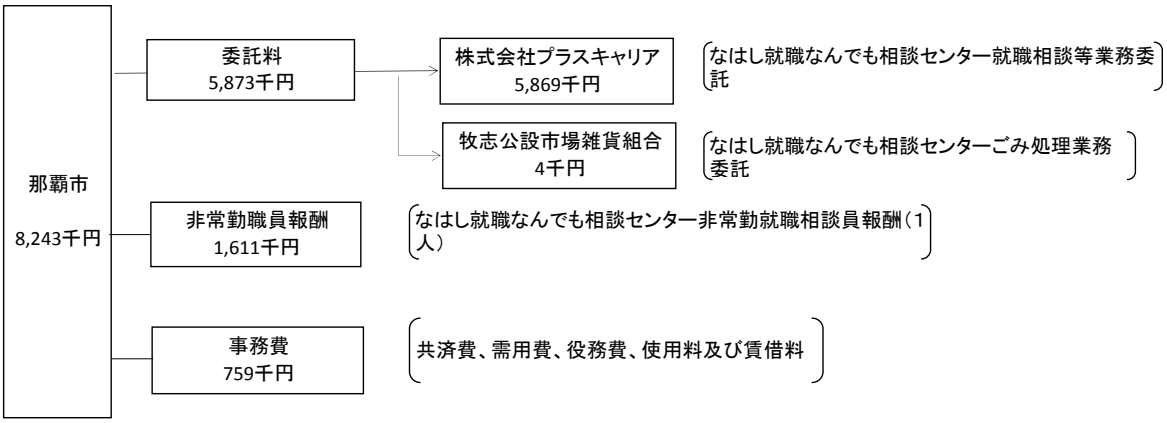
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・県内の雇用情勢は回復の兆しがみられ、採用意欲がうかがえる企業も増加しているが、求人側の人材像と求職者との間とのミスマッチなどによる早期離職は依然として課題である。 ・なはし就職なんでも相談センターが平成25年1月4日より牧志公設市場雑貨部から本庁舎1階へ移転したことにより、利用者が増えた。	・利用者が予約なしでも気軽にセンターへ立ち寄れるプログラムや年代別のセミナーの実施などによるセンターのより一層の活用を促す。 ・利用者が求人企業の生の声を聞く、就職説明会等に参加することにより多くの職業を知る機会、職業観をもち、職業選択の幅を広げる機会を増やす。

今後の取り組み方針

・具体的なゴールを設定した就職支援や就職相談がワンストップで提供できるような仕組みをつくる。
・就職決定後においても定着支援を行い、早期離職を防止する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,243	8,243	6,594	1,649	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、公募による企画提案型により事業者の実績やノウハウ、提案内容を勘案し選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については、事業目的の達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	基礎学力向上のための学習支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ア 確かな学力を身につける教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内小学校に退職教員等を活用したティーム・ティーチング形式等での小3算数を中心とした学力向上支援を行う。教員有資格者を配置することで個に応じたきめ細やかな指導体制の強化がはかれ、学習意欲の向上や基礎学力の定着を促す。
・学習支援員報償費　1授業時間当たり1,500円
・学習支援員派遣時間　1学級につき1週あたり授業時数5時間を目途とする

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,448				
	(b) 予算現額	9,448				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,448	0			
B. 執行済額		9,292				
うち交付金充当額		7,432				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.3%				

予算の状況の説明：平成24年度は計画どおり執行済みである。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
学習支援員配置学校数	目　標	（　小学校21校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	小学校21校			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内小学校21校に22名の学習支援員を配置。学校、クラスの状況に応じてティーム・ティーチング方式授業、少人数教室授業及び補修授業を行い、児童の学力等に配慮したきめ細やかな支援を実践。合計、5,340時間の支援を行い目標を達成している。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
学習支援員配置学校数	目　標	（　0校　）	（小学校21校）	（　）	（　）	（小学校37校）
	実　績		小学校21校			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：学習支援員を配置した学校からは、少人数教室等で個人の理解度に合わせた指導が行えたことで、基礎学力の向上につながり、理解できることで児童の学習意欲も向上にしたとの報告が多数寄せられたことから、小学3年生の算数の学力向上につながったと判断できる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・那覇市は児童生徒の全国学力・学習状況調査において下位の状況となっていることが背景にある。 ・配置校の目標数は達成されているが、学習支援員に教員資格保持者を配置するため、人材の確保に苦慮している。	・個に応じたきめ細かな指導体制を強化することにより、児童の学習意欲の向上や基礎学力の定着を図り学力向上を図っていく必要がある。 ・事業内諾日がH24.7.31であり、実際に活動を開始したのは夏季休業明けであったことから、次年度は早い時期から募集を行うことで人材確保が見込まれる。

今後の取り組み方針

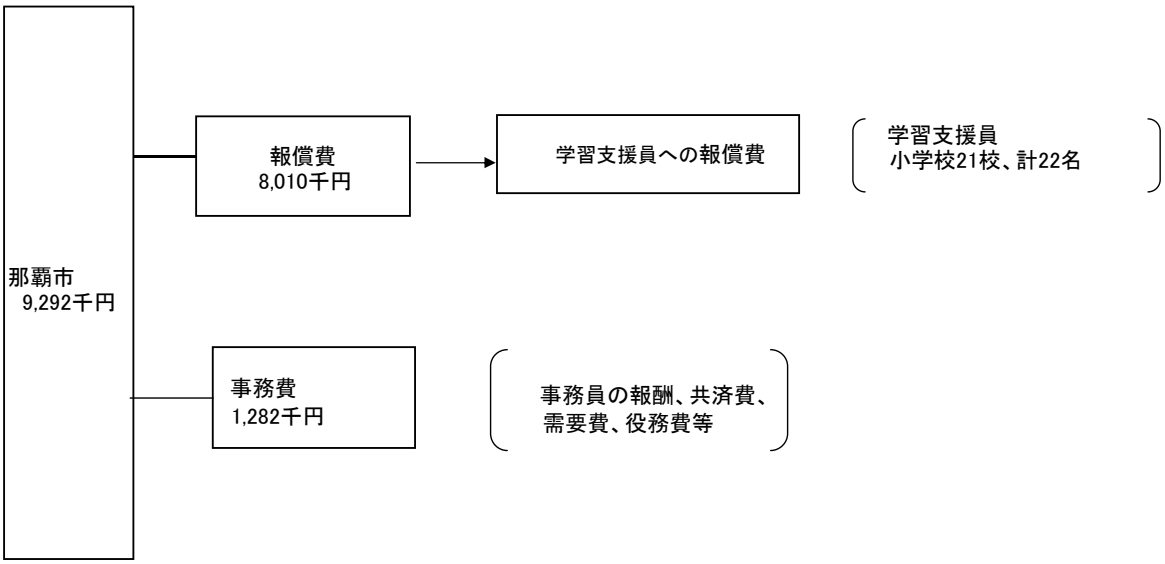
・教育体制を充実・強化し、きめ細かな教育環境の提供を図ることで、児童の積極性や学習意欲が向上し、基礎学力の向上が図られる。

・年度末3月に小学校に対し事業の案内を行い、学校での早期人材確保を促す。また、市のホームページを活用し広く人材を募集する。

・平成25年度以降は全小学校へ学習支援員を配置すると共に、全国学力・学習状況調査で上位の県へ教職員の視察研修を行うことにより、授業改善、学力向上につなげる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,292	9,292	7,432	1,860	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途等については、事業実施要項に基づく申請・報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－④	小学校英語指導員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、那覇市では、英語指導員（外国人・日本人）を小学校各校に配置し、小学校1年から各小学校へ配置された英語指導員と担任教諭とのティーム・ティーチング形式による英語の授業を行うことにより、中学校までの長期的な英語指導を実践することで英語能力によるコミュニケーション能力の育成を図り、国際感覚を身につけた人材の育成を図る。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	54,024				
	(b) 予算現額	54,024				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	54,024	0			
B. 執行済額		53,221				
うち交付金充当額		42,576				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.5%				
予算の状況の説明		予算残額は実績に基づく通勤手当の残が主なものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

		達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
英語指導員配置数	目　標	（外国人：18人 日本人：20人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	外国人：18人 日本人：20人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内38校の小学校に対して、外国人18名・日本人20名の計38名を採用し、各校へ配置することによって活動目標を達成している。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市内小学校への英語指導員派遣率	目　標	（0%）	（100%）	（　）	（　）	（100%）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内全38校の小学校に対して38名の英語指導員を採用・配置することで、成果目標である英語指導員派遣率100%を達成している。

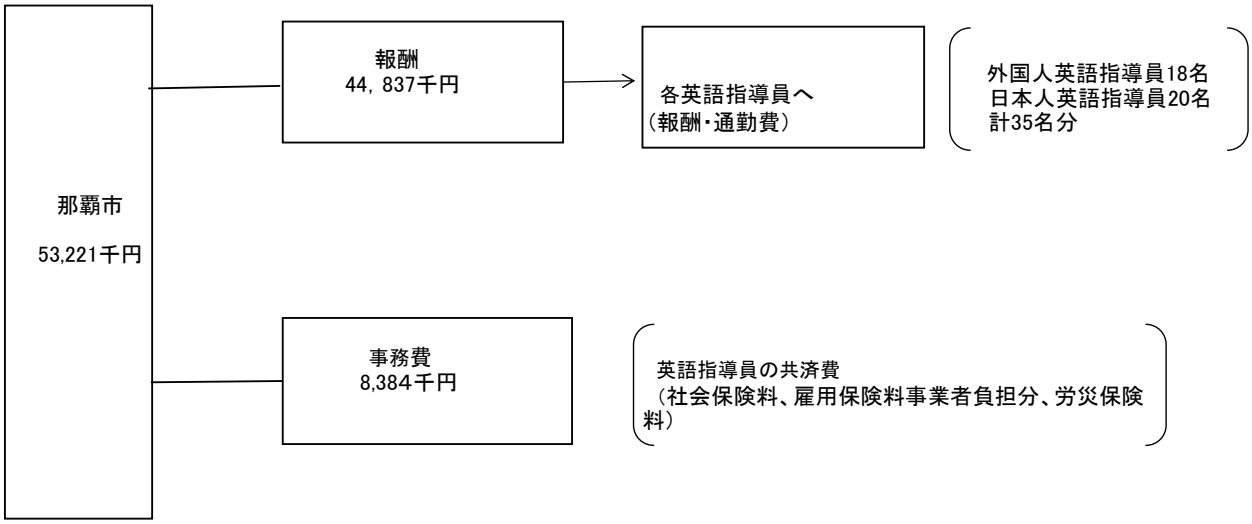
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	沖縄県は外国人の多い地域であり、県内の経済活動または日常生活における外国人（英語圏）との交流・コミュニケーション等に由来する英語教育へのニーズが高い。那覇市は沖縄県の中核都市として、沖縄21世紀ビジョンに示されている、本県の地域性・優位性を活かした国際交流拠点の形成を図るため、次世代を担う子どもたちが、共生や国際的な視野を持ち、多様な社会的、時代的要請に適切に対応できる能力が求められている。	那覇市では1年生からの英語教育（ティーム・ティーチング形式授業実践）の他にも異文化交流会・英語発表会等を実施することによって、外国の文化等に触れる機会を設け、また中学校までの長期的な英語指導を実施することにより、英語能力によるコミュニケーション能力の育成・国際感覚を身につけた人材育成を図っている。

今後の取り組み方針

小学校英語指導員配置事業を通して、小学校から中学校までの長期的な英語指導を行うことにより、コミュニケーション能力の育成を図り、国際感覚を身につけた人材の育成を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
53,221	53,221	42,576	10,645	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途等については、那覇市教委非常勤職員要綱、就労要綱等に基づき採用、支出しており、妥当なものと考えている。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑤	中学校英語指導員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内中学校に英語指導員を派遣し、英語担当教諭とのティーム・ティーチング形式の授業により、長期的な英語指導を通したコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況 (a) 当初予算額	17,037				
予算の状況 (b) 予算現額	17,037				
予算の状況 (c) 増減額 (b-a)	0				
予算の状況 (d) 前年度繰越額	－				
予算の状況 A. 計 (b+d)	17,037	0			
B. 執行済額	16,287				
うち交付金充当額	13,029				
次年度繰越額	0				
執行率（%）(B/A)	95.6%				

予算の状況の説明：予算残額は実績に基づく通勤手当の残が主なものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
英語指導員配置数	目　標	（　外国人：10人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	外国人：10人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：当初6名の指導員を採用していたところ、H24.7.31の事業執行内諾を受けて追加採用手続後、2学期開始の10月より4名を追加採用・配置を行うことで、活動目標の英語指導員10名の配置を達成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市内中学校への英語指導員派遣率	目　標	（　0%　）	（　100%　）	（　）	（　）	（　100%　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：1名当たりの英語指導員が3～5校の複数校の兼務を行うことで、成果目標である市内全18中学校（分校1校を含む）への英語指導員の派遣率100%を達成。

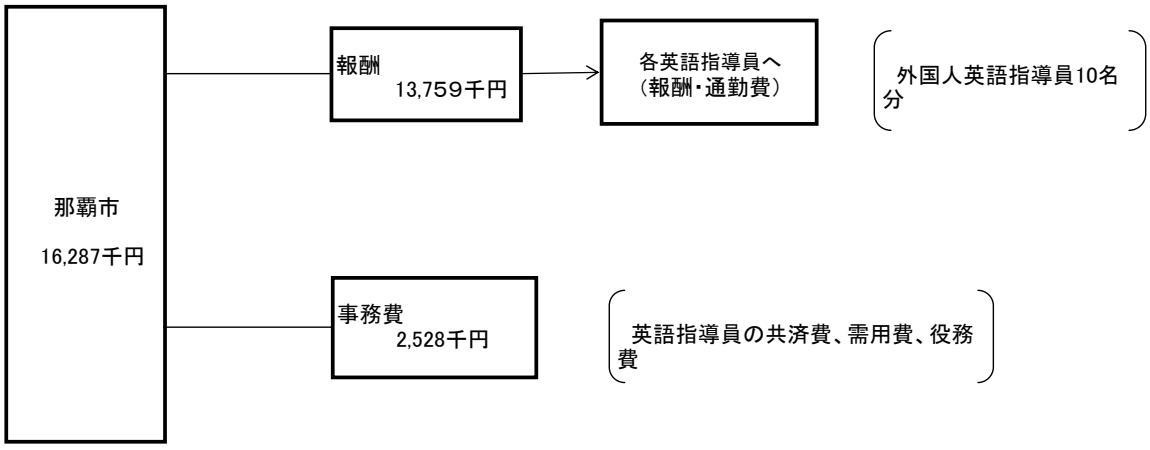
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	沖縄県は外国人の多い地域であり、県内の経済活動または日常生活における外国人（英語圏）との交流・コミュニケーション等に由来する英語教育へのニーズが高い。那覇市は沖縄県の中核都市として、沖縄21世紀ビジョンに示されている、本県の地域性・優位性を活かした国際交流拠点の形成を図るため、次世代を担う子どもたちが、共生や国際的な視野を持ち、多様な社会的、時代的要請に適切に対応できる能力が求められている。	小学校からの長期的な英語教育（ティーム・ティーチング形式による授業実践）の他にも、他校に配置している英語指導員との異文化交流会を実施していることで、様々な国の外国文化に触れる機会を設けることにより、より深い国際理解を図ることができる。

今後の取り組み方針

小学校から中学校までの長期的な英語指導を行うことにより、コミュニケーション能力の育成を図り、国際感覚を身につけた人材の育成を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,287	16,287	13,029	3,258	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途等については、那覇市教委非常勤職員要綱、就労要綱等に基づき採用、支出しており、妥当なものと考えている。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－⑥	特別支援教育充実事業（小・中学校）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-（3）-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）

事業内容

教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援教育ヘルパーを各学校へ派遣し、特別支援教育相談員（臨床心理士）や認定就学者巡回指導員等と連携した支援体制の充実を図る。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	30,187				
	(b) 予算現額	30,187				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	30,187	0			
B. 執行済額		23,646				
うち交付金充当額		18,916				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		78.3%				

予算の状況の説明

予算残額は実績に基づく通勤手当の残が主なものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
特別支援教育ヘルパー配置数（小中学校）	目　標	（　64人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	64人			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

ヘルパー要請のあった小学校へ64人を派遣し、必要な支援を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
特別支援教育ヘルパー配置数（小中学校）	目　標	（　0人　）	（　64人　）	（　　）	（　　）	（　80人　）
	実　績		64人			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

ヘルパー要請のあった小学校へ64人を派遣し、必要な支援を行った。

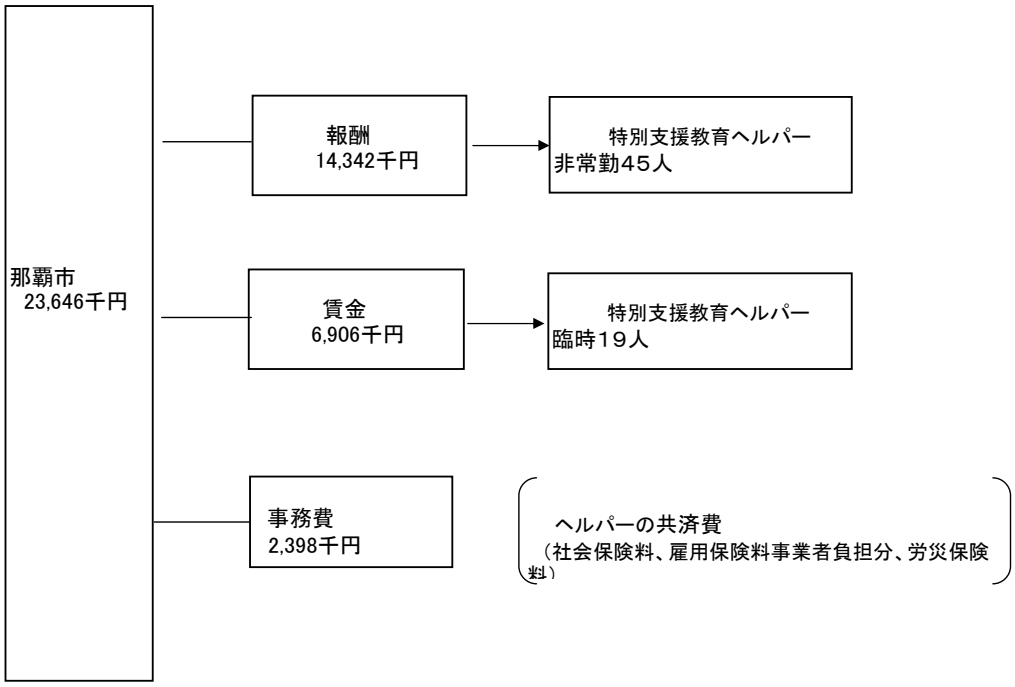
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・特別支援教育を要する児童生徒は年々増加傾向にあり、担任だけでは支援が難しい、発達障がい等のために安全確保や見守りが必要な児童生徒や、肢体不自由のため生活介助を必要とする児童生徒への支援が必要となってきている。 ・平成19年度の学校教育法改正により、小中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒に障がいによる困難を克服するための教育を行うことが明確に位置づけられ、地域の小中学校への就学を希望する保護者のニーズが年々増えている。	・学校に特別支援教育ヘルパーを配置し、特別支援教育に精通した専門家を派遣することにより、安全に学校生活を送る環境を整え、将来の自立や社会参加を見据えた教育を図ることが可能となる。

今後の取り組み方針

・特別支援教育ヘルパーや特別支援教育に精通した専門家を派遣することにより、安全に学校生活を送る環境を整え、児童生徒の教育的ニーズに応じた支援を進め、将来の自立や社会参加を見据えた教育が図られる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,646	23,646	18,916	4,730	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途等については、那覇市教委非常勤職員要綱、就労要綱等に基づき採用、支出しており、妥当なものと考えている。 ○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑦	特別支援教育充実事業(幼稚園)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
担当部課名	こどもみらい部こどもみらい課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各幼稚園へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制を図る。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	12,837				
	(b) 予算現額	12,837				
	(c) 増減額(b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計(b+d)	12,837	0			
B. 執行済額		10,023				
うち交付金充当額		8,018				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		78.1%				
予算の状況の説明		交付決定後の特別支援教育ヘルパー(非常勤)の報酬実績(12月18日～3月分)				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
特別支援教育ヘルパー配置数:幼稚園29人	目　標	(　29人　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	29人			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：特別支援教育ヘルパーの派遣を希望する園へ、ヘルパーを配置

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
特別支援教育ヘルパー配置数:幼稚園29人	目　標	(　)	(　29人　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		29人			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

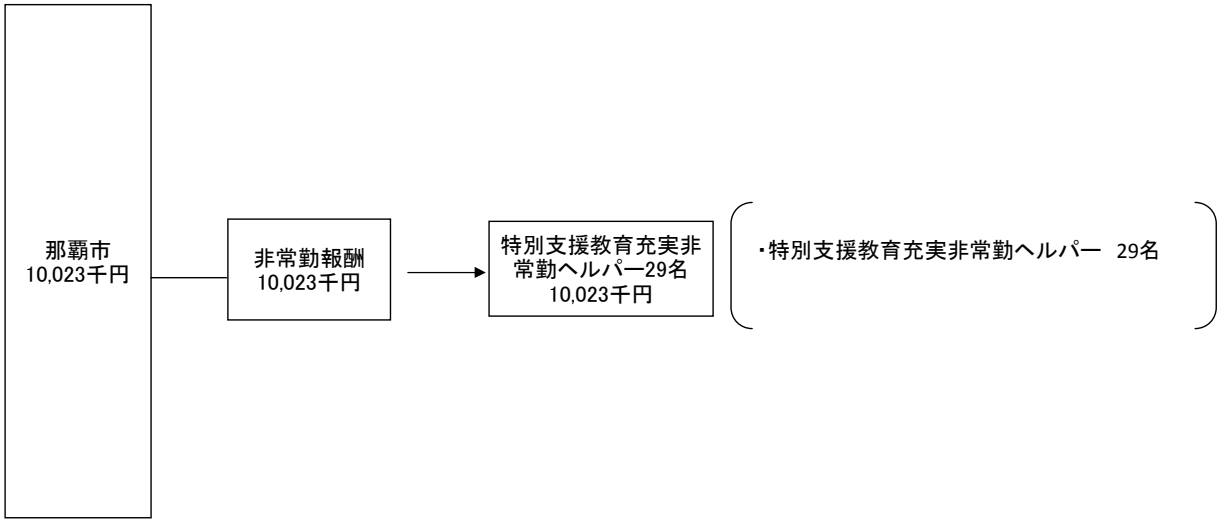
進捗状況説明：ヘルパー配置を必要としている園へヘルパーを配置することができ、支援を要する園児の活動や安全を確保することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	年々、支援を必要とする園児が増加に対し、安全性の確保や活動の幅を広げるための、対象となる園児数や状況を見極め、限られた予算内での適正なヘルパーの配置を行う。	○適正なヘルパーの配置を行うため、支援を要する園児数・必要とする支援の状況を把握し、配置を決定する。 ○ヘルパー任用時に、応募動機を確認しヘルパーとしての職責を担える人材を採用する。 ○保護者へ支援の必要性の理解や幼稚園での園児の見守りや活動参加協力を求める。 ○研修等により、ヘルパーの資質を高める。

支援を要する園児数の増加へ対応するため、ヘルパー派遣の予算の確保や教諭やヘルパーの資質向上、保護者の協力、小児デイサービス等関係機関との連携を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,023	10,023	8,018	2,005	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－⑧	特別支援教育充実事業（幼稚園預かり保育）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－（3）－イ 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－（1）

事業内容	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、教育課程に係る時間の終了後に行う午後の教育時間に対応した特別支援員を各幼稚園へ派遣する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,907				
	(b) 予算現額	4,907				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,907	0			
B. 執行済額		4,008				
うち交付金充当額		3,206				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		81.7%				
予算の状況の説明		交付決定後の特別支援教育充実ヘルパー（非常勤）の報酬実績（12月18日～3月分）				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
特別支援教育ヘルパー配置数：預かり保育実施幼稚園13人	目　標	（　13人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	13人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	預かり保育でヘルパー配置要望のある園へ、ヘルパー配置

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
特別支援教育ヘルパー配置数：預かり保育実施幼稚園13人	目　標	（　）	（　13人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		13人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	ヘルパー配置を必要としている園へヘルパーを配置することができ、支援を要する園児の活動や安全を確保することができ、午後まで幼稚園で園児を預かることで保護者への子育て支援となる。

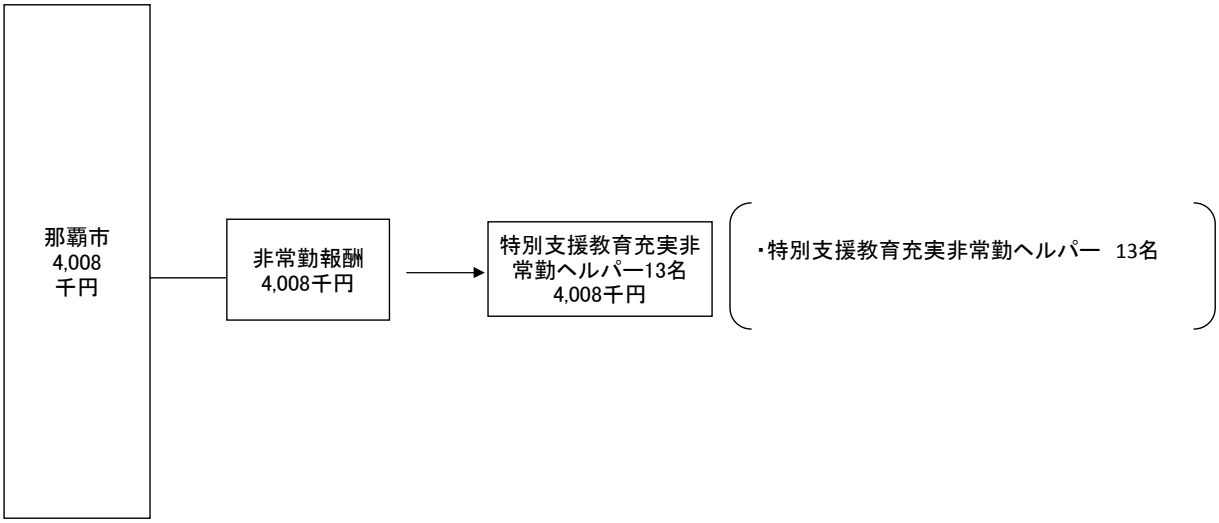
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	年々、支援を必要とする園児数が増加している。預かり保育を利用している支援を要する園児への状況に応じた支援の配慮が必要となる。安全性の確保や活動の幅を広げるための、対象となる園児数や状況を見極め、限られた予算内での適正なヘルパーの配置を行う必要がある。	○適正なヘルパーの配置を行うため、各園での預かり園児総数や支援を要する園児数・必要とする支援の状況を把握し、配置を決定する。 ○ヘルパー任用時に、経験や介護ヘルパー資格、幼稚園教諭免許・保育士資格所持等の要件を設ける。 ○保護者へ支援の必要性の理解や幼稚園での園児の見守りや活動参加協力を求める。 ○研修等により、ヘルパーの資質を高める。

今後の取り組み方針

支援を要する園児数の増加へ対応するため、予算の確保や教諭やヘルパーの資質向上、保護者の協力、小児デイサービス等関係機関との連携を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,008	4,008	3,206	802	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	ヘルパーを必要とする園へ適切なヘルパー配置をすることができた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑨	学習支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ア 確かな学力を身につける教育の推進
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,248				
	(b) 予算現額	4,248				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,248	0			
B. 執行済額		3,959				
うち交付金充当額		3,166				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		93.2%				

予算の状況の説明：・不用額が289千円発生しているが、臨時職員の出勤実績に伴う残が主なものであり、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・学習支援員配置：2人	目　標	（学習支援員配置：2人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	学習支援員配置：2人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組んだ。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
・学習支援員配置数：2人	目　標	（　）	（学習支援員配置数：2人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		学習支援員配置数：2人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・学習支援事業における高校入試結果の実績として、過卒生11人中の11人合格、来所児童3人中の3人合格、現役中学生11人中の9人合格となっており、全25人中の23人（92%）が合格を果たした。

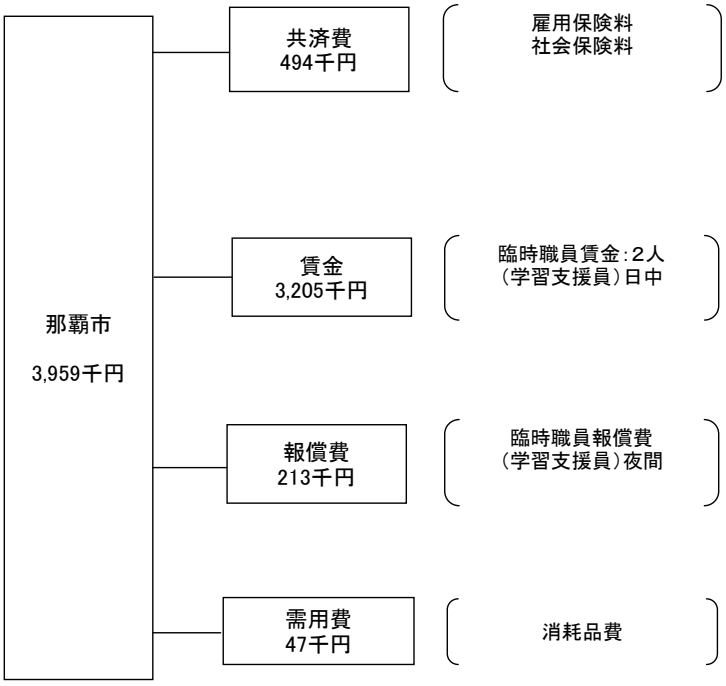
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・現役生の保護者から、直接学習支援員に進路の相談をされたことがあり、どこまで線を引けばいいかの判断が支援員内で統一できていなかった。	・教材研究や担当生徒への支援内容や支援方法を、みんなで検討する場を設けた方がよい。

今後の取り組み方針

・学習支援実施要項に基づき、今後も引き続き継続相談（あけもどろ・きら星含む）へ来所する児童生徒や過卒生で進学希望のある者へ高等学校入試に向けた学習支援を行い、社会的自立を促す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,959	3,959	3,166	793	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑩	学習ボランティア支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア 確かな学力を身につける教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、退職教員等を活用した学習ボランティアによる学習支援の取り組みを行う。
・活動内容　教科指導への支援、総合的な学習の時間への支援、学習に遅れのある児童生徒への学習支援、特別な支援を必要とする児童生徒への学習支援、校内研修・教材研究等の支援、等
・報償費　１日当たり1,000円（交通費等相当）×活動した日数分

実施方法　■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,530				
	(b) 予算現額	1,530				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,530	0			
B. 執行済額		1,254				
うち交付金充当額		1,002				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		82.0%				

予算の状況の説明　不用額が276千円発生しているが、事業開始初年度であり、学校への周知をはかる中、学校からの要望に基づき必要なボランティアを配することができた。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
学習ボランティア実施校数	目　標	（小学校：15校 中学校：5校）	（　）	（　）	（　）
	実　績	小学校：15校 中学校：5校			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明　市内の15小学校、5中学校からの申請に対して、計48人の学習ボランティアが、児童生徒に対して、のべ1，227日（回）の学習支援を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
学習ボランティア派遣人数	目　標	（0人）	（48人）	（　）	（　）	（60人）
	実　績		48人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明　市内の15小学校、5中学校からの申請に対して、計48人の学習ボランティアが、児童生徒に対して、のべ1，227日（回）の学習支援を行った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・那覇市は児童生徒の全国学力・学習状況調査において下位の状況となっている。 ・平成24年度は事業執行の内諾が7月31日であったため、実際に活動を始めたのは夏季休業明け以降となっている。	・個に応じたきめ細かな指導体制を強化することにより、児童の学習意欲の向上や基礎学力の定着を図り学力向上を図っていく必要がある。 ・H25年度以降は早期より事業の周知をはかりたい。

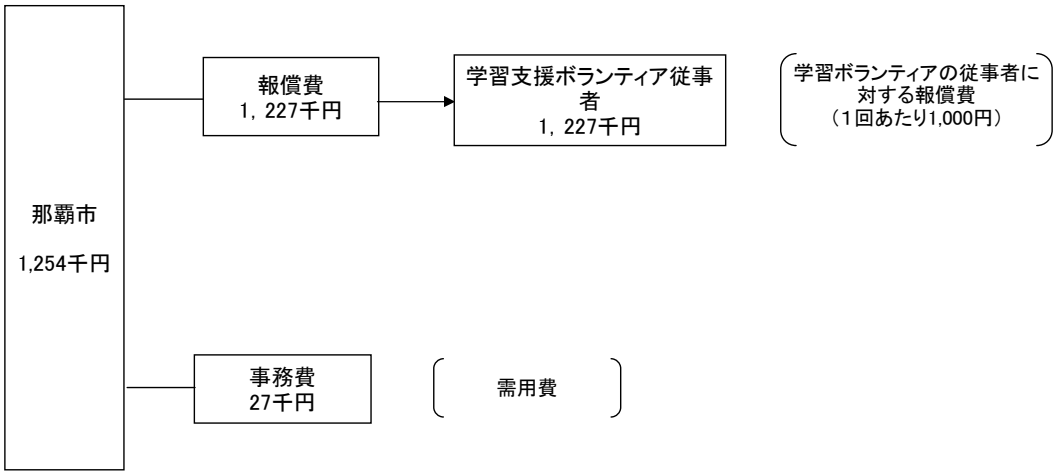
今後の取り組み方針

・教育体制を充実・強化し、きめ細かな教育環境の提供を図ることで、児童の積極性や学習意欲が向上し、基礎学力の向上が図られる。

・早い時期からの学校への通知、校長会・教頭会等における伝達を行い、事業の周知をはかる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,254	1,254	1,002	252	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、「学習支援ボランティア報償費事務処理要領」に基づく報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑪	学校サポートチーム支援員活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(1)－ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通した登校復帰を促す取り組みを行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,466				
	(b) 予算現額	7,466				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	7,466	0			
B. 執行済額		6,717				
うち交付金充当額		5,373				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		90.0%				
予算の状況の説明		・不用額が749千円発生しているが、非常勤職員の出勤実績に伴う残が主なものであり、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・サポートチーム支援員配置：5人	目　標	（サポートチーム支援員配置：5人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	サポートチーム支援員配置：5人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通した登校復帰を促す取り組みを行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
・サポートチーム支援員配置数：5人	目　標	（　）	（サポートチーム支援員配置数：5人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		サポートチーム支援員配置数：5人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・きら星学級が支援した児童生徒の実績として、通級支援13人、一時支援1人、集中支援3人、学校支援3人、自然宿泊体験6人、職場体験3人等の支援を行った。

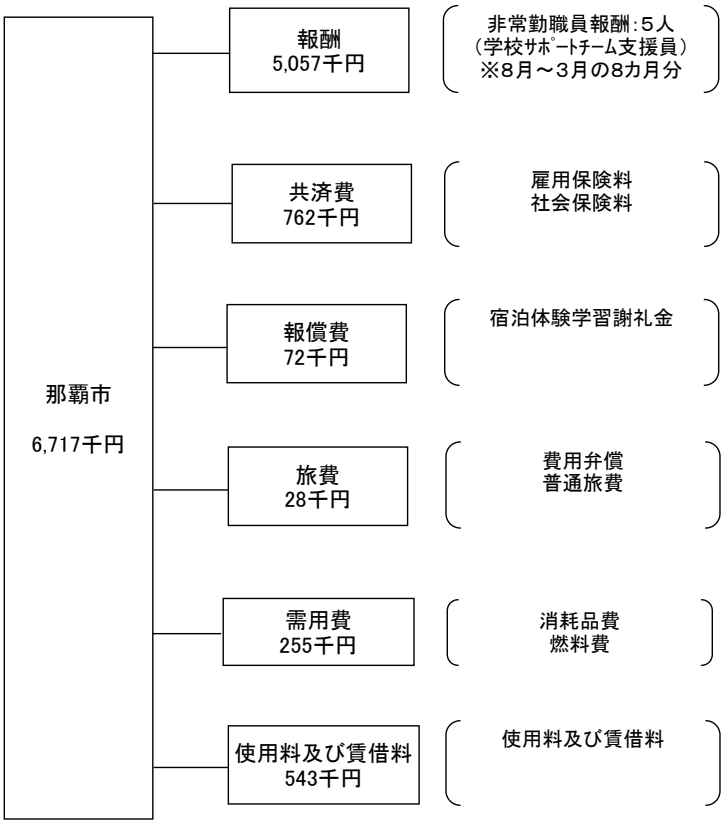
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・きら星学級の業務内容や支援員の役割（児童生徒支援）について、各種研修会で説明しているが、まだまだ学校への周知が充分ではない。	・支援終了後、学校復帰や一部復帰、学校生活への適応がスムーズにいかない児童生徒に対し、アフターフォローをどのように行うか、学校や保護者との連携が必要である。

今後の取り組み方針

・遊び・非行傾向の不登校等で、学校外での指導や相談を必要とする児童生徒に対し、今後も引き続き、学校や社会への適応の促進及び将来の社会的自立に向けた支援等を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,717	6,717	5,373	1,344	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑫	教育相談支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、教育相談支援員を小中学校に配置し、不登校や保護者の相談、支援に取り組む。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	23,328				
	(b) 予算現額	23,328				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	23,328	0			
B. 執行済額		23,304				
うち交付金充当額		18,643				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.9%				

予算の状況の説明

・不用額が24千円発生しているが、非常勤職員の出勤実績に伴う残が主なものであり、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・教育相談支援員配置 小学校：37人 中学校：17人	目　標	教育相談支援員配置 小学校：37人 中学校：17人	（　）	（　）	（　）
	実　績	教育相談支援員配置 小学校：37人 中学校：17人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

・将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、教育相談支援員を小中学校に配置し、不登校や保護者の相談、支援に取り組んだ。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
教育相談支援員配置率： 小学校100% 中学校100%	目　標	（　）	（小学校100% 中学校100%）	（　）	（　）	（　）
	実　績		小学校100% 中学校100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

・今年度は学校からの要望に応え、沖縄振興特別推進交付金を活用し、1学期後半から市内全小中学校（54校）に週4回派遣することができた。

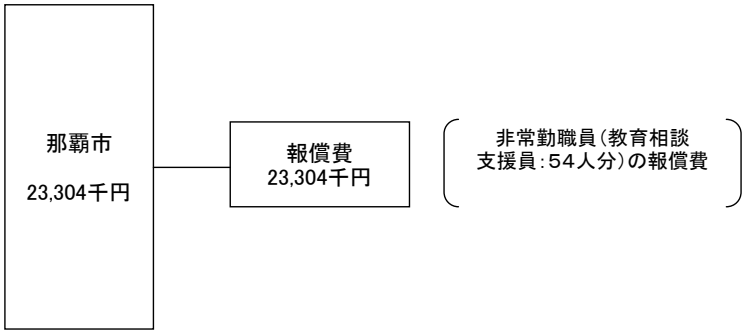
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・派遣回数が増えたことで、学校からのニーズが更に多岐にわたり、不登校対策という支援員の役割が不明瞭になりがちである。	・校種や学校によって、不登校児童生徒の数やその状況等に大きな違いがあるため、それぞれに効果的な支援員の活用法を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・不登校又は不登校傾向にある児童生徒と、子どものしつけに関し悩みを持つ保護者への対応を充実させる目的で、今後も引き続き、児童生徒とその保護者が対話できる教育相談支援員を市内全小中学校に配置する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,304	23,304	18,643	4,661	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑬	メンタルヘルスカウンセリング事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談及び支援を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	16,606				
	(b) 予算現額	16,606				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	16,606	0			
B. 執行済額		14,867				
うち交付金充当額		11,893				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		89.5%				

予算の状況の説明：・不用額が1739千円発生しているが、非常勤職員の出勤実績に伴う残が主なものであり、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・相談員配置：9人	目　標	（　相談員配置：9人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	相談員配置：9人			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：・将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談及び支援を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
相談員配置数：9人	目　標	（　　）	（相談員配置数：9人）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		相談員配置数：9人			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：・平成24年度教育相談実績として、電話相談・来所相談・アフターケア・教師のメンタルヘルス・コンサルテーション・学習支援等で計6,356回（延べ）の相談支援を行った。

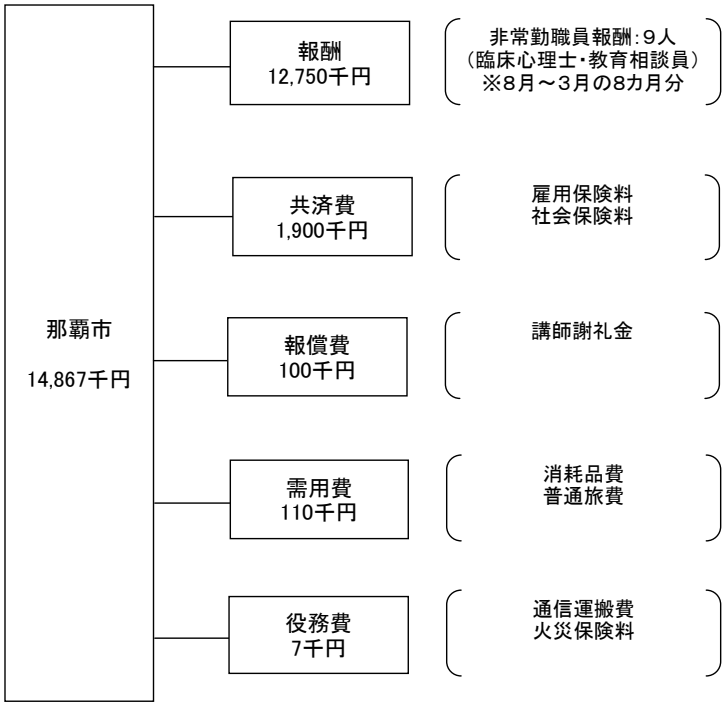
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・様々な主訴による不登校相談であるが、その半数以上に発達障がい等の「育ちの課題」があり、二次障害による不登校であった。	・不登校相談の約12%が特別支援学級在籍であったことを踏まえると、予防的観点からも特別支援教育との連携を密に行う必要がある。

今後の取り組み方針

・複雑化・深刻化する青少年問題（不登校・いじめ・暴力等）に対応するため、今後も引き続き、児童生徒及びその保護者、教師等への相談・支援を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,867	14,867	11,893	2,974	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－⑭	青少年旗頭事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－（1）－ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	学校教育部　青少年育成課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－（1）

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を立ち上げ、青少年の居場所づくりや地域との絆づくり、そして文化の継承・発展に取り組む。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,240				
	(b) 予算現額	8,240				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	8,240	0			
	B. 執行済額	7,369				
	うち交付金充当額	5,895				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		89.4%				
予算の状況の説明		・不用額が約87万円発生しているが、業務委託料の執行残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
全小中学校を対象に、旗頭修繕、制作及び演技指導等を実施	目　標	（　実施　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	実施			
旗頭フェスタの開催	目　標	（旗頭フェスタの開催）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	旗頭フェスタの開催			

達成状況説明	
	天候の不安（台風接近）もあったが、当初の予定期日どおり市内全55校中、47校の参加でフェスタを開催することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
旗頭フェスタに参加した児童生徒数	目　標	（　0人　）	（　1.100人　）	（　　）	（　　）	（　1,350人　）
	実　績		1.148人			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	
	1校当たり20人の参加を見込み目標値を設定した。全55校中、47校の参加だったが、実際1校あたりの参加数が多かったため、目標を達成できた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●旗頭の練習に関して、各学校任せになっていて、状況や現場の不満等が見えない。 ●フェスタ当日の進行に関して、細かな調整が必要。 ●当日、会場に駐車できないとの苦情が多かった。	●指導者の支援や現場確認等、学校との調整が必要。 ●当日の各業務マニュアルを作成して、各業務班にてリーダーを中心に検討・対応してもらう。 ●駐車場の配備計画（駐車割当等）を立てる。

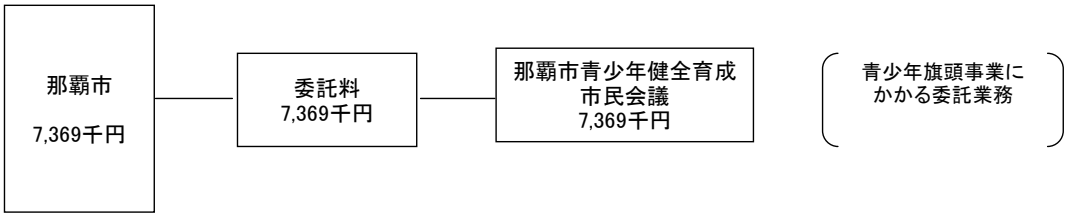
今後の取り組み方針

●各学校との調整機会を増やす。（前年→2回、今年→3回以上）

●前年作成した簡易マニュアルを更にわかりやすくリニューアルして当日動員者に配布する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,369	7,369	5,895	1,474	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は本市の青少年健全育成の実践団体であり、各学校や地域との繋がりを勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－⑮	那覇市児童生徒県外交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(2)－ア 教育機会の拡充
担当部課名	学校教育部　青少年育成課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、他県との交流が少ない離島県である本市の児童生徒を県外へ派遣し、派遣先との交流を行う。また、派遣の前後で数回の研修（学習等）を行い、様々な知識や経験を与える。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,620				
	(b) 予算現額	4,620				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,620	0			
B. 執行済額		3,889				
うち交付金充当額		3,111				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		84.2%				
予算の状況の説明		・不用額が731,243円発生しているが、ほとんどが業務委託料の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
交流事業で県外に派遣した児童生徒数	目　標	（38人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	38人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内全中学校（市立：17校、私立：2校）から依頼した2名ずつの参加があり、目標を達成できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
交流事業で県外に派遣した児童生徒数	目　標	（－）	（38人）	（　）	（　）	（38人）
	実　績		38人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内全中学校（市立：17校、私立：2校）から依頼した2名ずつ参加があり、目標を達成できた。

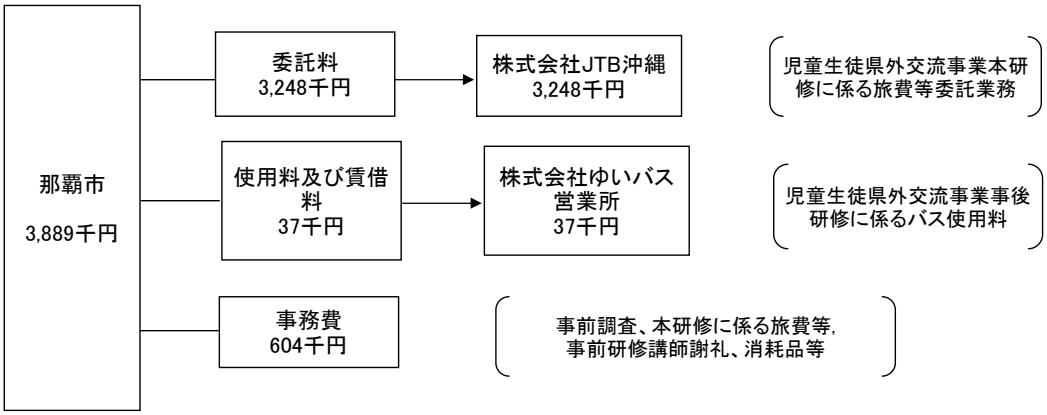
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●10数年来、派遣先が変わっていないが、今後どうするか検討しているところである。 ●事業効果（事業を行ったことによる成果）の確認手法をどのようにすべきかが課題である。	●交流事業の対象及び時期が、各中学校の修学旅行（中2）とほとんど同じで、中2を推薦しづらい学校がある。 ●事業内容の見直し（特に事前・事後研修の）

今後の取り組み方針

元々基金で行っていた事業で基金が底をついたとしても、次代を担う人材の育成という観点から継続していく事業と位置付ける。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,889	3,889	3,111	778	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑯	街頭指導事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(1)－ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	学校教育部　教育相談課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組む。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	12,233				
	(b) 予算現額	12,233				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	12,233	0			
B. 執行済額		11,409				
うち交付金充当額		9,126				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		93.3%				
予算の状況の説明		・不用額が824千円発生しているが、非常勤職員の出勤実績に伴う残が主なものであり、活動目標や成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・専任指導員配置：6人	目　標	（・専任指導員配置：6人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	・専任指導員配置：6人			
・青少年指導員配置：80人	目　標	（・青少年指導員配置：80人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	・青少年指導員配置：80人			

達成状況説明	・将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組んだ。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
専任指導員配置数：6人 青少年指導員配置数：80人	目　標	（　）	（専任指導員配置数：6人 青少年指導員配置数：80人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		専任指導員配置数：6人 青少年指導員配置数：80人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	・平成24年度に指導した青少年の実績は計2456人であり、うち夜遊びが80.8%、怠学が6.6%、喫煙が4.7%を占めた。

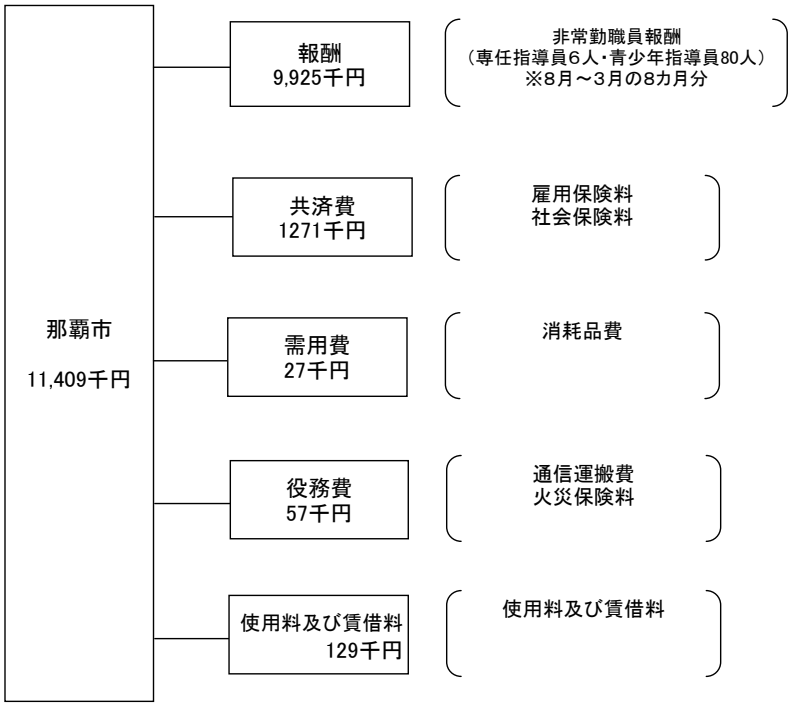
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・街頭指導の青少年の実績に占める男女別内訳は、男子が7割で女子が3割となっている。	・「夜遊び」が指導実数全体の81%を占めており、「夜遊び」が深夜徘徊等の不良行為へつながっていると思慮される。

今後の取り組み方針

・専任指導員及び青少年指導員を中心に、青少年の問題行動がよくみられる繁華街・公園・ゲームセンター・学校周辺等での巡回指導を今後も引き続き行い、非行の未然防止と早期発見と早期対応に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,409	11,409	9,126	2,283	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の予算規模は適正であり、費目・使途の目的については適切に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－⑰	生徒ｻﾎﾟｰﾀｰ派遣事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、自立支援、学級復帰に取り組む生徒サポーターを市内の全中学校（17校）へ派遣する。
生徒サポーターは遊び・非行傾向で特に個別の指導や相談を必要とする生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や体験活動を通した個別指導を行う。

実施方法　■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	10,431				
	(b) 予算現額	10,431				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	10,431	0			
B. 執行済額		9,912				
うち交付金充当額		7,929				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.0%				
予算の状況の説明		予算残額は実績に基づく報償費の残であるが、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
生徒サポーター配置学校数	目　標	（　中学校：17校　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	中学校：17校			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：・当初那覇市内の全１７中学校へ生徒ポーターの配置していたが、10月より更に学習支援を中心に活動を行う18名を追加配置を行い、計35名体制により、のべ9,825時間の支援を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市内中学校への生徒サポーター派遣率	目　標	（　　）	（　100%　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：市内全１７中学校へ生徒サポーター（計35名）を配置し、生徒への支援活動を行うことにより、成果目標である市内中学校への派遣率100%を達成している。

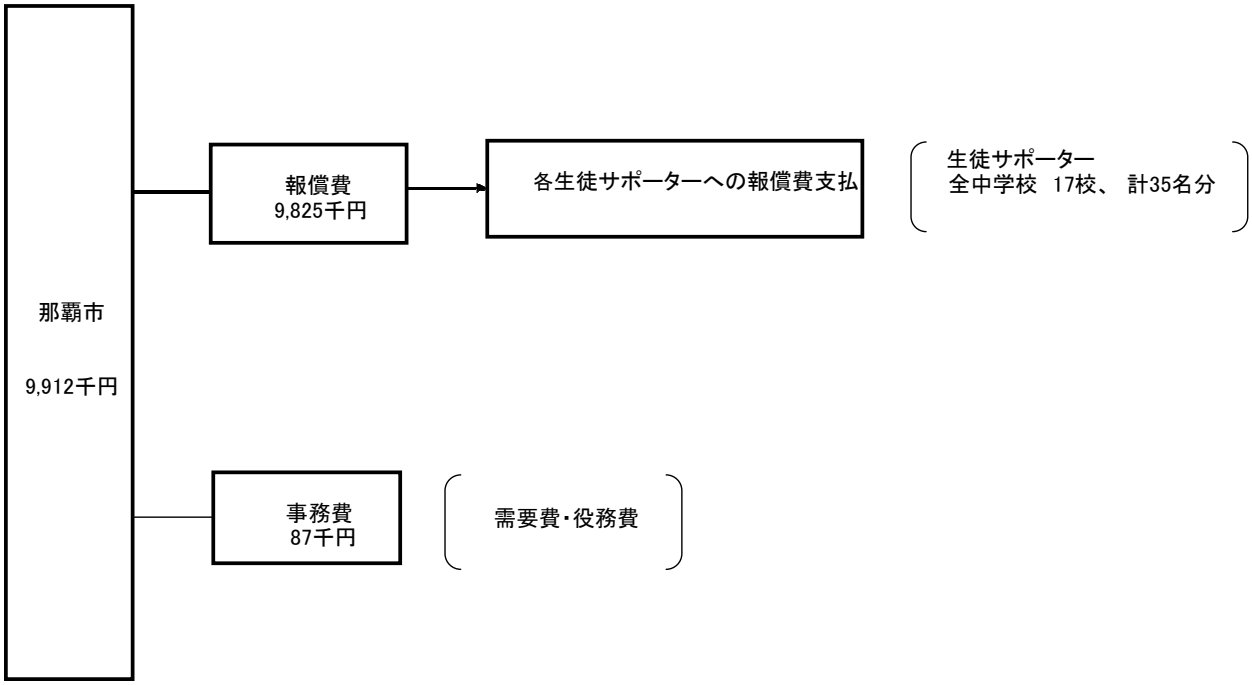
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・文部科学省の調査における不登校生徒に占めるあそび・非行の割合は、全国平均でほぼ10%余りで推移しているが、那覇市では30%台で推移しており、全国平均の約3倍となっている。 ・文部科学省の全国学力・学習状況調査や件学力到達度調査の結果から、沖縄県における「他市亜kな学力」の向上と「基本的な生活習慣の形成」が課題となっている。	・現在生徒サポーターには保護司や民生委員、青少協会長など様々な経験を有する方々の協力を得ている。今後もこれらの方々の協力を得ながらも、地域の方々との連携を進めながら事業を進めていく必要がある。 ・今後は1人当たりの活動時間を増やす検討を行っていきたい。

今後の取り組み方針

・生徒サポーターという活動内容を踏まえ、対象となる生徒への支援やサポーターの人材の確保のために、今後も地域に理解のある方々や自治会・青年会など地域の活動に取り組んでいる方々への協力も得ることによって、学校・地域による支援活動に取り組み、「あそび・非行」による不登校等の問題行動の早期発見・早期対応を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,912	9,912	7,929	1,983	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、「那覇市生徒サポーター派遣事業実施要領」に基づき事業を実施し、学校からの報告に基づいて支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑲	児童のスポーツ県外派遣補助金		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章　5(4)イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　市民スポーツ課	事業実施（予定）年度	H24～H33	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童及び少年チームのスポーツ活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,434				
	(b) 予算現額	2,434				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,434	0			
B. 執行済額		1,212				
うち交付金充当額		969				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		49.8%				

予算の状況の説明：前年度の実績や各競技団体への事前調査を元に派遣があると想定していた大会について、那覇市の児童が派遣されなかった（予選を突破できなかった）ため。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
大会派遣児童生徒数（累計）	目　標	（220人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	264人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：野球、サッカー等の15競技の大会に、目標を上回る264人（団体・個人合せ52件）の児童生徒を県・市の代表として県外大会へ派遣することができた。
目標を上回った要因としては、野球やサッカーなどの団体競技の派遣が予想より多かったこと及び24年度から当該事業の概要をHPに掲載し、広報につとめたことから、ソフトテニス等のスポーツ少年団に加盟していない個人の申請が増加したことが考えられる。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
大会派遣児童生徒数（累計）	目　標	（172人）	（220人）	（　）	（　）	（220人）
	実　績		264人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：野球、サッカー等の15競技の大会に、目標を上回る264人（団体・個人合せ52件）の児童生徒を県・市の代表として県外大会へ派遣することができた。24年度からHPに当該事業の概要を掲載し、広報していることから、今後も申請が増える可能性がある。
目標を上回った要因としては、野球やサッカーなどの団体競技の派遣が予想より多かったこと及び24年度から当該事業の概要をHPに掲載し、広報につとめたことから、ソフトテニス等のスポーツ少年団に加盟していない個人の申請が増加したことが考えられる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現状で特に課題なし。 平成24年度から事業の広報に努めたことと、要綱を改正し補助額が増加したこともあり、前年度に比べより多くの児童が当事業を活用し、県外大会へ出場する機会を生かすことができた。	より多くの児童に県外大会に出場する機会を生かしてもらうために、今まで以上に当事業の広報に努めていく必要がある。

今後の取り組み方針

那覇市スポーツ少年団と連携し、各競技団体へ当事業のPRをおこなう。
また、派遣が決まった団体、個人へ当事業の活用をうながす。

HP等での広報を今後も引き続きおこなう。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,424	1,212	969	243	1,212

那覇市
1,212千円

→ 補助金
1,212千円

→ キンボール、水泳（2）、剣道、卓球、バドミントン、サッカー（2）、ミニバスケットボール、アイスホッケー
以上10件79人（引率者含む）の派遣

1,212千円

（交付対象外経費
航空運賃実費の1/2　1,212千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	24年度は結果的に予算執行残がでる結果となったが、年度によって予選の結果がまちまちであるため、前年度までの実績とスポーツ少年団の競技部会への聞き取り調査などを元に予想される最大の人数分の予算を確保しておく必要がある。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑳	児童・生徒の県外派遣旅費補助金（大会派遣）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）

事業内容

将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童・生徒の文化活動を含む部活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。
・補助対象：市内小中学校の児童生徒
・派遣対象：スポーツ・文化両面で学校教育活動の一環で、県の代表として県外に派遣される場合
・補助額：1人当たり航空賃実費の半額

実施方法　□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,960				
	(b) 予算現額	4,352				
	(c) 増減額 (b-a)	392				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,352	0			
B. 執行済額		4,352				
うち交付金充当額		3,481				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：計画通りに執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
大会等派遣児童生徒数（累計）	目　標	（　280人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	280人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内13小中学校からの申請に対して、計280名分の児童生徒県外派遣旅費の補助を行った（大会種別は、合唱、金管楽器、バトントワーリング、テニス、バレーボール等。派遣地は、熊本市、福岡市、千葉市、宗像市、佐賀市等）

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
大会等派遣児童生徒数（累計）	目　標	（　0人　）	（　280人　）	（　）	（　）	（　450人　）
	実　績		280人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内13小中学校からの申請に対して、計280名分の児童生徒県外派遣旅費の補助を行った（大会種別は、合唱、金管楽器、バトントワーリング、テニス、バレーボール等。派遣地は、熊本市、福岡市、千葉市、宗像市、佐賀市等）

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・離島県である沖縄の地理的条件により、県外への大会派遣については多大な負担を伴う。 ・平成24年度は事業執行の内諾が9月4日であったため、主に夏季休業中に集中する県外派遣が交付金対象外となっている。 ・H24年度はほぼ100%の予算執行であったが、年度によっては予算の過不足が生じることが予想される。	・児童生徒の積極的な参加を促すために費用の一部助成が必要である。 ・H25年度以降は早期より事業の周知をはかりたい。

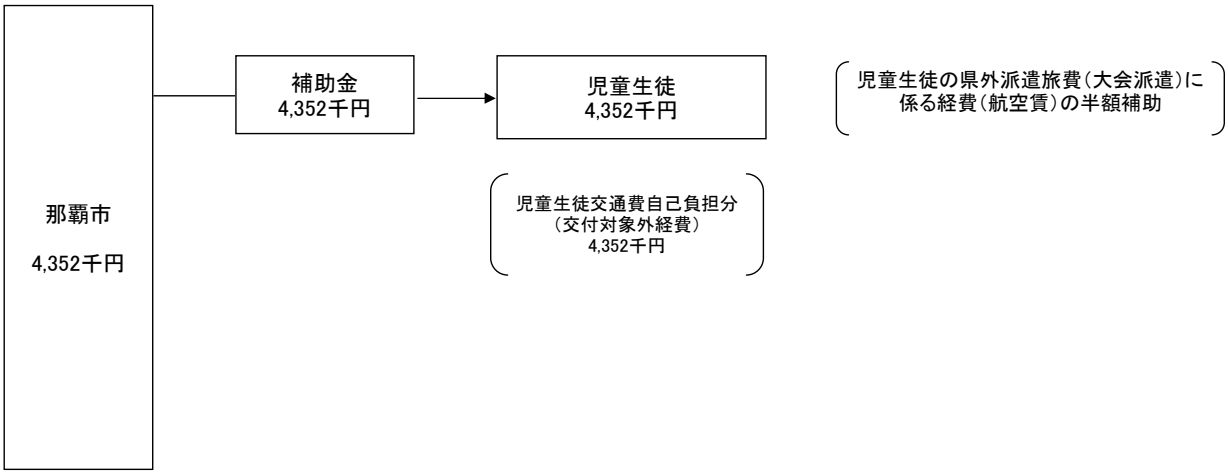
今後の取り組み方針

・県外派遣の負担軽減により、県外派遣の機会を増やし、次代を担う児童生徒の可能性を引き出し、教育の振興を図る。

・早い時期からの学校への通知、校長会・教頭会等における伝達を行い、事業の周知をはかる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,704	4,352	3,481	871	4,352



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、補助金交付要綱に基づく申請・実績報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-21	離島等自然体験学習事業　自然教室		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

自然体験を通じて、自然とのふれあいや地域社会への理解を深め、集団宿泊活動の中で自主、自律、協力等社会上の望ましい態度や実践力を育てることを目的とし、市内全小学校5年生を対象に、1泊～2泊で県立石川・玉城青少年の家等に宿泊する。
活動内容：キャンプファイヤーやテント泊、野外炊飯、ウォークラリー等、現地の資源（自然）を最大限に生かした自然体験活動をおこなう。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,710				
	(b) 予算現額	9,710				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,710	0			
	B. 執行済額	8,420				
	うち交付金充当額	6,736				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		86.7%				

予算の状況の説明：予算残額は実績に基づく指導員・看護師への謝礼金の残額、及びバス賃借料の残額であるが、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
実施学校数	目　標	（　小学校34校　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	小学校34校			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：県の離島体験事業へ参加した3校を除き、残りの市内全34小学校が自然体験学習を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
自然体験活動を実施した児童生徒数	目　標	（　－　）	（3,100人）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		3,246人			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：県の離島体験事業へ参加した3校を除き、残りの市内全34小学校が自然体験学習を実施し、小学校5年生3,246人が参加した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・全国学力調査や県学力調査結果から、沖縄県における「確かな学力」の向上と「基本的な生活習慣の形成」について課題があることが明らかになっている。 ・亜熱帯性のある島嶼件である沖縄で、その自然特性を生かした「生きる力」を育む教育が求めらている。	・離島での自然教室実施をうながし、カヌーやカヤック体験等、山だけでなく海での自然体験をすることで、より豊かな感性を磨く。

今後の取り組み方針

・離島等への積極的な児童派遣を促すことにより、通常の学校生活では得難い自然環境の中で、宿泊生活を通じて人間的なふれあいを深めると共に、社会生活上の望ましい態度や意欲を育てることで、人材の育成を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,420	8,420	6,736	1,684	0

事業費 8,420千円

- 報償費 3,046千円 → 泰　妙子　他124件 3,046千円（引率看護師・指導補助員への謝礼金（各学校分））
- 事務費 92千円 → オアシス保険事務所 12件 91千円（引率看護師・指導補助員にかかる傷害保険料）
- 賃借料 4,014千円 → 琉球バス交通　他38件 4,014千円（自然体験学習バス借上料）
- 扶助費 1,268千円 → 石川青少年の家構内食堂 他（計77件） 1,268千円（要保護・準要保護児童食事・シーツ代）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、自然教室実施要項に基づく申請・実績報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－28	園舎剥離補修業務事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 子育てセーフティネットの充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化園舎の剥落防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,778				
	(b) 予算現額	6,778				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,778	0			
B. 執行済額		6,765				
うち交付金充当額		5,412				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.8%				

予算の状況の説明：当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・幼稚園8園の剥離補修を行う。	目　標	（　8園　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	8園			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：剥離規模の大きな園は、夏休み期間に実施し、以降、幼稚園運営の支障が少なくなるよう現場調整を行って、年度内に目標の8園で実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
剥離補修を実施した幼稚園の割合：100%	目　標	（　　）	（　8園　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		8園			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

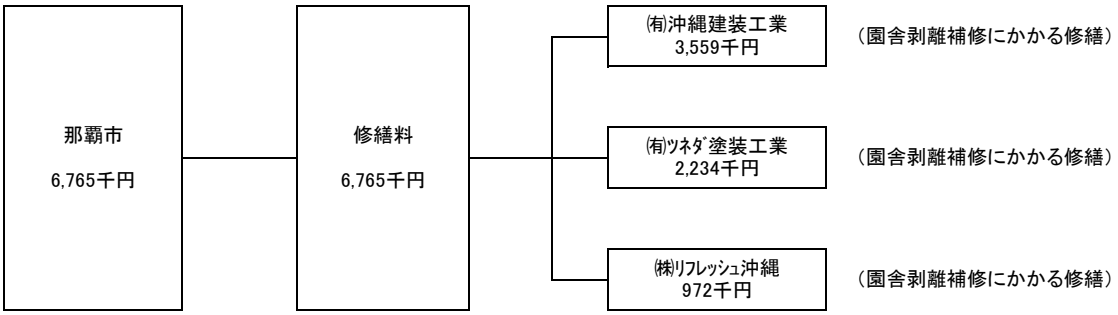
進捗状況説明：年度内に目標の8園で実施し、事業完了。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	幼稚園は、預かり保育を実施していると、夏休み中も園児が在席している。施設整備においては、幼稚園運営に支障がないよう、スケジュール等、十分な調整が必要である。	実施内容の早期決定、幼稚園現場への周知並びに現場調整期間及び事業期間の確保が必要である。

今後の取り組み方針

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,765	6,765	5,412	1,353	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	那覇市学校施設修繕登録業者より選定
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－31	学校施設劣化調査業務事業（小学校）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章　5(3)ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(1)

事業内容

梁や柱に生じている剥離や断面欠損を補修するにあたり、塩害等による小学校施設の劣化状況の調査を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	40,839				
	(b) 予算現額	40,839				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	40,839	0			
B. 執行済額		40,375				
うち交付金充当額		32,299				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.9%				

予算の状況の説明

予算残については、ほとんどが調査業務委託の入札残であり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であると考える。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
小学校校舎等劣化状況調査	目　標	（　25校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	25校			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

コンクリートの塩分規制前に建設された施設のほか、剥離等劣化の著しい学校施設を有する小学校25校について、劣化調査を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
小学校校舎等劣化状況調査	目　標	（　－　）	（　25校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		25校			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

劣化調査の結果、各学校施設の劣化状況（劣化の度合い、範囲など）を把握することができた。また、劣化箇所の補修方法についても選考が完了しているため、今後の補修へ効率的に取り組むことが可能となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・劣化した校舎等の補修を行うにあたり、その補修範囲や補修方法が未確定であるため、事前調査が必要である。 ・劣化調査において、目視や打診、専門機器等を活用した方法など、費用対効果を検討し、適正な調査方法を取り入れる。 ・学校施設ごとに、改築までの期間に差があるため、補修方法も延命か、緊急措置かの選択が必要である。	・目視での調査の場合、見落としや表面上劣化が判断できない場合もあるため、費用の許せる範囲内で、他の方法を取り入れることも検討を要する。 ・劣化箇所の補修の際に、補修箇所の周辺部分についても可能な限り打診調査を行うことで、目視での見落としを軽減させる。

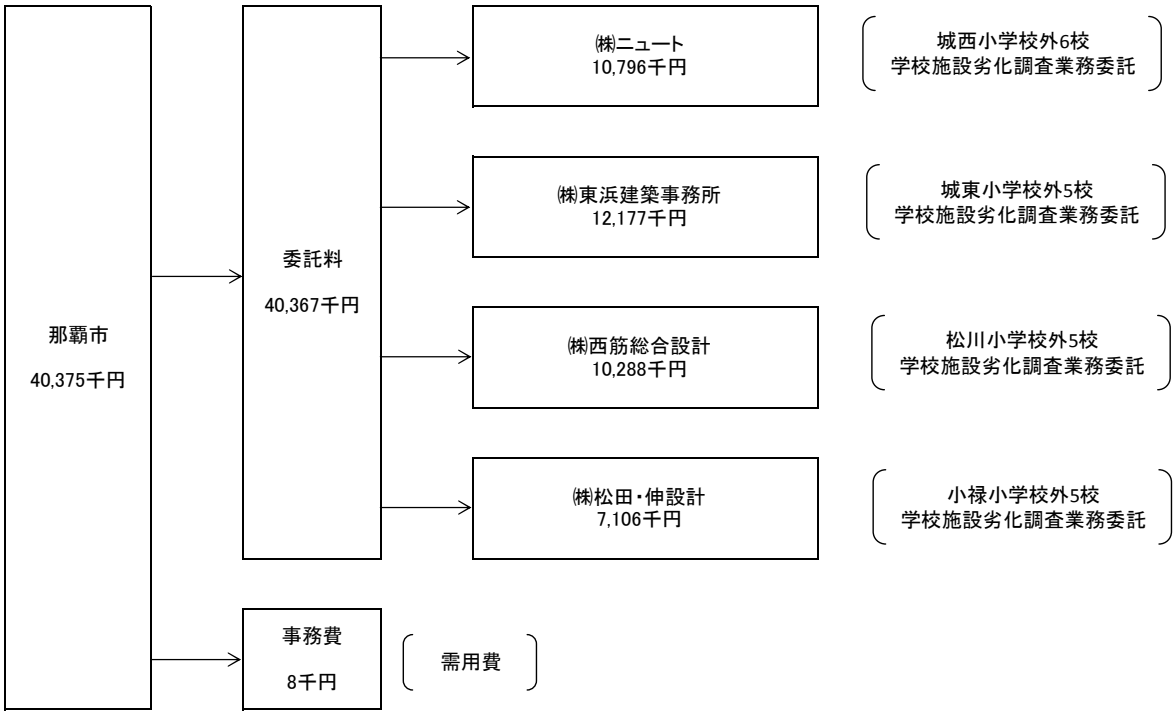
今後の取り組み方針

・年々学校施設の劣化は進行するため、今後も定期的な点検・調査が必要である。

・調査においては、日頃の目視点検のほか、専門業者による機器を利用した調査等も必要である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
40,375	40,375	32,299	8,076	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託業者は、指名競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－32	学校施設劣化調査業務事業（中学校）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章　5(3)ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(1)

事業内容

梁や柱に生じている剥離や断面欠損を補修するにあたり、塩害等による中学校施設の劣化状況の調査を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	20,410				
	(b) 予算現額	20,410				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	20,410	0			
B. 執行済額		19,935				
うち交付金充当額		15,947				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.7%				

予算の状況の説明

予算残については、ほとんどが調査業務委託の入札残であり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であると考える。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中学校校舎等劣化状況調査	目　標	（　10校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	10校			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

コンクリートの塩分規制前に建設された施設のほか、剥離等劣化の著しい学校施設を有する中学校10校について、劣化調査を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
中学校校舎等劣化状況調査	目　標	（　－　）	（　10校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		10校			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

劣化調査の結果、各学校施設の劣化状況（劣化の度合い、範囲など）を把握することができた。また、劣化箇所の補修方法についても選考が完了しているため、今後の補修へ効率的に取り組むことが可能となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・劣化した校舎等の補修を行うにあたり、その補修範囲や補修方法が未確定であるため、事前調査が必要である。 ・劣化調査において、目視や打診、専門機器等を活用した方法など、費用対効果を検討し、適正な調査方法を取り入れる。 ・学校施設ごとに、改築までの期間に差があるため、補修方法も延命か、緊急措置かの選択が必要である。	・目視での調査の場合、見落としや表面上劣化が判断できない場合もあるため、費用の許せる範囲内で、他の方法を取り入れることも検討を要する。 ・劣化箇所の補修の際に、補修箇所の周辺部分についても可能な限り打診調査を行うことで、目視での見落としを減らす。

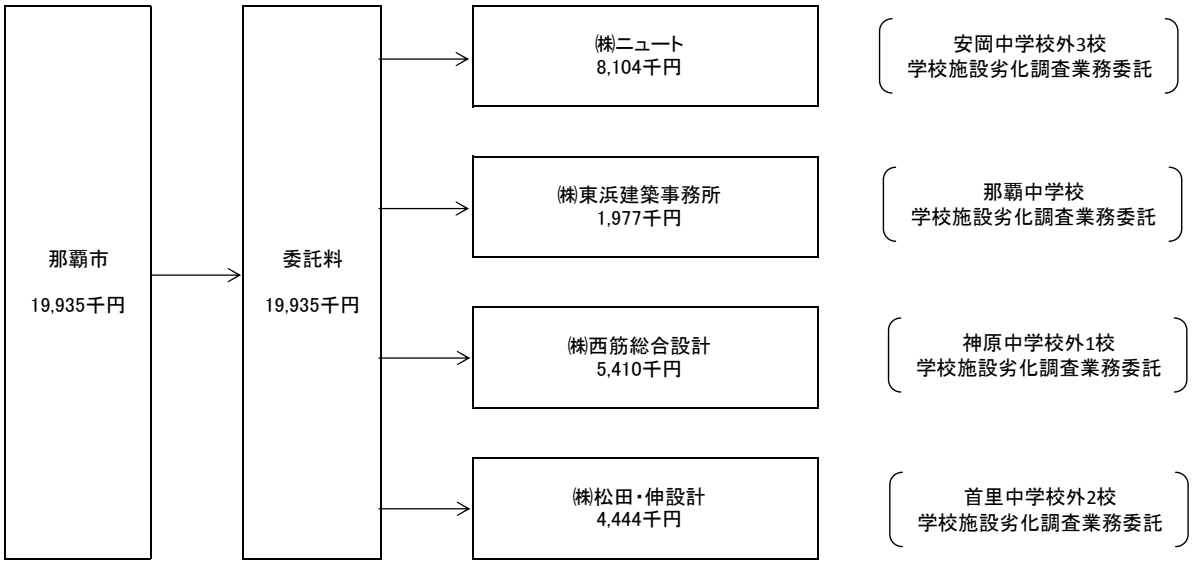
今後の取り組み方針

・年々学校施設の劣化は進行するため、今後も定期的な点検・調査が必要である。

・調査においては、日頃の目視点検のほか、専門業者による機器を利用した調査等も必要である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,935	19,935	15,947	3,988	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託業者は、指名競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－33	幼稚園等施設遮熱･紫外線対策強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 子育てセーフティネットの充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課・こどもみらい課・子育て応援課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

亜熱帯気候等に対応した子育て施策の拡充を行うため、亜熱帯気候下での保育環境を確保できるよう、幼稚園施設等の窓ガラスに防災面での配慮も兼ねた紫外線対策フィルム等を整備する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	54,063				
	(b) 予算現額	54,063				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	54,063	0			
B. 執行済額		21,735				
うち交付金充当額		17,388				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		40.2%				

予算の状況の説明

本事業の委託対応可能な業者の情報が乏しく、また、また短期間での事業実施であったので、やむを得ず業者1社の見積りで事業予算を編成し一般競争入札を実施ししたため、不用残が高くなった。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
紫外線対策遮熱フィルム等を整備する。幼稚園19 、保育所5、 児童館等12 、計36施設	目　標	（　36施設　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	36施設			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

整備を予定していた36施設の全施設で紫外線対策遮熱フィルム等の貼付業務終了

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
紫外線･遮熱対策を実施した幼稚園等を利用する幼児･児童数： 3,344人	目　標	（　　）	（ 3，344人 ）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		3，344人			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

整備目標の全施設での業務達成により、対象施設を利用する幼児･児童に、より快適な活動環境を提供することができ、施設を利用する幼児･児童数の増加が見込める。

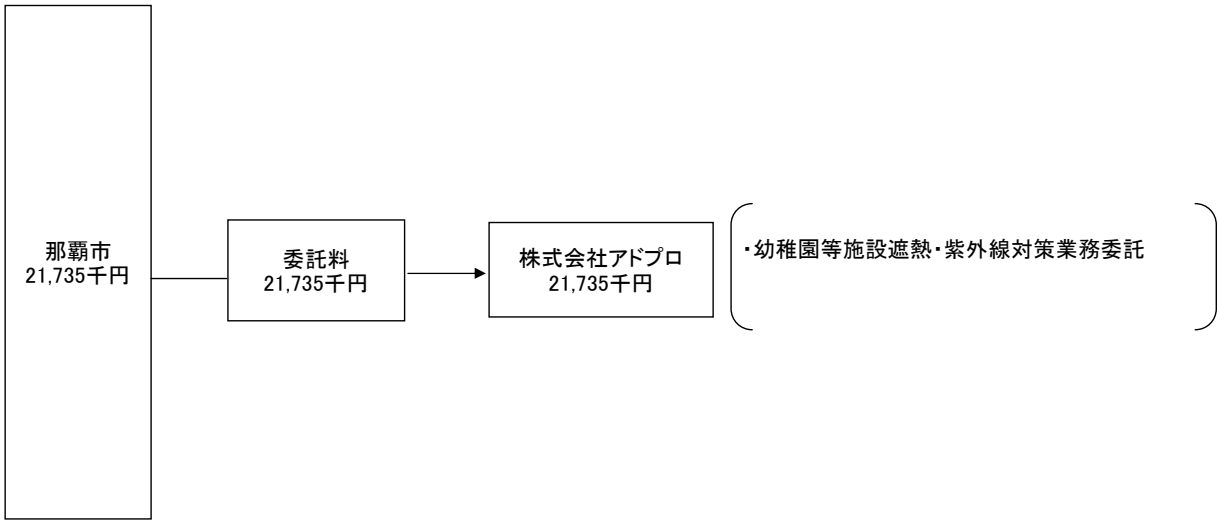
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	(1)　これから夏本番を迎えるため、遮熱・耐熱効果について検証していく必要がある。 (2)使用年数により紫外線防止フィルムの経年変化による劣化で再度のフィルム貼付　が必要となる可能性がある。	日差し入射の向きや使用ガラスにより、より適した貼付フィルムを選択する。

今後の取り組み方針

今後施設の改築や新築を行う場合、紫外線防止・遮熱機能を備えた窓ガラス等の仕様を取り入れる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,735	21,735	17,388	4,347	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○制限付一般競争入札により、事業を実施したため委託契約業者・契約金額は妥当であったと考えている。 ○予算見積作業での情報収集の不足があった
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6－34	老朽化校舎解体工事事業（若狭小学校）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章　5(3)ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(1)

事業内容

塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、若狭小学校の老朽化校舎を解体撤去し、児童の安心・安全の確保を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　■その他（工事発注）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	36,943				
	(b) 予算現額	36,943				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	36,943	0			
B. 執行済額		27,009				
うち交付金充当額		21,606				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		73.1%				
予算の状況の説明		予算残については、ほとんどが入札残であり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であると考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
若狭小学校校舎解体	目　標	（　1校　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	1校			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：若狭小学校の老朽校舎を解体撤去するため、設計監理業務を委託発注し、その後、解体工事を発注した。年度内に目標の解体工事までを終えた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
若狭小学校校舎解体	目　標	（　－　）	（　1校　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		1校			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24年度内に目標の若狭小学校校舎解体を終え、事業完了した。

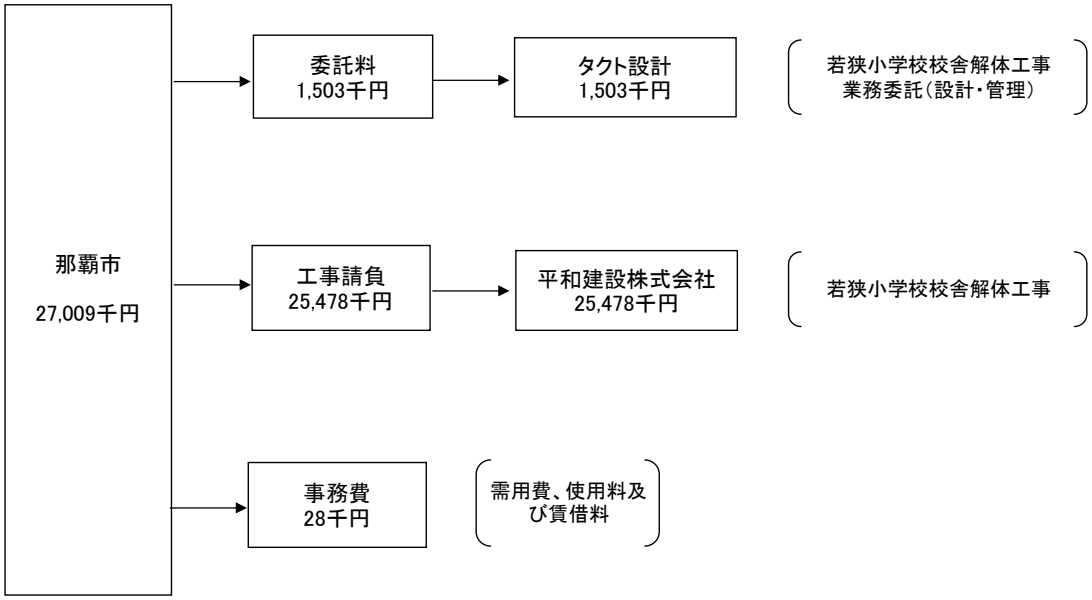
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・小学校の児童が、既設校舎を使いながら隣の校舎を解体する工事なため、児童や近隣住民等へ支障がないよう、十分な調整が必要である。	・事業執行をする上で更なる効率化を図るため、学校が長期に休みがとれる夏休み等の活用を行う。そのため、事業スケジュールの早期執行が必要である。

今後の取り組み方針

・解体時期、工事期間中の安全確保、解体跡地の利用方法など、事前に学校側との調整が必要であるため、十分な調整期間を確保する必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,009	27,009	21,606	5,403	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託業者は、指名競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－①	伝統芸能公演事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	市民文化部　　文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、組踊等の本県伝統芸能の公演会を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,872				
	(b) 予算現額	4,872				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,872	0			
B. 執行済額		4,872				
うち交付金充当額		3,897				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画どおり事業実施。活動目標、成果目標を達成。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
伝統芸能公演実施	目　標	（　1回　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	1回			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：組踊の古典作品である「執心鐘入」と新作「組踊版スイミー」の２作品をセットした公演を１回開催した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
伝統芸能公演実施回数	目　標	（　－　）	（　1回　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		1回			
来場者数	目　標	（　　）	（　900人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		900人			

進捗状況説明：
・目標の900名の来場者を達成した。
・終演後のアンケートでは、「感動した。沖縄の誇るべき文化財産だ」、「多くの市民に観てほしい」「毎年開催して欲しい」などの声が寄せられ、伝統芸能に対する理解、普及が図られた。

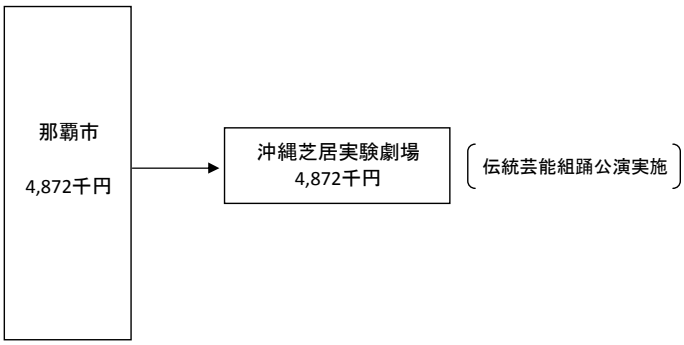
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・アンケートでの評価が高かったことから、事前の周知を強化することにより、集客の拡大が期待できる。 ・入場無料としたことにより、関心の薄かった層を集客することができ、組踊への理解を拡げることができた。	・事前の周知方法を強化し、集客の拡大を図る。

今後の取り組み方針

平成25年度は「組踊公演」に加え、「沖縄芝居公演」を実施する。
伝統芸能の承継に多くの市民の理解と支持を拡大していく。
公演の鑑賞を通して、伝統芸能を承継していく人材を発掘していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,872	4,872	3,897	975	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、事業（組踊公演）の実績を勘案し選定しており、妥当であったと考えている。 ・受益者負担については、入場料無料とすることにより関心の薄かった層を集客でき、事業の目的（伝統芸能の普及）に合致できたものと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－②	市民文化発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	沖縄振興に資する市民文化の創造と発展のため、ジャズや平和劇を通じた市民文化の発表と発信に取り組む。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,184				
	(b) 予算現額	3,187				
	(c) 増減額 (b-a)	3				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,187	0			
B. 執行済額		3,187				
うち交付金充当額		2,549				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画どおり事業実施。活動目標、成果目標を達成。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
平和音楽劇、ジャズ音楽公演実施各1回	目　標	（　2公演　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2公演			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：那覇平和芸術祭と銘打って、平和音楽劇「HAGANA～信念の人～」と「ふれあいジャズフェスティバル」公演を各1回実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
平和音楽劇、ジャズ音楽公演実施各1回	目　標	（　）	（　2公演　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2公演			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
・公募により参加した市民が、那覇市芸術監督の指導と練習を重ね、平和音楽劇「HAGANA～信念の人～」を公演し好評を博した。
・市内小中校21校が参加した「ふれあいジャズフェスティバル」公演を実施し、盛況を収めた。

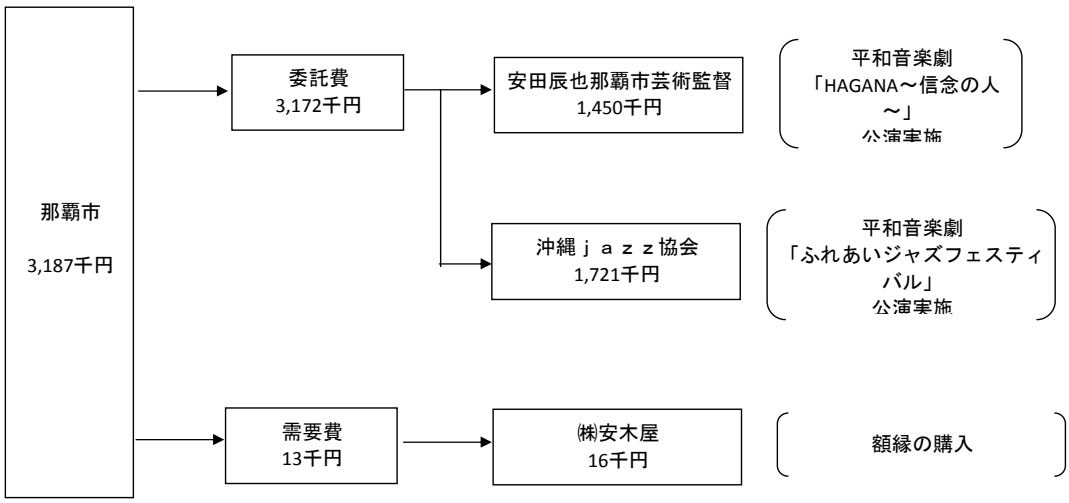
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・新規メンバーの拡大（平和音楽劇） ・参加校の更なる拡大（ジャズフェスティバル） ・事業の魅力をPRし、参加者の拡大を図るため、募集活動の強化が必要。	・事業PRを強化し、参加者の拡大を図る。

今後の取り組み方針

平成25年度も継続して市民文化発信事業を実施する。
市民や学生参加の「平和音楽劇」・「ふれあいジャズフェスティバル」を開催していく。
10.10空襲の歴史を風化させることなく、平和を希求する心を音楽劇とジャズで発信する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,187	3,187	2,549	638	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、事前の指導や舞台演出等の実績を勘案し選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7－③	ハイサイ啓発推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな分化の創造
担当部課名	市民文化部　　市民課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチによる案内人を庁舎内に配置し、ウチナーグチの啓発活動を行う。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,700				
	(b) 予算現額	2,700				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,700	0			
	B. 執行済額	2,700				
	うち交付金充当額	2,160				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「ウチナーグチ」で案内業務を行う窓口案内人の配置：2～5人	目　標	（　案内人配置　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	2～5名の案内人を配置			
ウチナーグチによるミニ講演会の開催 ・ハイサイロゴ入キーホルダー1000個配布 ・ハイサイロゴ・ウチナーグチ例文入封筒10000枚作成	目　標	（講演会16回開催）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	講演会12回開催			

達成状況説明：案内人の人数を増やし、配置場所の工夫やアピール度UPに努めた。ミニ講演会については、効果的な運動のPRに繋げていくため、講演者の知名度やレベルを高めたため、回数を減らして対応した。その他、ハイサイロゴマーク入キーホルダーや転入者向けの情報冊子用封筒（ハイサイロゴマーク、ウチナーグチ日常会話例文印刷入）を作成して、様々な形でウチナーグチ普及運動に取り組んでいることをPRした。
アンケート調査を実施して、市民の意識や反応についても調査した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
ハイサイ運動の認知度：50%	目　標	（　なし　）	（　50%　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		40%			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：アンケートは配布枚数1,200枚、回収枚数1,174枚
アンケートの質問「ハイサイ運動」のことを知っていますか？の問いに知っていると回答された率が40%、知らないが聞いたことがあると回答されたのが19%の結果となった。成果目標については、認知度を「知っている」に限れば、目標に届いていないが、「聞いたことがある」も含めれば、目標を超えるので、概ね達成したものと考えることができたと考える。アンケート結果を踏まえ、より啓発運動の強化に取り組む必要があると考える。

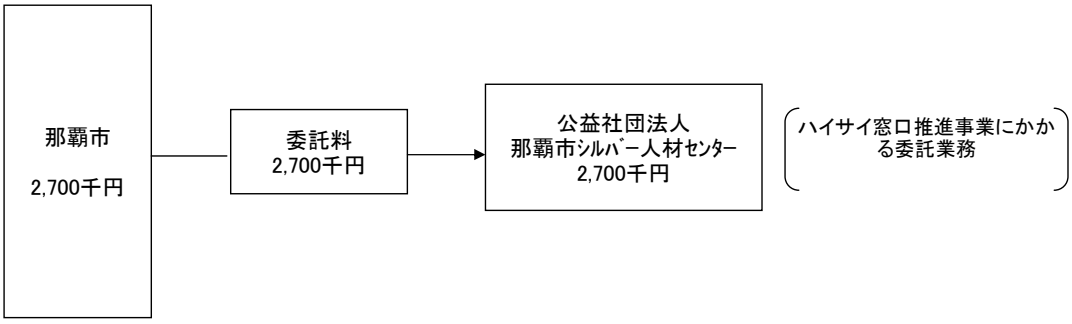
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	これまで、窓口で実施したことがない事業であったため、案内人との調整や対応について手探りで取り組んできた。 来庁した市民に対する「ハイサイ・ハイタイ」の声かけ、挨拶から初めて、少しずつコミュニケーションの雰囲気づくりに進めていった。案内人と来庁者のウチナーグチのスキルの差については、高齢者の案内人が臨機応変に対応されていたと感じられ、世代間のギャップの大きさ、日常会話におけるウチナーグチの衰退を改めて確認した。また、高齢者案内人の採用については、人当たりがよく、日常生活へのウチナーグチの浸透に馴染み易かったと思われるので、人選は適切なものだったと考えている。運動の趣旨に賛同いただけなかった市民の方々への今後のアプローチ、PRの方法が課題である。	来庁者や職員向けへの雰囲気づくりになったと思われるが、今後はそれを活かし、庁舎各窓口においても、躊躇なく「ハイサイ」の挨拶が、誰でもできるよう推進する必要がある。それによって、運動の広がりが担保され、伝統文化の継承発展に繋げれるものと考える。 日常業務の中で、ウチナーグチをどのように定着させていくかが、今後の課題である。

今後の取り組み方針

今後とも、窓口での市民満足度アンケートで認知度について検証を行っていく予定である。また、窓口委託事業者も積極的にウチナーグチでの対応を推進していくことになっているので、継続的なPRを勧めることができるものと考えている。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,700	2,700	2,160	540	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	※委託業者は、業務内容を鑑み、高齢者でウチナーグチでの会話可能な人材が豊富であると捉え、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に基づき、福祉施設等との随意契約とした。 ※予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7－⑤	琉球伝統芸能継承発展事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(1)－ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	学校教育部　青少年育成課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、伝統芸能楽器を青少年健全育成関係団体等へ貸出し、子ども達が伝統芸能に触れる機会を広く提供する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,117				
	(b) 予算現額	3,117				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,117	0			
B. 執行済額		1,735				
うち交付金充当額		1,388				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		55.7%				

予算の状況の説明

・不要額が138,1千円発生しているが、備品（楽器）購入費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
楽器の購入：三線、大・中太鼓、締太鼓	目　標	三線→100 （大・中太鼓→30 締太鼓→30）	（　）	（　）	（　）
	実　績	三線→100 大・中太鼓→30 締太鼓→30			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

予算の範囲内で、予定していた楽器の購入ができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（24年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
各伝統芸能楽器（三線・大太鼓・中太鼓・締太鼓）貸出数	目　標	（２団体）	（２団体）	（　）	（　）	（１５団体）
	実　績		２団体			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

今年度は年度末頃に購入した楽器の納品があったため、貸出した団体数が少ないが、次年度以降は広報・周知活動を行いながら貸出す団体を増やして行きたい。

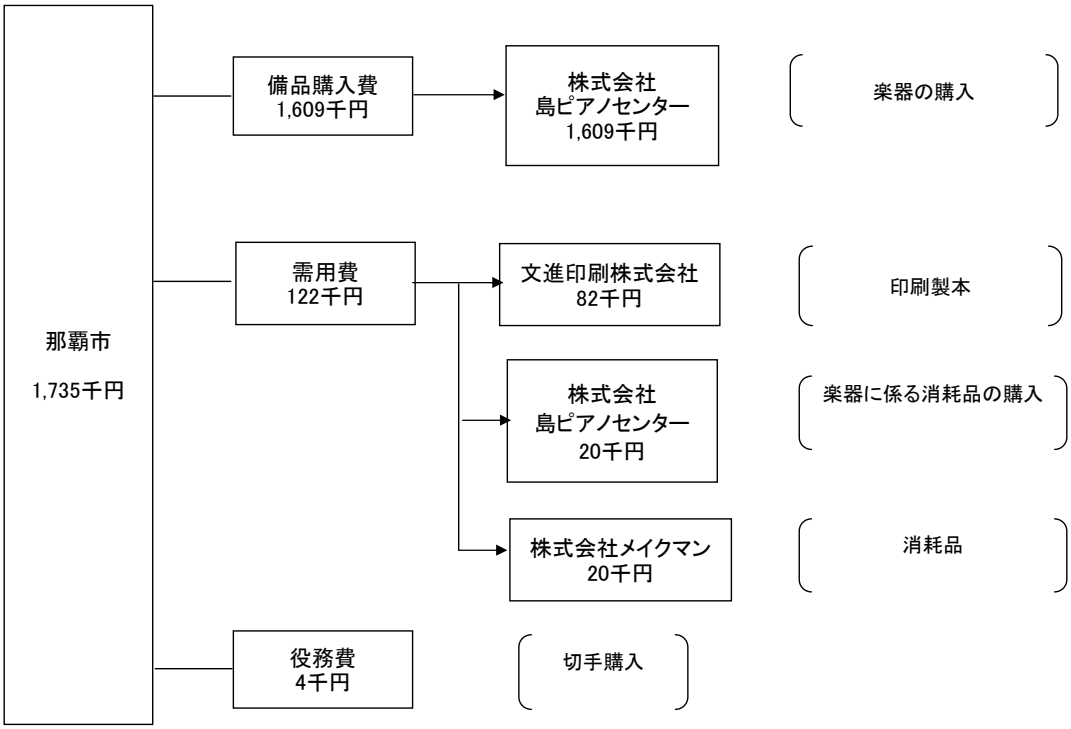
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●楽器の保管（場所） ●市内団体への周知活動	●可能な限り、少ない箇所での楽器保管を行いたい。

今後の取り組み方針

楽器が無料で貸出されていることをより多くの市内団体へ周知させるPR活動を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,735	1,735	1,388	347	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札において、落札額が予定価格とひらきがあったので、今後は適正かつ合理的な積算を行い参考価格がつくれるよう務めたい。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－⑥	伝統芸能･文化の継承発展補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全･継承及び新たな文化の創造
担当部課名	市民文化部　　文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、市内各地の伝統芸能文化の掘り起こしと保存･継承に関わる活動に対して補助を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,000				
	(b) 予算現額	2,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,000	0			
B. 執行済額		1,460				
うち交付金充当額		1,167				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		73.0%				
予算の状況の説明		･5団体への補助を達成した。 ･募集開始の時期が年度後半となり、補助事業の計画、執行が困難な団体があり当初予算額を執行できなかった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･市内各地の伝統芸能文化の掘り起こし ･保存継承活動に対し補助を行う	目　標	（　5団体　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	5団体			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	･市内各地の伝統芸能文化の掘り起こしと活動団体の確認を行い、当該団体が行っている保存継承活動に対して補助を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
伝統芸能文化の保存継承活動支援団体数	目　標	（　　）	（　5団体　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		5団体			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	･伝統音楽、舞踊、獅子舞等の継承にとりくむ地域の5団体に補助を実施した。 ･補助の実施により地域の伝統芸能継承の機運が更に高まった。

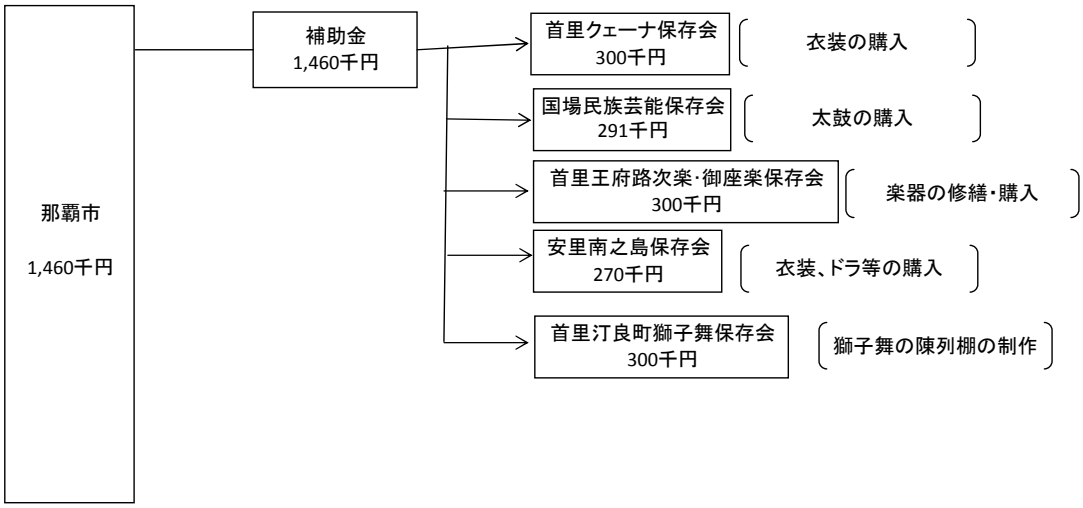
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・事業の周知を強化し、さらに対象団体の発掘を行う必要がある。 ・地域の伝統芸能継承団体の高齢化が進んでおり、後継者の育成が急務との実態が浮き彫りとなった。	・事業の周知を強化し、対象団体の発掘、拡大を行う。

今後の取り組み方針

平成25年度は10団体を目標に事業を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,460	1,460	1,167	293	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－⑦	那覇市舞台芸術体験事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	市民文化部　　文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させ、成果発表会を開催する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,415				
	(b) 予算現額	5,415				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,415	0			
B. 執行済額		5,390				
うち交付金充当額		4,312				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.5%				
予算の状況の説明		・当初計画どおり事業実施。 ・不用額は音響システム購入費の落札差額。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させる ・成果発表会を開催する。	目　標	（　成果発表会1回　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	成果発表会1回開催			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明
・参加生徒は目標を下回った。募集期間が短く、生徒に対し事業の意義や魅力を十分に周知できなかった。
・石嶺中学校生徒19人が参加。那覇市芸術監督のオリジナル作品「負きてぇならん」を15回のワークショップを実施。
・パレット市民劇場にて成果発表を行い、観客（200人）に好評を博した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
舞台芸術体験事業参加児童生徒数（25名の生徒の参加）	目　標	（　　）	（中学校1校 参加生徒 25名）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		中学校1校 参加生徒19名			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明
・石嶺中学校生徒19人が参加。那覇市芸術監督のオリジナル作品「負きてぇならん」を15回のワークショップを実施。
・パレット市民劇場にて成果発表を行い、観客（200人）に好評を博した。
・参加生徒はウチナーグチの魅力を実感し、継承することの意義を認識し意欲を示した。

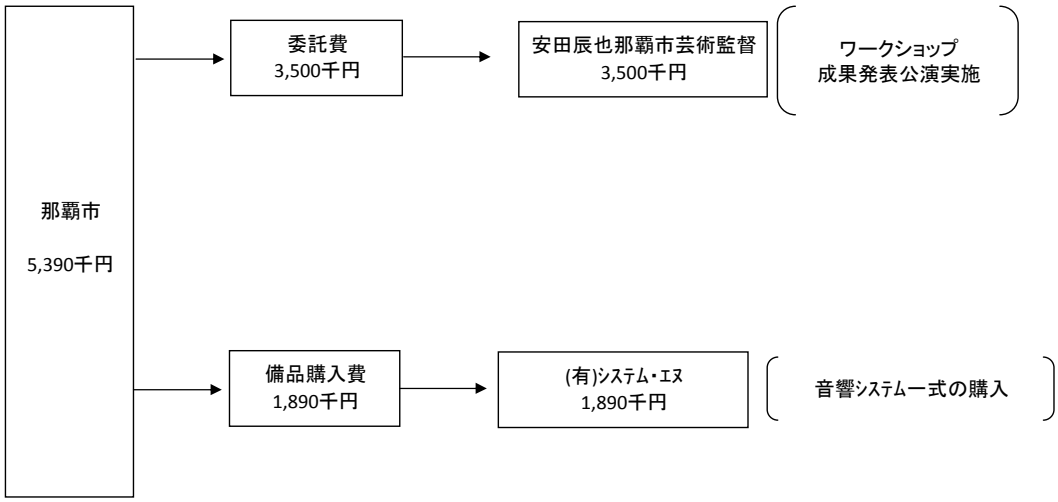
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・事業の魅力を十分にPRし生徒の参加意欲の増進を図る。	・事業の魅力を十分にPRし参加生徒の拡大を図る。

今後の取り組み方針

平成25年度は、小学校及び中学校の各1校で実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,390	5,390	4,312	1,078	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、生徒への指導、演出に実績があり、最も適任者を選定しており妥当であったと考えている。 ・備品購入は指名競争入札を実施しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－⑧	伝統文化継承種まき事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－ウ 子育てセーフティネットの充実
担当部課名	こどもみらい部こどもみらい課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の発展のため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣して伝統文化の継承に取り組む。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,631				
	(b) 予算現額	1,631				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,631	0			
B. 執行済額		1,619				
うち交付金充当額		1,295				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.3%				
予算の状況の説明		ほぼ計画どおりに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
保育所へ伝統文化の専門講師を派遣する。	目　標	（　12回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	12回			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：公立保育所において、琉球舞踊や空手、方言などに精通している方々を講師として、 2回／月、10月から3月までの連続で体験することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
保育所1ヶ所あたりの実施回数	目　標	（　－　）	（　12回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		12回			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：12回行えたので、児童は沖縄の文化芸能に興味を示し、曲を口ずさんだり、「琉球」や「獅子」「紅型」の文字に反応するようになった。

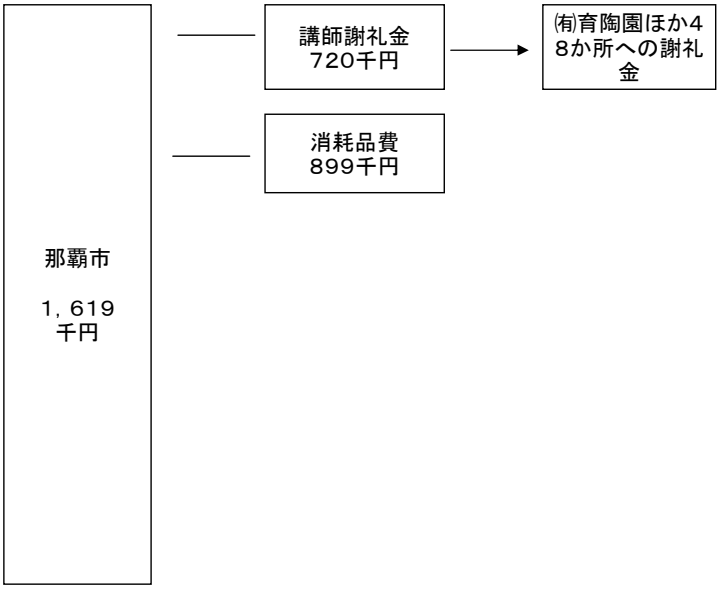
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	琉球舞踊、空手、方言などの設定は、0～5歳の年齢幅があるので内容がぼやけてしまう。伝統文化の「種まき」としたレベルで行う。	直接、指導を受ける効果は、大きいので事業を継続し、後継者の育成、沖縄の振興へつなげる。

今後の取り組み方針

●地域の伝統文化に精通する方々による指導は、真にわかりやすく効果が大きいので継続していく。また、幼児からの取り組みにより沖縄の理解を深め、継承に資することを図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,619	1,619	1,295	324	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	保育の場でも専門講師による質の高い指導が受けられ、伝統文化の継承に資することが図られる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7－⑨	子どもが輝くまちづくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(4)－イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進
担当部課名	学校教育部　青少年育成課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	713				
	(b) 予算現額	713				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	713	0			
B. 執行済額		603				
うち交付金充当額		482				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		84.6%				
予算の状況の説明		・不用額が110千円発生しているが、子どもフェスタ運営費の実績残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「子どもフェスタinなは」を開催し、子供達の活動発表の場を創出	目　標	（子どもフェスタの開催）	（　）	（　）	（　）
	実　績	子どもフェスタの開催			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：2箇所（パレット市民劇場、琉球新報ホール）にて、舞台の部が32団体、展示・体験の部が10団体参加して、「子どもフェスタinなは」を開催した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
子どもフェスタ参加児童生徒数	目　標	（0人）	（600人）	（　）	（　）	（750人）
	実　績		630人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：舞台出場の参加児童生徒数を目標値600人（参加団体数30団体×20人/団体）とし、実績は32団体参加し、計630人が参加した。

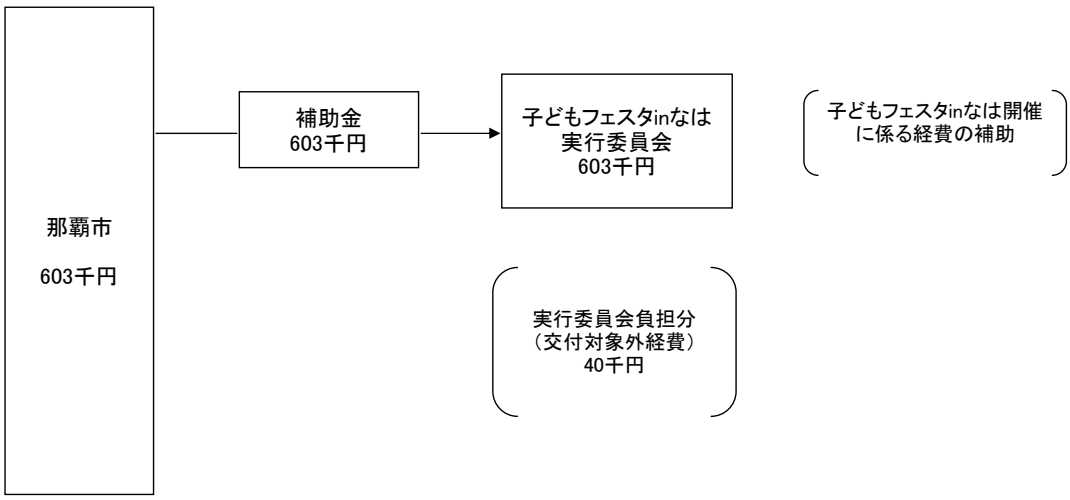
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●開催場所（会場）の選定 ●よりよい集客方法の検討	●当日（リハーサル含め）の運営方法の見直し

今後の取り組み方針

現在、フェスタ開催・運営は行政主導で行われているが、今後は地域や民間の方々中心に運営ができるような仕組みづくりを考えていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
643	603	482	121	40



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7－⑪	壺屋の歴史・文化発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	市民文化部　　文化財課 （※平成24年度中/市民文化部　博物館）	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容

沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、県外に流失した沖縄固有の貴重な文化財である厨子甕を購入し、壺屋焼物博物館にて展示公開する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	18,518				
	(b) 予算現額	18,518				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	18,518	0			
B. 執行済額		16,211				
うち交付金充当額		12,968				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		87.5%				
予算の状況の説明		・不用額2,307千円は、主に厨子甕資料運搬に係る通信運搬費の入札残（1,257千円）、臨時職員任用期間短縮による賃金等の執行残（497千円）及び収納棚購入に係る施設備品費の入札残（486千円）によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・厨子甕の購入 ・収蔵棚の整備 ・厨子甕の公開及び展示会の実施 ・壺屋焼陶工の勉強会実施	目　標	（左記活動目標のとおり）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	左記目標全て達成			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

・厨子甕資料190基を購入した。
・地下収蔵庫への厨子甕収納棚の設置及び収蔵・保管・管理に必要な備品類を購入した。
・臨時職員2名を任用し、地下収蔵庫の整備、厨子甕の洗浄、収納及び厨子甕資料群リストの作成を行った。
・厨子甕の内覧会（地域代表者、市会議員、マスコミ各社及び行政関係者）を実施した。（25名参加）
・壺屋陶器事業協同組合との連携により、壺屋焼陶工を対象に厨子甕についての勉強会を実施した。（30名参加）
・厨子資料群のお披露目展示会を開催し、一般に公開した。（3月8日～3月24日　観覧者766名）

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（H23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（H26年度）
・厨子甕の購入 ・収蔵棚の整備 ・厨子甕の公開及び展示会の実施 ・壺屋焼陶工の勉強会実施	目　標	（入場者数 17,131人）	（左記活動目標のとおり）	（　　）	（　　）	（入場者数 19,900人）
	実　績		左記目標全て達成			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

・本県の貴重な文化財資料群の散逸を防ぐとともに市民・県民の財産として有効に活用することが可能になった。
・地下収蔵庫の整備、厨子甕の洗浄、収納及びリスト作成により、資料が適切に管理できる状況となった。
・厨子甕のお披露目公開及び展示会を実施した。
・壺屋陶器事業協同組合との連携により、壺屋焼陶工の厨子甕についての勉強会を実施した。

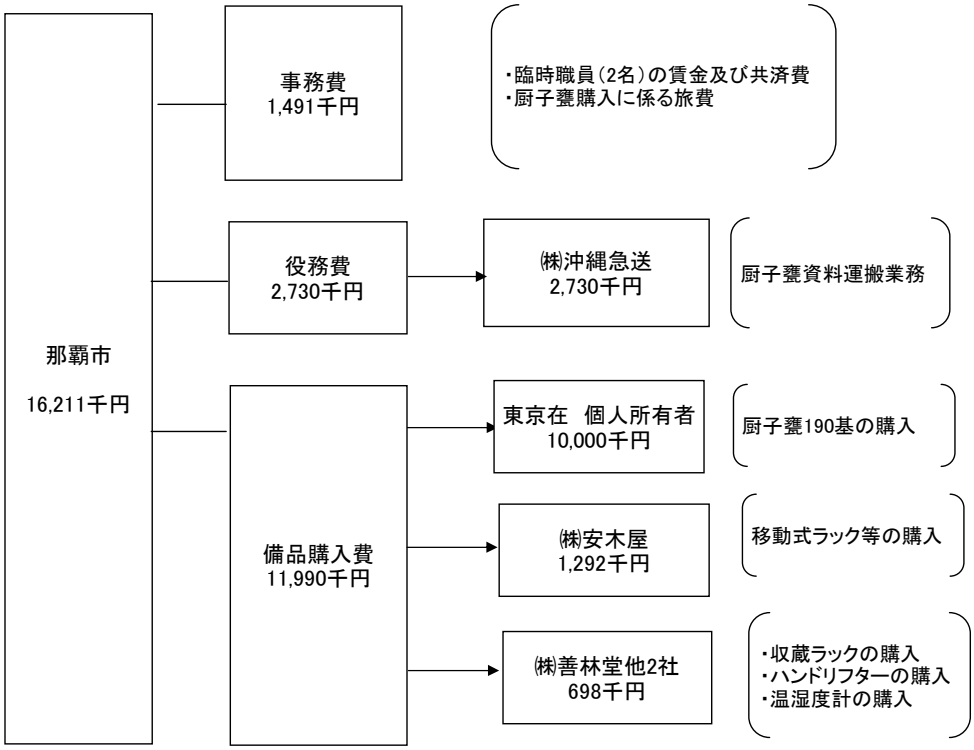
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・特徴的な厨子甕資料のお披露目展示会開催後、一部を常設展示しているが、今後、全ての資料個々の調査・研究を進め、その成果の公表とともに大規模な展示会を開催し、広く公開する必要がある。 ・博物館の新たな目玉として入館者数の増加に繋げる。 ・資料の中には、購入当初から割れているものや、修復が必要なものもある。	・厨子甕資料群の調査・研究・解説書作成及び展示会開催のためには、相応の調査期間と人員が必要である。 ・資料の修復の必要性・修復方法の検討が必要である。 ・・厨子文様のデザイン化や新商品開発等、資料の新たな活用の可能性を探る。

今後の取り組み方針

・今年度、資料の調査・研究を行い、平成26年度厨子資料甕群の大規模な展示会開催に向けて、作業を進める。
・資料修復や新たな活用方法について、専門家の意見を伺い、今後の方針を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,211	16,211	12,968	3,243	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入した資料は、本市において鑑定した評価額内の金額で購入しており、適正であると考える。 ○受託業者は一般競争入札において決定し、企業組織規模、実績、知識等においても妥当であったと考える。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－⑮	文化芸術発信拠点施設整備事業（市民会館）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	市民文化部　　文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容

沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の文化芸術発信拠点施設である市民会館の備品整備と充実を図り、機能強化を行う。

実施方法

■直接実施　　□委託　　□補助　　□負担　　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	41,139				
	(b) 予算現額	46,139				
	(c) 増減額 (b-a)	5,000				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	46,139	0			
B. 執行済額		45,495				
うち交付金充当額		36,395				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.6%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市民会館の施設整備 ・ピアノ2台 ・非常用発電機1基	目　標	（　左記目標達成　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	左記目標達成済			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	
	当初計画どおり、ハイグレードのピアノ2台と非常用発電機１台の購入整備を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市民会館の施設整備 ・ピアノ2台 ・非常用発電機1基	目　標	（　　）	（左記目標達成）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		左記目標達成			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	
	備品購入日は平成24年度末であり、ピアノ・非常用発電機購入整備、活用による成果は、平成25年度以降となる見込みである。新規設備のPRに取り組み、活用促進によって、文化面からの振興発展に活かしたい。

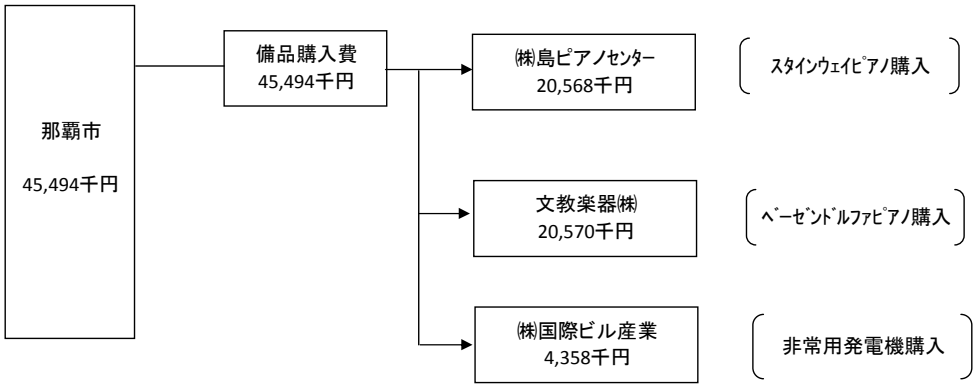
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	スタインウェイ・ベーゼンドルファの2台のグレードの高いピアノを導入したことにより、著名な演奏家や多くのピアノ愛好家などからの利用が期待でき、それに伴う県内、県外からの観客動員が見込まれる。 非常用発電機の購入により暴風時対策の安心性が上がる。	備品購入時期が平成24年度末であるため、平成25年度以降に整備活用による文化振興発展面での効果が期待される。そのためにも、新規設備整備のPRに取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

平成25年度に文化芸術発信事業（市民会館）を実施し、新機材のお披露目のための公演等を開催し、PRに取り組む

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
45,494	45,494	36,395	9,099	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	2台のピアノは限定された機材のため、各々取り扱い専門業者との随意契約をおこなった。 非常用発電機は指名競争入札とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－⑯	新文化芸術発信拠点施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	市民文化部　　文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本構想の策定を行う。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,274				
	(b) 予算現額	8,289				
	(c) 増減額 (b-a)	15				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	8,289	0			
B. 執行済額		7,908				
うち交付金充当額		6,326				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.4%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
新しい文化発信拠点施設整備建設に向けた基本構想の策定を行う。	目　標	（　基本構想策定　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	基本構想策定			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	新文化発信拠点施設整備建設に向けて平成24年度は基本構想策定作業に取り組くんだ。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
新しい文化発信拠点施設整備建設に向けた基本構想の策定	目　標	（　　）	（基本構想策定）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		基本構想策定			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	新文化発信拠点施設整備建設に向けて、平成24年度は基本構想策定に取り組んだ。 平成25年度には基本計画に取り組む予定である。

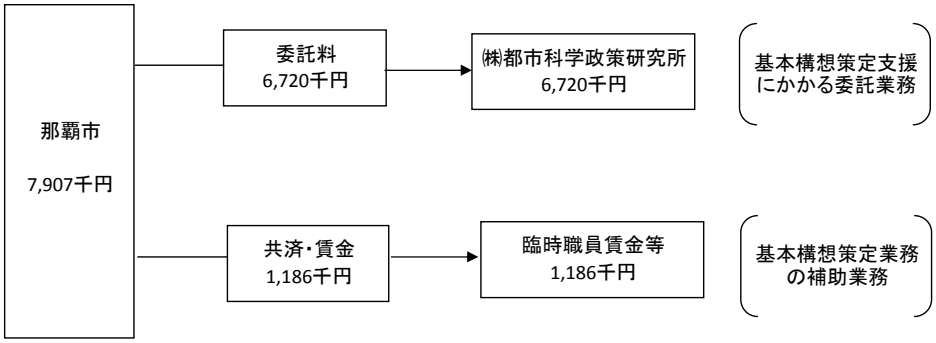
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（ア）市民ｱﾝｹｰﾄ・市民ﾌｫｰﾗﾑの実施。 （イ）行政外の外部有識者による構想検討 （ウ）先進地視察による検討 いずれも本市の新たな文化芸術発信拠点施設としてふさわしいものを確定するために必要なものであり、今後も留意する必要がある。	市民ｱﾝｹｰﾄ、市民ﾌｫｰﾗﾑ等踏まえた市民ニーズの確認、また先進地の視察を経て、基本構想の策定に取り組んだ。 基本構想の策定によって、次年度の取組に向けた十分な基礎固めができたものと考える。 次年度の基本計画策定等でも、市民ニーズの確認等のステップはしっかり踏まえて推進することが必要である。

今後の取り組み方針

平成25年度は、今回取り組んだ新文化発信拠点施設基本構想（新市民会館基本構想）に基づいて、市民ニーズ等に留意しながら基本計画の策定に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,907	7,907	6,326	1,581	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託は、市に登録された建設コンサルタント業者の中から指名競争入札により行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7－⑰	崎山御嶽修復事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	市民文化部　　文化財課 （※平成24年度中/生涯学習部　文化財課）	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	沖縄振興に資するため伝統文化を伝統文化を継承するため、市指定文化財（史跡）「崎山御嶽」を整備し、観光資源としても活用できるにする。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,014				
	(b) 予算現額	1,014				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,014	0			
B. 執行済額		992				
うち交付金充当額		793				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.8%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・樹木伐採　13本 ・石積修復　1.25㎡ ・ブロック壁修復　6.39m	目　標	（　修復工事　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	修復工事完了			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	修復工事（伐採・石積修復・ブロック壁修復・運搬処分）は、工期内に完了

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・樹木伐採　13本 ・石積修復　1.25㎡ ・ブロック壁修復　6.39m	目　標	（　修復工事　）	（　工事完了　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		修復工事完了			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	修復工事（伐採・石積修復・ブロック壁修復・運搬処分）は、工期内に完了

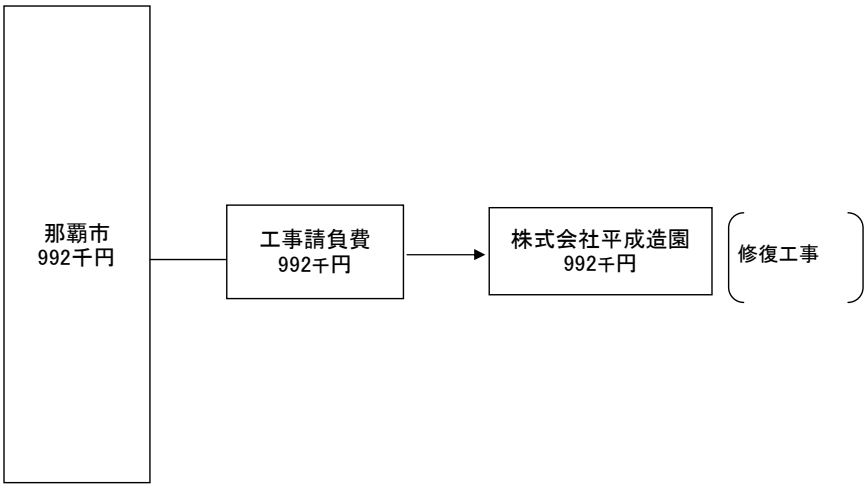
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	地域の修復を求める要請に応えることができた。	指定文化財を地域の学習の場として、観光資源として広く紹介する必要があるので、今後の取り組みにおいても留意する必要がある。

今後の取り組み方針

観光資源としての活用促進を図るため、歴史散歩の主要な見どころとして紹介するなどの検討を進める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
992	992	793	199	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○文化財の修復に実績のある三社より見積書を徴し、最低額の業者と随意契約（地方自治法施行令167条の2第1項第1号適用）しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7－⑱	崎山樋川修復事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	市民文化部　　文化財課 （※平成24年度中/生涯学習部　文化財課）	事業実施（予定）年度	平成24年度～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	沖縄振興に資するため伝統文化を伝統文化を継承するため、市指定文化財（史跡）「崎山樋川」を整備し、観光資源としても活用できるにする。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,373				
	(b) 予算現額	2,373				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,373	0			
B. 執行済額		2,299				
うち交付金充当額		1,839,000				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		96.9%				
予算の状況の説明		不用額73,500円は、入札残によるもの。ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「崎山樋川」整備に係る実施設計（測量・設計・地質調査）	目　標	（　設計業務　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設計業務完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	委託期間内に実施設計が完了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
「崎山樋川」整備に係る実施設計（測量・設計・地質調査）	目　標	（　0　）	（　設計業務　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		設計業務完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	委託期間内に実施設計が完了した。

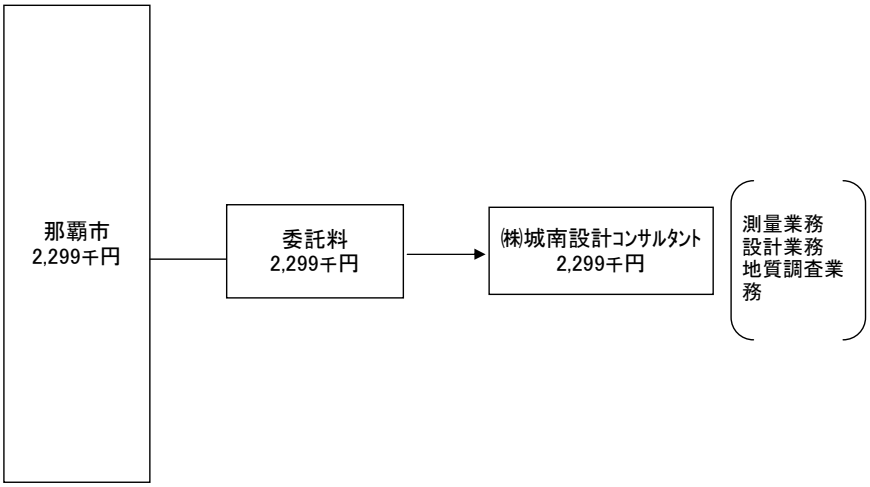
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	測量・設計・地質調査を踏まえ、修復工法について協議した。	整備に向けた実施設計（測量・設計・地質調査）は完了したが、観光資源としての活用促進を図るため、対応を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

観光資源としての活用促進を図る必要があるので、歴史散歩の主要な見どころとして紹介するなどの検討を進めながら、平成25年度は、当該実施設計に基づき、修復事業に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,299	2,299	1,839	460	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約検査課に契約依頼し、地方自治法施行令第167条第1項第3号の規定に基づき、10業者の指名競争入札を実施しており、妥当と考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-②	児童クラブ賃借料補助金		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 子育てセーフティネットの充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4

事業内容

低所得県故の共働き世帯の多さに対応した子育て施策の拡充を行うため、児童クラブ舎の公的施設整備を進めながら、賃借料負担の無い公的施設で活動している児童クラブに比べて、賃借料等を負担し民間施設等で活動している児童クラブへの負担軽減のため、家賃等の補助を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	11,541				
	(b) 予算現額	11,541				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	11,541	0			
B. 執行済額		11,117				
うち交付金充当額		8,893				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		96.3%				
予算の状況の説明		計画どおり執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
民間施設等を賃借して活動している児童クラブに対し、家賃等の補助を行う	目　標	（　17ヶ所　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	17ヶ所			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：予定していた児童クラブ17ヶ所への賃借料補助を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
家賃料補助を行っている児童クラブ施設利用児童数	目　標	（　0　）	（　811人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		811人			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：賃貸物件で活動している児童クラブに家賃補助を行うことによって、運営上の負担軽減につながる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○補助金支払額が、月額賃借料の4/5で上限が80,000円。各児童クラブの月額賃借料は12,500円から190,000円と幅がある（17児童クラブの平均月額：96,880円）。 ○平成24年度の賃借料補助金は3月に交付だったため、年度内の運営が厳しい状況となる児童クラブもあった。	○補助金交付の時期、回数の見直し。

今後の取り組み方針

○平成25年度は年4回（6月・9月・12月・3月）に分けた概算払い予定。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,256	11,117	8,893	2,224	4,139

那覇市
11,117千円

→

補助金
11,117千円

→

・高良児童クラブ
・末吉児童クラブ
・松川児童クラブ
・あすなろ児童クラブ
・愛心児童クラブ
・城東児童クラブ
・たばる児童クラブ
・識名児童クラブ
・泊児童クラブ
・小禄南児童クラブ
・はなぞの児童クラブ
・こざくら児童クラブ
・にこにこ児童クラブ
・めかる児童クラブ
・第2城東児童クラブ
・泊キッズ児童クラブ
・みやび児童クラブ
以上、17ヶ所

（賃貸物件で活動している児童クラブに対する家賃補助）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	各児童クラブは賃貸借契約書、領収書または口座引落明細書を提出
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-③	放課後児童クラブ支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 子育てセーフティネットの充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4

事業内容

低所得県故の共働き世帯の多さ等に対応した子育て施策の拡充を行うため、アンケート調査によるニーズ調査・研究を行い、今後の児童クラブの整備に活かすとともに、発足まもない児童クラブの指導員にかかる人件費の補助を行い、補助対象児童クラブへのスムーズな移行を支援する。

実施方法

□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,374				
	(b) 予算現額	4,374				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,374	0			
B. 執行済額		4,374				
うち交付金充当額		3,499				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画どおりに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
子育て施策の拡充に向けたニーズ調査・研究の実施	目　標	（アンケート調査実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	アンケート調査実施			
発足まもない児童クラブの指導員にかかる人件費の補助	目　標	（3ヶ所）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3ヶ所			

達成状況説明

・市内小学校の全児童を対象にアンケートを実施。「放課後の過ごし方」「保護者のニーズ」を的確に把握できるような質問事項を保護者に回答してもらい、回答内容が集計・分析された報告書が作成された。
・予定どおり、補助対象へ移行前の児童クラブに対する指導員の人件費補助を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
指導員にかかる補助を行った対象児童クラブの児童数	目　標	（　）	（169人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		169人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

発足まもないため、補助金対象外で苦しい運営のなか活動している児童クラブに指導員の人件費補助を行うことによって、運営上の負担削減につながる。

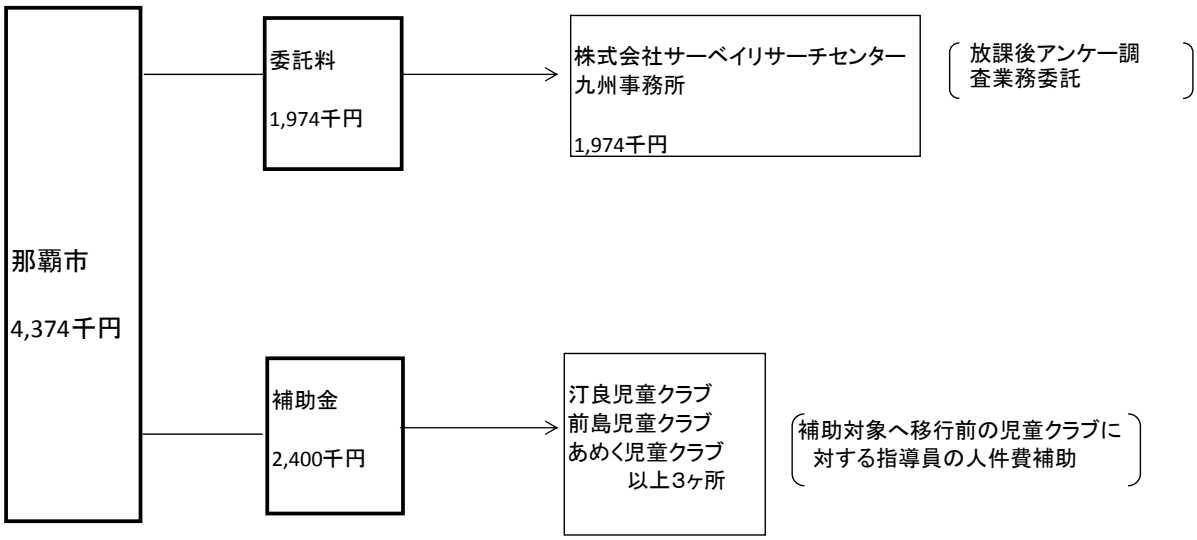
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○アンケート調査により作成された報告書では、児童クラブの利用状況・利用意向、児童クラブの満足度、児童クラブに望むこと等が盛り込まれた。	○地域ごと・小校区ごとの保護者ニーズの検証が必要。

今後の取り組み方針

アンケート調査の結果に基づく児童クラブの課題検討し、今後の児童クラブの整備に活かす。（保育料軽減や開所時間の拡大検討）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,374	4,374	3,499	875	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	競争入札に付すも落札者がなく、最低額入札者と予定価格の範囲内にて随意契約する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-①	那覇市・福州市児童生徒交流祭シンポジウム事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－4－(1)－ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進
担当部課名	総務部　平和交流・男女参画課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－7

事業内容

本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、当該事業の児童生徒OB・OGとの意見交換会や、人材育成を目的としたシンポジウムを開催する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,969				
	(b) 予算現額	1,969				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	1,969				
B. 執行済額		1,447				
うち交付金充当額		1,157				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		73.5%				

予算の状況の説明：使用料及び賃借料について、当初福州市外事弁公室職員を招聘予定であったが、社会情勢の変化により招聘できなかったため、当該費用にかかる宿泊施設の借り上げ料と視察にかかるバス賃借料が未執行となった。
他執行残については実績による残。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
人材育成を目的としたシンポジウムの開催	目　標	人材育成を目的としたシンポジウムの開催	（　）	（　）	（　）
	実　績	人材育成を目的としたシンポジウムの開催			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：これまでに那覇市・福州市児童生徒交流祭に参加した児童生徒及び県内識者ならびに関係者が会し当該事業についての意義や可能性を再認識することができ、事業の目的は達成された。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
シンポジウム参加者数：60人 那覇市・福州市友好都市交流ネットワーク登録者数：17人	目　標	（0）	（シンポジウム参加者数：60人 那覇市・福州市友好都市交流ネットワーク登録者数：17人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		同上			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：これまでに那覇市・福州市児童生徒交流祭に参加した児童生徒及び県内識者ならびに関係者が会し当該事業についての意義や可能性を再認識することができた。
今後は毎年開催される交流事業の参加者を蓄積していくことにより、ネットワークを広げていく。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	那覇市と福州市、2国間の交流による事業であるため、国交による社会情勢にも配慮しつつ、培った交流の歴史やネットワークを維持し拡充していく。	ネットワークを活用し、情報交換できる環境を構築する。

今後の取り組み方針

当該交流事業の過去参加者を今後の交流に参加させていく。
ネットワークを活用した情報交換できる環境を構築する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,447	1,447	1,157	290	0

総事業費 1,447千円

- 委託料 1,203千円 → （株）沖縄コングレ 1,203千円 ・シンポジウムの開催に係る業務委託料
- 交際費 244千円 → パシフィックホテル沖縄 244千円 ・交流会開催経費として

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託相手方は、公募型プロポーザル方式により、企業組織・実績・知識等を勘案した上で選定している。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から、最小の費用で最大の効果を挙げるよう十分に留意した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-②	海外移住那覇市出身者研修受入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－4－(1)－ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進
担当部課名	総務部　平和交流・男女参画課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－7

事業内容

本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会の2世・3世らを研修生として受け入れる。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,153				
	(b) 予算現額	1,153				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	1,153				
B. 執行済額		1,052				
うち交付金充当額		841				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		91.2%				

予算の状況の説明：特別旅費の執行残等があるが、概ね予定どおり執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・研修生受入：年間2名	目　標	（　2名　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2名			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：予定していた人数を招聘することができ、それぞれにルーツであるふるさと那覇市の文化研修を行うことができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
南米からの研修受入人数：2人	目　標	（　0　）	（　2名　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2名			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年3月現在で、事業開始後23名の研修生を迎えたことになり、それぞれが現地県人会においても自らのアイデンティティーを再認識することにより、その他の次世代現地沖縄県人の方々への意識醸成へ寄与している。

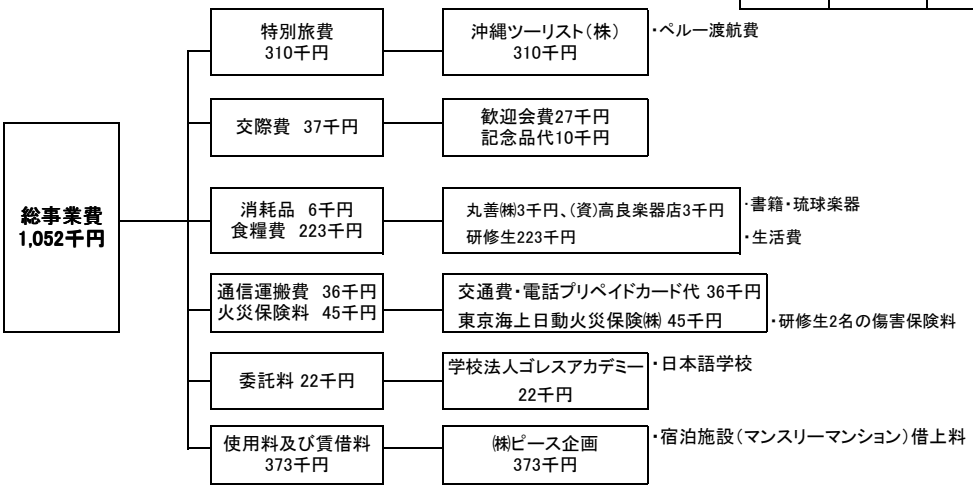
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	毎年受入れる各研修生ごとへ、画一的ではないきめ細かな研修・体験を提供することにより、自らのアイデンティティーを再認識させるとともに、親戚や、多くの市民の方々との交流の場を提供することにより、ルーツであるふるさと那覇市への思いを再認識してもらい、帰国後も相互に気持ちを繋いでいけるよう支援する。	研修生ごとへのきめ細かな対応をするとともに、帰国後も様々な通信手段などを通して、こまめに連絡をとり、現地県人会との窓口として連絡を取り合う。

今後の取り組み方針

同上

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,052	1,052	841	211	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○研修の目的達成のため適当と判断された施設を利用し支出をした。 ○研修内容の充実に必要十分な予算規模となっており、かつ費目・使途の必要性についても考慮されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10-①	未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(13)－ア 早期の事業着手に向けた取組
担当部課名	総務部　平和交流・男女参画課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－8
事業内容	市内に残された米軍基地問題の解決のため、那覇軍港の跡地利用計画策定に向け取組む。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,000				
	(b) 予算現額	5,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,000				
B. 執行済額		4,725				
うち交付金充当額		3,780				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		94.5%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
平成18年度策定の「合意形成活動全体計画」の見直しを行う。	目　標	（合意形成活動全体計画見直しを行う）	（　）	（　）	（　）
	実　績	合意形成活動全体計画見直しを行った			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成18年度に策定した「合意形成活動全体計画」について、社会動向の整理、全体計画の検証、地権者アンケートなどを踏まえ、地主会との調整を行い、合意形成活動全体計画の見直しを行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
合意形成活動全体計画見直し案の策定	目　標	（　－　）	（合意形成活動全体計画見直し案の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		合意形成活動全体計画見直し案の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：合意形成活動全体計画見直し案を策定した。

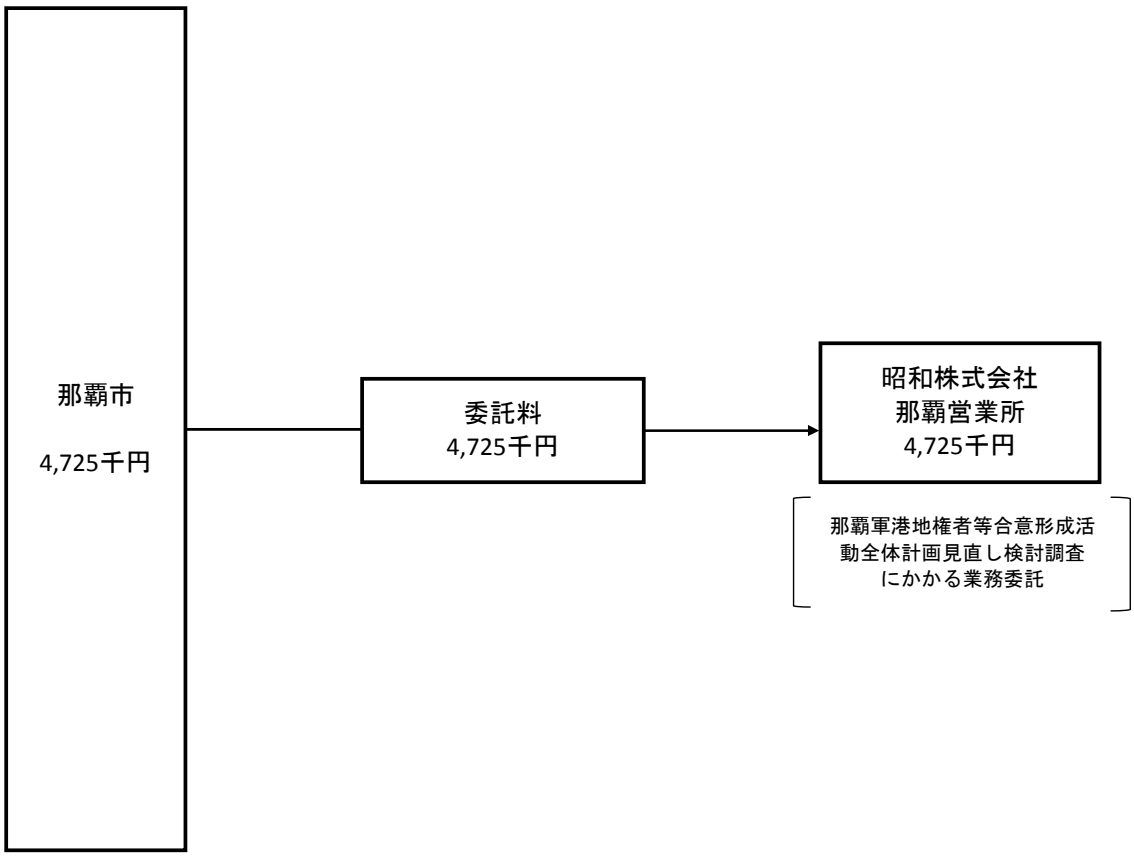
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●社会動向の変化　①跡地利用特措法の施行、②嘉手納飛行場以南の土地の返還、③跡地利用が進む返還跡地、④中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想の策定、⑤中南部地試験の軍用地跡地利用に向けた動き ●全体計画の検証や地権者アンケートから、①全体計画の更なる周知、②土地活用に組めた勉強、③情報発信の継続、が必要なことが分かった。	●跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境を整えることに重点を置き、「意識醸成」と「組織づくり」に取り組む。

今後の取り組み方針

●全体計画の更なる周知
●跡地利用計画づくりに向けた意識醸成
●若い世代の組織の設置
●土地活用に関する知識の習得
●国有地を道路や公園・緑地等の公共用地に充当することの検討

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,725	4,725	3,780	945	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先業者は指名競争入札により選定
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11－①	離島連携事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－オ 交流と貢献による離島の新たな振興
担当部課名	経済観光部　商工農水課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－9

事業内容

県都・那覇の持つ集客力等を活かして離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜の4つの離島と連携事業を行い、4村との交流強化に取り組む。

実施方法

■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	44,897				
	(b) 予算現額	44,897				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	44,897	0			
B. 執行済額		23,597				
うち交付金充当額		18,877				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		53.1%				
予算の状況の説明		・台風等の天候による船便の欠航が相次いだため、助成券の利用率が65.2%にとどまり、執行率が伸びなかった。 ・離島連携事業受付管理システムについて、年度更新機能やバグ修正等のシステム再構築を行うため、補助金から1,500千円を流用し、指名競争入札を実施した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇市民を対象に交通費と宿泊費の一部を助成	目　標	（交通費・宿泊費の助成）	（　）	（　）	（　）
	実　績	交通費・宿泊費の助成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

・交付決定者数は、渡嘉敷村1,392人、座間味村1,270人、粟国村1,057人、渡名喜村843人、計4,562人であった。
・助成券使用者数は、渡嘉敷村860人、座間味村823人、粟国村695人、渡名喜村595人、計2,973人であった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（24年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
離島4村（渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村）への渡航費及び宿泊費を助成した市民数	目　標	（5,000人）	（5,000人）	（　）	（　）	（5,000人）
	実　績		2,973人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

・交付決定者数は、渡嘉敷村1,392人、座間味村1,270人、粟国村1,057人、渡名喜村843人、計4,562人であった。
・助成券使用者数は、渡嘉敷村860人、座間味村823人、粟国村695人、渡名喜村595人、計2,973人であった。

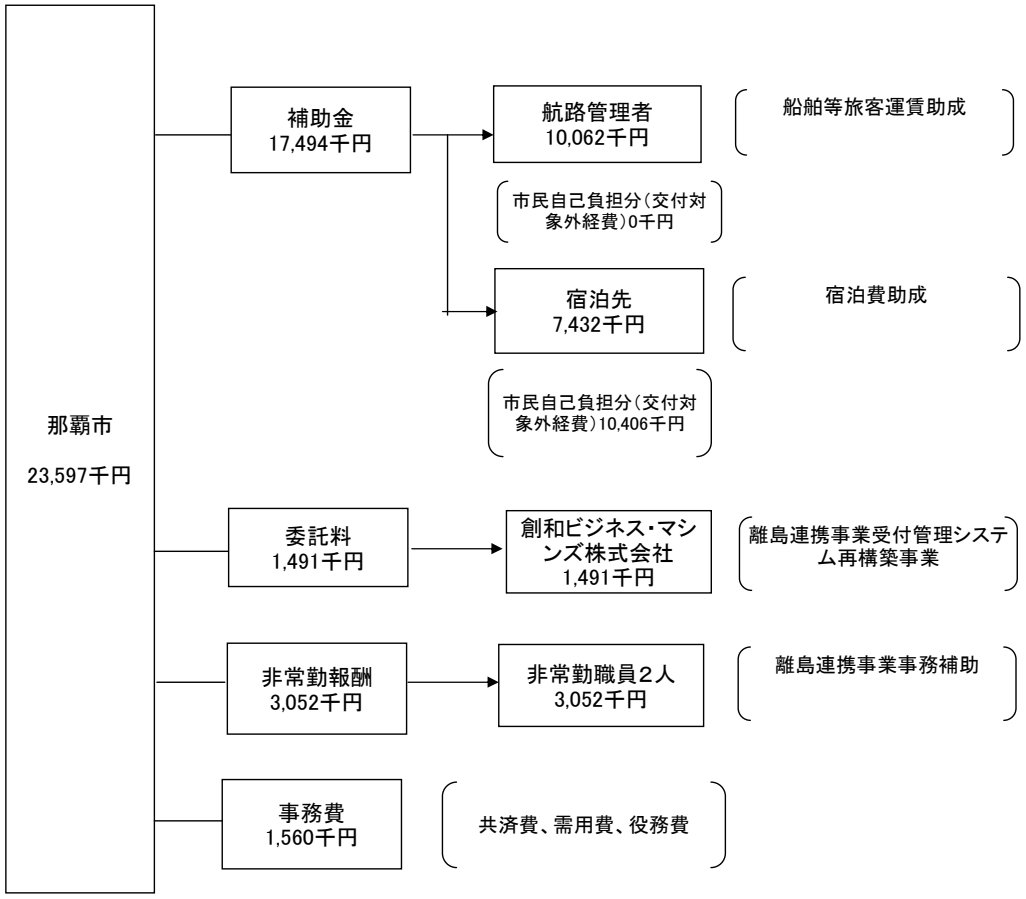
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・離島航路は、台風等の天候不良による欠航が多く、助成券を利用できなかった市民が多くいたため、執行率の低さにつながっている。 ・平成24年度は、前期・後期と募集時期を分けて募集していたが、前期に4,800人余りの応募があったにもかかわらず、後期は1,700人ほどと、募集時期により大きな差がでた。離島では冬場は夏の時期に比べ、入域数が減少する傾向にあり、それが反映される形となった。 ・平成24年度に、久米島町より離島連携事業の対象町村に加えてほしいという要請があった。	・平成24年度前期で助成券を利用できなかった方に対し、平成24年度後期でも使用できるように期間延長を行ったが、通年で利用できるように助成対象期間をあらためる必要がある。

今後の取り組み方針

・平成25年度は、対象町村に久米島町を追加する。
・前期、後期と募集時期を分けず、申込期間を5月10日～5月24日とする。また、通年で利用できるよう、助成対象期間を長期間とする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
34,003	23,597	18,877	4,720	10,406



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、類似システムの納入実績等を勘案した上で5社選定し、指名競争入札を実施しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11-③	離島体験学習支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-オ 交流と貢献による離島の新たな振興
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9

事業内容

県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を支援するため、市内小中学生及び引率者を対象に、県内離島体験学習を行う際の交通費と宿泊費に対する助成を行う。
・対象／那覇市立小中学校児童生徒とその引率者
・場所／近隣離島（久米島町・座間味村・渡嘉敷村・粟国村・渡名喜村・南北大東村）で部活動の合宿やリーダー研修等を実施する場合
・補助／海上交通費の全額・航空賃の半額・宿泊費（1泊5,000円を上限として2泊まで）

実施方法

■直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,850				
	(b) 予算現額	9,458				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 392				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,458	0			
B. 執行済額		1,938				
うち交付金充当額		1,550				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		20.5%				
予算の状況の説明		・不用額が7,520千円発生しているのは、事業開始初年度であり、執行額の予測が困難であったこと、小中学校に対する事業の周知に時間がかかったこと、台風や強風の影響で船が欠航し、計画はあったが実施に至らないケースが複数あったこと、等による。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
離島等派遣延べ人数	目　標	（140人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	140人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内6小中学校から申請のあった、計140人分の派遣費に対する補助を行った。
渡嘉敷村における中学生交流研修、久米島におけるく運動部の合宿が主な内容である。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
離島等派遣延べ人数	目　標	（0人）	（140人）	（　）	（　）	（200）
	実　績		140人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内6小中学校から申請のあった、計140人分の派遣費に対する補助を行った。
渡嘉敷村における中学生交流研修、久米島におけるく運動部の合宿が主な内容である。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・離島県である沖縄で、県都・中核市としての那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして、那覇市観光の幅と魅力を高めるため、県内近隣離島の振興発展を図る必要がある。 ・文科省の全国学力・学習状況調査や県学力到達度調査の結果から、沖縄県における「確かな学力」の向上と「基本的な生活習慣の形成」について課題があることが明らかになっている。また、亜熱帯性の島嶼県である沖縄で、その自然特性を生かした「生きる力」を育む教育が求められている。 ・離島への渡航に対する補助であるため、台風や強風による船の欠航、交通手段の変更も予想される。	・H24年度は事業開始初年度であり、交付金内諾後、補助金要綱作成を経ての小中学校へ通知したため、小中学校への周知に時間がかかることとなった。 H25年度以降は早期より事業の周知をはかりたい。 ・台風・強風等に伴い宿泊・交通手段の変更を迫られた場合は、変更後の交通費・宿泊費については全額補助対象とする（要綱改正）。

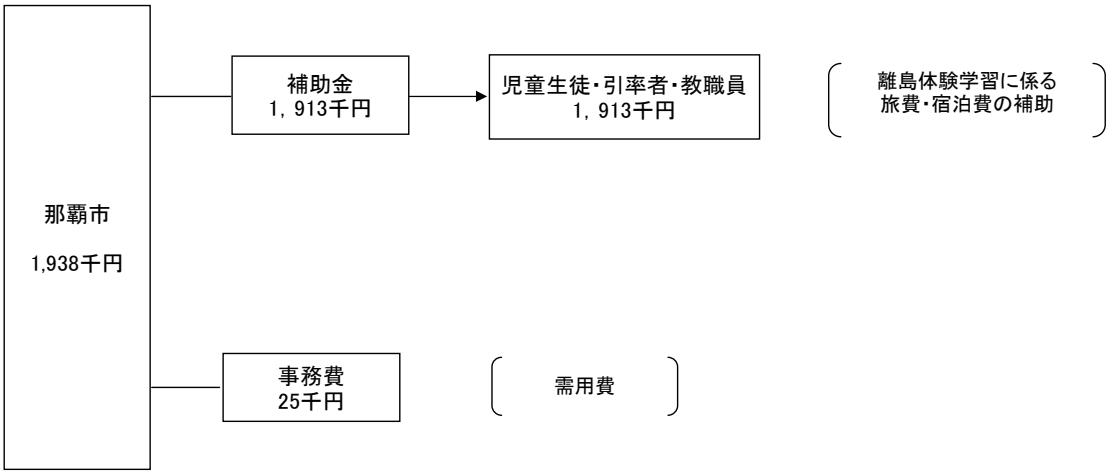
今後の取り組み方針

・離島派遣費用の負担軽減により、機会を増やし、次代を担う児童生徒の人材育成、教育の振興と離島の振興を図る。

・早い時期からの学校への通知、校長会・教頭会等における伝達を行い、事業の周知をはかる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,938	1,938	1,550	388	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、補助金交付要綱に基づく申請・実績報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模については、事業開始初年度であり、執行額の予測が困難であったこと、小中学校に対する事業の周知に時間がかかったこと、等により、過大であったと思われる。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-①	環境フェアの開催事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(1)－オ 県民参画と環境教育の推進
担当部課名	環境部　環境政策課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

沖縄の豊かな自然環境保全や環境負荷の低減、資源循環型社会実現等による環境共生都市の実現を目指すため、環境全分野にまたがる市民意識啓発事業として平成25年1月27日(日)に、沖縄セルラーパーク那覇を会場として「平成24度那覇市環境フェア」を開催した。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,381				
	(b) 予算現額	6,381				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,381	0			
B. 執行済額		6,381				
うち交付金充当額		5,104				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
環境フェアの開催	目　標	（　環境フェア開催　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	H25.1.17 環境フェア開催			
各種出展ブース数	目　標	（　50ブース　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	55ブース			

達成状況説明：ホームページ及び市広報誌等で幅広く告知をし、目標を上回る各種出展ブース数が参加し、充実した総合的な環境啓発事業となった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
環境フェアへの来場者数：7000人	目　標	（約5000人）	（7000人）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		約8200人			
各種出展ブース数	目　標	（38ブース）	（50ブース）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		55ブース			

進捗状況説明：基準年度及びH24成果指標を上回る来場者数及び各種出展ブース数を達成し、総合的な環境啓発事業である環境フェアを開催することができた。

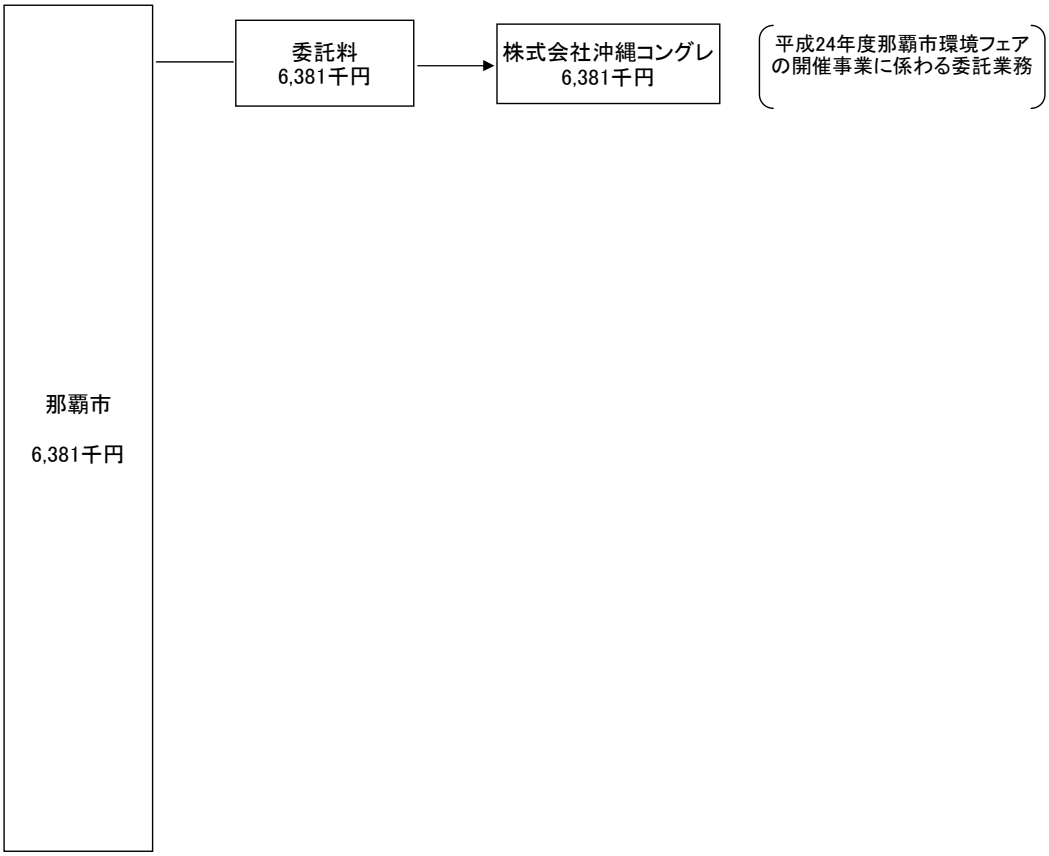
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・民間企業や業界団体主催の各種環境関連分野の展示会も増えており民間（企業・NPO・業界）で独自に取り組む社会環境が整ってきている。	・活動指標及び成果目標を達成し、事業実施に関する課題は特段無し ・本事業のような啓発活動においては、集客対策と周知・広報活動が重要となることから、同様の事業を実施する場合は、この点について留意する必要がある。

今後の取り組み方針

・上記の「推進上の留意点」に記載のとおり、外部環境の変化があることから　民間（企業・NPO・業界）で独自に取り組む社会環境が整ってきている。行政主導の環境啓発事業から、民間主導の環境啓発事業へシフトする時期となっており、本事業は平成24年度で終了とする。
・市民・事業者の環境に関する意識の高まりにより、各種専門分野の環境啓発事業のニーズが大きくなっている。総合的な環境啓発事業は平成24年度で終了し、今後は、各種専門分野の環境啓発事業を推進し、環境の保全・創造を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,381	6,381	5,104	1,277	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-②	リユース食器活用促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(2)－ア 3Rの推進
担当部課名	環境部　廃棄物対策課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

資源循環型社会実現のため、ごみ減量及び環境教育の一環として、市民等に貸し出すイベント用リユース食器、食器洗浄機等を整備する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,712				
	(b) 予算現額	1,712				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,712	0			
B. 執行済額		1,216				
うち交付金充当額		972				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		71.0%				

予算の状況の説明：食器洗浄機システムの入札による落札価格と見積価格との差（1,155,000円−735,000円＝620,000円　63.6%　）により、執行率71%となった。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・食器洗浄機設置数：1台 ・食器移動台購入：1台 ・食器類購入：3,000個	目　標	（　機器の購入　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	機器の導入			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年度においては、リユース食器の活用を推進する為、食器洗浄機等の機器の導入を進めた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・食器洗浄機設置数：1台 ・食器移動台購入：1台 ・食器類購入：3,000個	目　標	（　）	（　機器導入　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		導入済み			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24年度にて、食器洗浄機設置数：1台、食器移動台購入：1台、食器類購入：3,000個の購入・設置を行った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	資源循環型社会実現のため、ごみ減量及び環境教育の一環として、市民等に貸し出すイベント用リユース食器、食器洗浄機等を整備する。	リユース可能な食器の拡大及び食器洗浄機器の導入により、さらなるごみ減量及び環境教育の推進に努める。

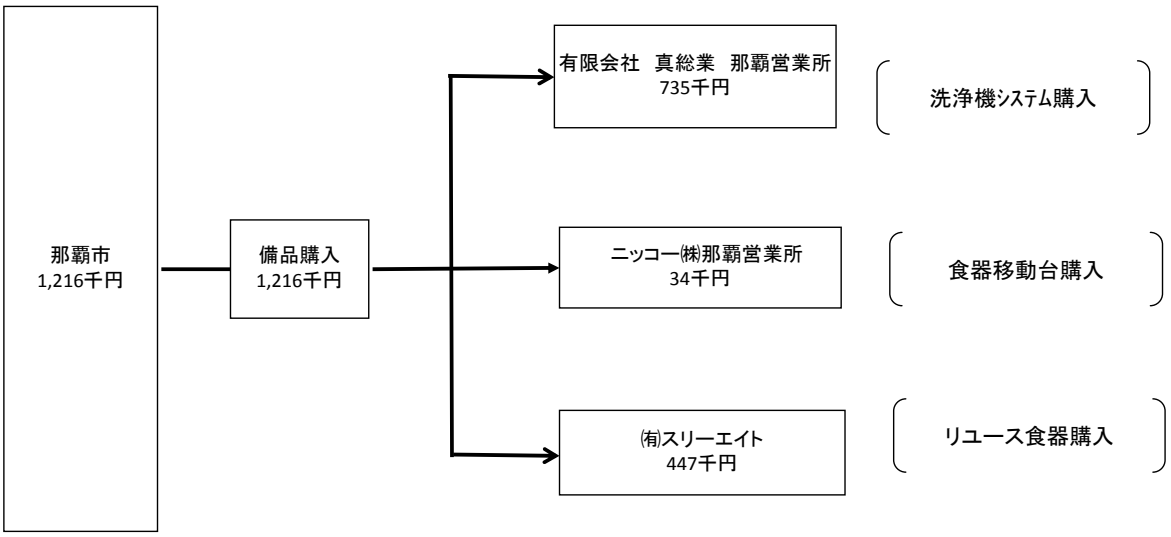
今後の取り組み方針

イベント等におけるごみ量減量化を図るため、リユース食器及び、食器洗浄機の導入を行った。
ごみ減量対策として、当市ではごみ減量4R対策を行っている。大量消費型社会の結果としてごみ量は増加傾向にあり、その対策として、ごみ減量化教育・環境教育が必要である。その一環で、リユースへの意識の定着を図り、拡大につなげることに努めたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,216	1,216	972	244	0

資源循環型社会実現のため、ごみ減量及び環境教育の一環として、市民等に貸し出すイベント用リユース食器、食器洗浄機等を整備する。



リユース食器の活用促進については、エコマール那覇プラザ棟の啓発事業推進業務委託の範囲として、事業委託している。　事業に係る経費として、リユース食器利用に係る実費費用として、100個単位で100円を徴収することとしている。

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	食器洗浄機については、指名競争入札により業者選定 食器移動台・リユース食器については3社以上の見積合わせにて業者選定しており、妥当だった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-③	モノレール沿線ベランダ緑化促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	環境部　環境政策課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

花と緑で潤いと安らぎのある「緑の美ら島」の創成実現やヒートアイランド現象の緩和、二酸化炭素の排出抑制など地球温暖化対策を目的に植栽プランターにより、建築物緑化の推進を図る。
事業の推進においては、波及効果が高い、モノレール沿線を事業重点地区と位置付け、全区間において植栽プランター等を無料配付し、ベランダ等（屋上・壁面含む）に集中的に設置することで「まとまった・見える建築物緑化」を構築するものとする。

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	65,184				
	(b) 予算現額	65,184				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	65,184	0			
B. 執行済額		63,776				
うち交付金充当額		51,020				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.8%				

予算の状況の説明

本事業は、モノレール沿線を重点地区と位置づけ、植栽プランターを無償で配布する事業であり、重点地区における植栽プランターの進捗状況によっては、対象地域を市内全域に拡大し、事業の展開を予定していたが、重点地区にて、植栽プランターの受注が得られたことにより、市内全域用として計上した周知・活動広報費（印刷物、新聞・市民の友折り込み費用等）の必要性が無くなり、1,408,636円の不用が生じた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
植栽プランターの配布鉢数	目　標	（3,000鉢）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2,684鉢			
植栽プランター設置件数	目　標	（600件）	（　）	（　）	（　）
	実　績	471件			

達成状況説明

本事業においては、価格の異なる植栽プランターを3種類設定し、受託者が建築物の状況に応じた緑化を提案し、希望する植栽プランターを配布していたが、価格設定が高い樹種の設置要望が多かった為、予算額に応じた配布個数となった。
また、本事業の趣旨である「まとまった・見える建築物緑化」の構築を図る為、建築物緑化の重点施設を設定し、効果的な緑化を図る為、基本配布鉢数（5鉢）を超えた配布を行ったことでの設置件数実績。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（18年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
モノレール沿線の建築物緑化面積2,000㎡の増加	目　標	（0㎡）	（2,000㎡）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2,415.6㎡			
【参考指標】第4次那覇市総合計画（3-3-2）人・自然・地球にやさしい環境共生都市（施設の緑化を促進する）	目　標	（6000㎡）	（16,000㎡）	（　）	（　）	（　）
	実　績		11,702.73㎡			

進捗状況説明

第4次那覇市総合計画において、助成による屋上・壁面の建築物緑化面積を年間2,000㎡の増加目標が設定されている。本事業において、植栽プランター2，684鉢を配布したことにより、緑化面積2，415．6㎡の増加
＊緑化面積（2，415.6㎡）：2,684鉢×0.9鉢/㎡（0.6m×1.5m）

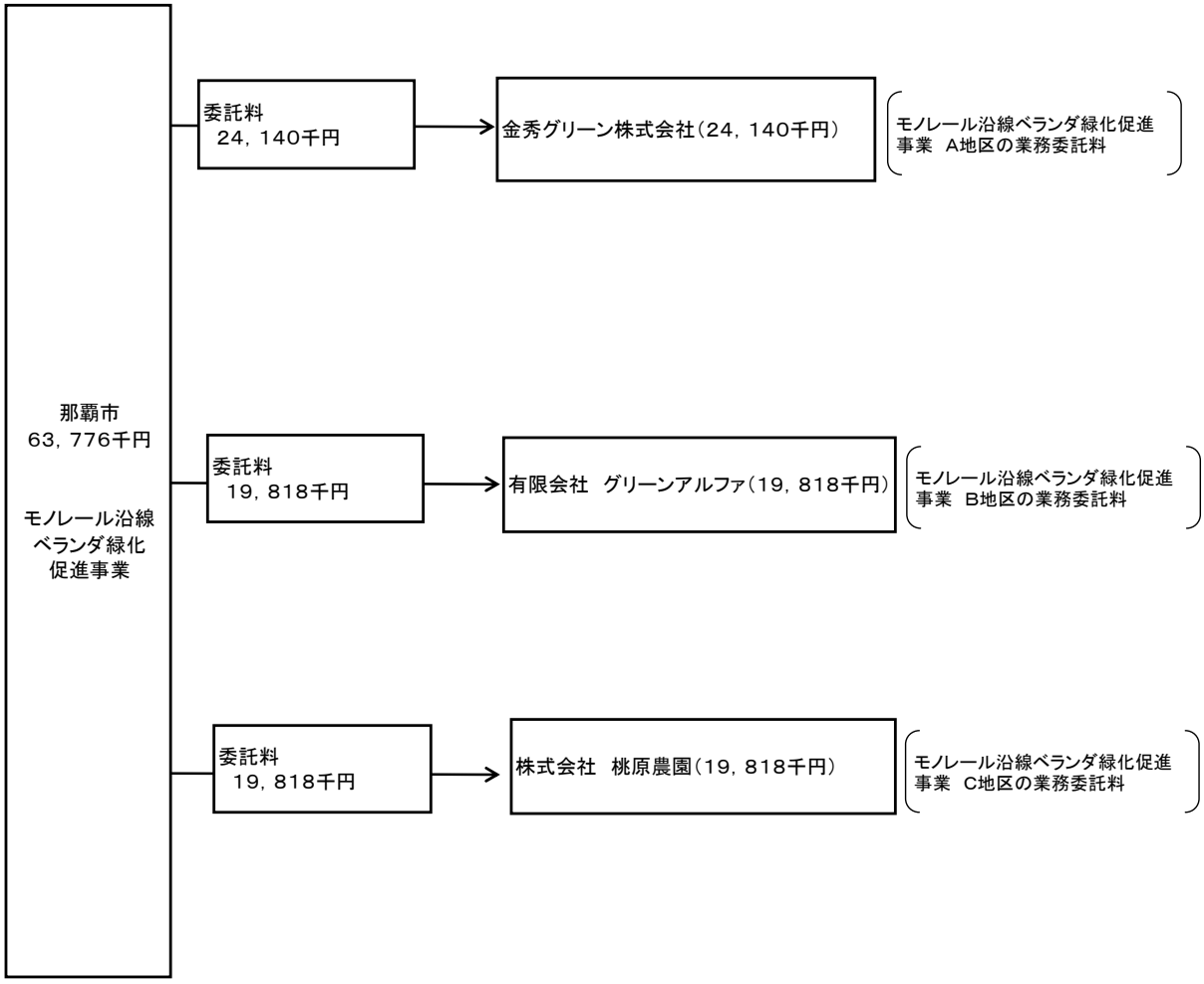
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	1本事業の重点地区であるモノレール沿線においては、区間によっては建築物の形態（低層住宅から中・高層住宅）が違う為、植物の生育環境が異なってくる。 2植栽プランターの設置に対して、容易に理解が得られない。	1亜熱帯気候をイメージさせる植物の中から、比較的維持管理が容易な樹種を選定した上で、事業協力への案内を行う。 2植栽プランター設置後の建築物イメージ図やモデル施設を設け、建築物緑化のイメージが得られやすい対応を図る。

今後の取り組み方針

平成24年度で植栽プランターの配布・設置は終了する。設置後は設置者の管理の下で、植栽プランターの維持管理を行う為、平成25年度は緑化講習会や個別訪問による緑化アドバスを実施し、植栽プランターを良好な状態に保ち、「まとまった・見える建築物緑化」を継続させるための支援業務を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
63,776	63,776	51,020	12,756	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-⑤	資源化車輌購入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(2)－ア 3Rの推進
担当部課名	環境部　クリーン推進課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

環境負荷の低減による環境共生都市の実現のため、負荷低減のPRとなる電動式フォークリフトを導入する。
ごみ減量、リサイクルの重要性などの環境問題の啓発活動の一環として実施する。
バッテリー式フォークリフト2台の購入。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,437				
	(b) 予算現額	6,437				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,437	0			
B. 執行済額		6,437				
うち交付金充当額		5,149				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通り執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
バッテリー式フォークリフトを導入	目　標	（ フォークリフト導入 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	フォークリフト導入			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年12月14日納車

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
環境負荷低減型のごみ収集車等の導入率	目　標	（ － ）	（ 61.4% ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		61.4%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24年12月14日納車

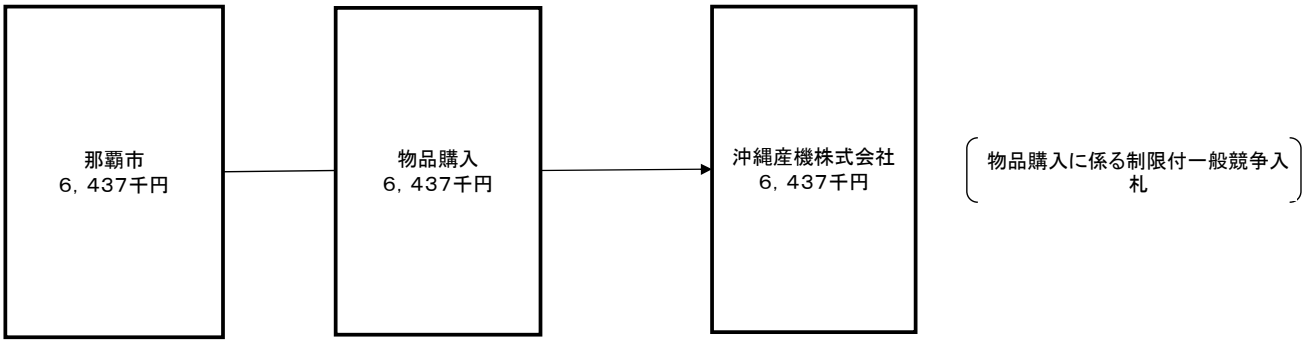
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	那覇・南風原クリーンセンターの見学者にバッテリーフォークリフトを紹介し、環境負荷軽減等の啓発活動を行った。	化石燃料の使用を削減できるバッテリー式であることをよりわかりやすくPRするため、バッテリーフォークリフトの車体に「バッテリーフォークリフト」などの文字を入れ、見学者だけにとどまらず、自己搬入する一般市民や搬出搬入する業者にも環境負荷軽減等の啓発を行う。

今後の取り組み方針

バッテリーフォークリフトを活用し、環境負荷軽減を訴えていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,437	6,437	5,149	1,288	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○制限付一般競争入札を実施したため、妥当であると考える。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12－⑥	観光振興に資する亜熱帯・島嶼地域型環境保全・創造事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(3)－ウ 低炭素都市づくりの推進
担当部課名	環境部　環境政策課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

本県の亜熱帯・島嶼地域の豊かで独自の自然環境という観光リゾート地としての優位性をさらに強化するため、今後必要となる観光に資する環境保全：創造事業を網羅した環境基本計画を策定する。策定する計画の内容は、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に沿って、本市が今後取り組む環境施策を盛込むこととなっている。本事業は2年間の継続事業であり、平成24年度は下記の事業を実施した。

・平成24年度　基礎調査、現状分析、基本方針等の策定
・平成25年度　上記の平成24年度の取り組みを踏まえ環境基本計画(案)策定

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,280				
	(b) 予算現額	3,280				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,280	0			
	B. 執行済額	3,280				
	うち交付金充当額	2,624				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通り執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定	目　標	・市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	・市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年度の市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針等を盛り込んだ暫定版を策定した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定	目　標	（　）	（市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24年度の市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針等を盛り込んだ暫定版を策定した。

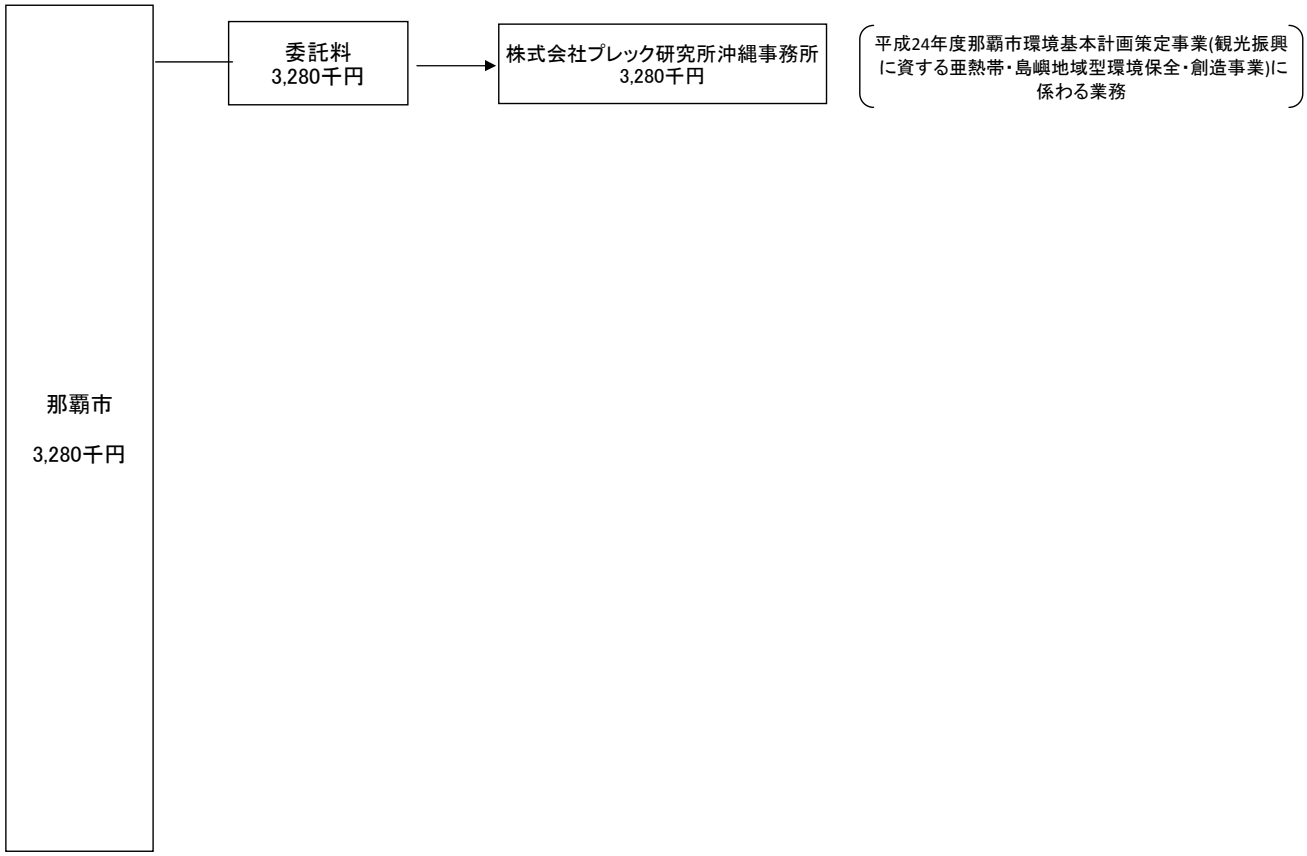
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・沖縄県においては、第二次の沖縄県環境基本計画が平成25年度より施行されている。県の環境基本計画との整合性を踏まえ亜熱帯・島嶼地域の都市型の環境基本計画を策定する必要がある。	・平成24年度の実績を踏まえ、平成25年度は、各種環境施策を盛込んだ新たな環境基本計画（案）を策定する。

今後の取り組み方針

・平成24年度の実績を踏まえ、平成25年度は、各種環境施策を盛込んだ新たな 環境基本計画（案）を策定する。平成26年度以降は、計画に盛込まれた各種環境施策にについて、毎年適切に進捗管理を実施することにより、亜熱帯・島嶼地域の環境保全及び創造を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,280	3,280	2,624	656	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-⑦	市内井戸・湧水等調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(2)－ア 3Rの推進
担当部課名	環境部　環境保全課		事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

平成16年度の市内全域の井戸・湧水・井泉の分布状況資料を基にあらためて位置、現存の有無等について現況調査を実施する。現状を把握することにより、今後の災害時等における水利用環境整備、及び、水資源有効利用による潤いのあるまち創り推進の基礎資料とする。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	15,519				
	(b) 予算現額	15,519				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	15,519	0			
B. 執行済額		13,968				
うち交付金充当額		11,173				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		90.0%				

予算の状況の説明

不用額が1,551千円発生しているが、委託費の入札差額によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、成果目標からも適正であったと思われる。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
井戸・湧水・井泉に対する調査件数	目　標	(　3,716件　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績	3,762件			
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明

平成16年度調査時に確認された地点を基本とし、再度調査を実施した。
新たに46件も対象に追加調査を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（16年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
井戸・湧水・井泉に対する調査件数	目　標	(　3,716件　)	(　3,716件　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績		3,762件			
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明

平成16年度調査時に確認された地点を基本とし、再度調査を実施した。
新たに46件も対象に追加調査を実施した。

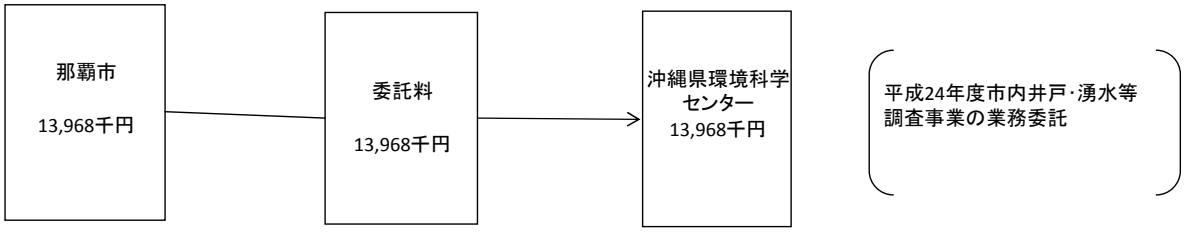
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（ア）市民の財産である井戸・湧水等調査における個人情報保護の徹底 （イ）外部環境として、東日本大震災後災害に対する市民の意識が高まってきている。	今後同様な調査を実施していく際についても個人情報の徹底を義務づけていく

今後の取り組み方針

今回の事業で調査した湧水の中の主な地点について水質を再調査し、水質の現況を把握し今後の水資源の有効利用、豊かな都市環境保全に向けた基礎資料として役立てていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,968	13,968	11,173	2,795	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により適正に選定及び執行されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-⑧	水資源有効利用推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(2)－ア 3Rの推進
担当部課名	環境部　環境保全課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置に対して補助を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,040				
	(b) 予算現額	1,040				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,040	0			
B. 執行済額		366				
うち交付金充当額		292				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		35.2%				
予算の状況の説明		・H24.7.31付内諾のため、それより前に受け付けた4件については、執行済額に含めていない。 ・執行率が約35%に留まった理由として、上半期における広報が十分でなかったことや、年度により申請状況に波があることと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
雨水施設等設置費補助件数	目　標	（　30件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	10件			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

・那覇市雨水施設等設置費補助金交付要綱に基づき、以下のことを行う。①補助金の交付が適当と認められた申請者に対して交付決定を通知する、②当該工事が完了したら、提出された実績報告書等に基づき現場確認を行い、申請者に対して交付確定を通知する、③申請者より提出された補助金交付請求書に基づき補助金を交付する。
・住宅に雨水貯留又は井戸水利用施設を設置する市民に対し、その費用の一部を補助することで水資源の有効利用を図ることに貢献した。
・活動目標を下回った要因として以下の2点が考えられる。①補助制度開始した平成14年度以降の実績を見ると、最小12件、最大27件、平均18件／年であり、その年により申請状況に波がある、②上半期における広報が十分ではなかった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
雨水施設等設置費補助件数	目　標	（　）	（　30件　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		10件			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

・住宅に雨水貯留又は井戸水利用施設を設置する市民に対し、その費用の一部を補助することで水資源の有効利用を図ることに貢献した。
・H25～H27年度まで当事業の継続は確定しており、事業費として各年度120万円（30件分）が計上されている。
・成果目標を下回った要因として以下の2点が考えられる。①補助制度開始した平成14年度以降の実績を見ると、最小12件、最大27件、平均18件／年であり、その年により申請状況に波がある、②上半期における広報が十分ではなかった。

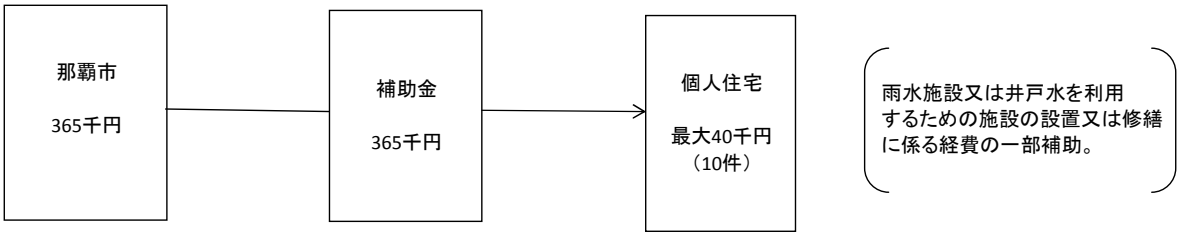
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・補助制度開始した平成14年度以降の実績を見ると、最小12件、最大27件、平均18件／年であり、その年により申請状況に波があるため、申請件数の予測が困難な面がある。 ・市民への周知・広報が十分ではない。	・広報にさらに力を入れる。

今後の取り組み方針

●周知・広報の強化
・那覇市広報（市民の友）で周知する。（4月、6月の2回）
・チラシを配布する。（自治会長会、各支所、公民館等）
・市ホームページで周知する。
・その他関係機関等を通して周知・広報を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
366	366	292	74	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・那覇市雨水施設等設置費補助金交付要綱に沿って交付対象者を決定しており、妥当であると考える。 ・今年度申請件数の様子を見て、次年度予算規模の変更を検討したい。 ・受益者負担の約3分の1を補助しており、妥当であると考える。 ・補助金額確定時において支出等に関する書類を確認し、適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-②	多言語避難所標識設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部・総務課	事業実施（予定）年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、避難所案内の多言語標識を市内の観光地を中心に設置する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	12,000				
	(b) 予算現額	12,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	12,000				
B. 執行済額		3,896				
うち交付金充当額		3,116				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		32.5%				

予算の状況の説明：執行残は落札残による。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・多言語標識設置 22ヶ所	目　標	（22ヶ所）	（　）	（　）	（　）
	実　績	22ヶ所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：観光客が訪れる機会の多い、若狭周辺に8ヶ所、国際通り・壺屋周辺に11ヶ所、新都心周辺に3ヶ所の計22箇所に最寄りの避難所への避難標識を設置した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
多言語の避難標識設置箇所数：22ヶ所	目　標	（0）	（22ヶ所）	（　）	（　）	（　）
	実　績		22ヶ所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：観光地に多言語で標識を設置したことで、地理的に不案内な観光客や外国人の迅速な避難に寄与するものと考える。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初計画していた事業内容はすべて実施しており、災害時には迅速な避難に役立つことが期待され、課題は無いと考える。	

今後の取り組み方針

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,896	3,896	3,116	780	0

那覇市
3,896千円

委託料
3,896千円

株式会社栄建
3,896千円

多言語避難所標識設置にかかる業務委託

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札による落札業者としており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-③	海抜表示看板設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部・総務課	事業実施（予定）年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、津波発生時に備えた海抜表示看板を市内各地に設置する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	840				
	(b) 予算現額	840				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	840				
B. 執行済額		620				
うち交付金充当額		495				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		73.8%				

予算の状況の説明：執行残は落札残による。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
海抜表示板設置 計162箇所約200枚	目　標	（162箇所 約200枚）	（　）	（　）	（　）
	実　績	162箇所 200枚			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市内162箇所に200枚の海抜表示看板を設置した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
海抜表示板設置箇所数：162箇所	目　標	（0）	（162箇所）	（　）	（　）	（　）
	実　績		162箇所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：住民の避難意識を高めるとともに、地理的に不案内な観光客等の避難の目安にもなり、災害発生時の避難体制の強化に寄与するものと考える。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初計画していた事業内容はすべて実施しており、災害発生時の避難体制の強化に役立つことが期待され、課題は無いと考える。	

今後の取り組み方針

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
620	620	495	125	0

那覇市
620千円

委託料
620千円

株式会社こんぱす
620千円

海抜表示看板設置にかかる業務委託

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札による落札業者としており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13－④	救命講座普及啓発推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	消防本部　救急課	事業実施（予定）年度	平成24～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進する為、応急手当講習を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,386				
	(b) 予算現額	5,386				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,386	0			
B. 執行済額		5,167				
うち交付金充当額		4,133				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.9%				
予算の状況の説明		計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・臨時職員4人を採用し、定期救命講習、出前救命講習を実施する。 ・応急手当重要性及び救命講習に関するPR活動を実施	目　標	応急手当普及啓発活動の推進に関する実施	（　）	（　）	（　）
	実　績	上記要綱に基づき実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：普通救命講習Ⅰ・Ⅲ、上級救命講習、救急入門コース、応急手当普及員講習などの全ての講習に対応している。従来15名以上が条件であった出前講座を5名以上に変更し対応、そのため、主であった定期講習から出前講座の依頼も増加し、徐々に救命講習の必要性が浸透しつつある。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
応急手当受講者数:5000人	目　標	（0人）	（5,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		6,290人			
【参考指標】 平成23年度　応急手当受講者数4463人（独自調査）	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：8月からの事業実施により、平成24年度において、受講者数の目標値を大きく上回った。AEDの普及に伴い市民の意識が高まり、25年度もさらなる受講者が見込まれる。

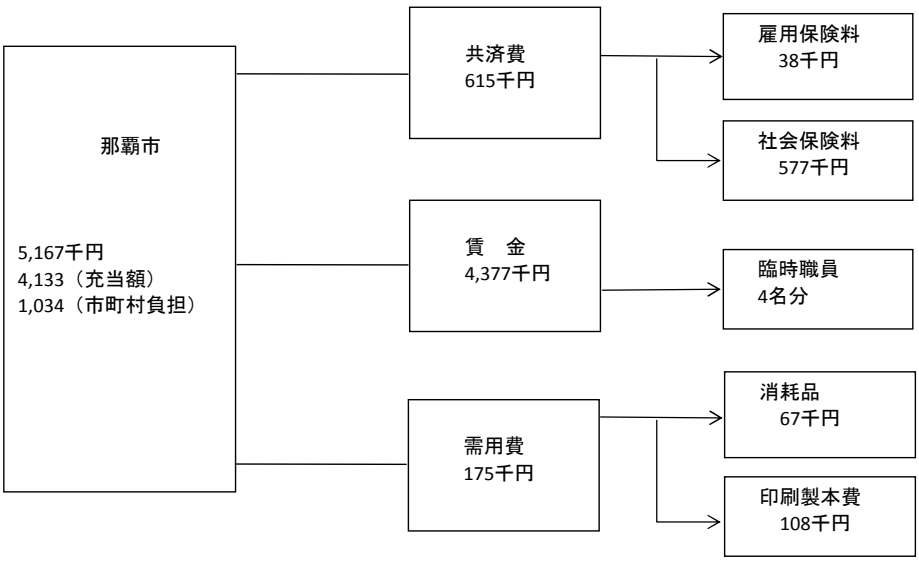
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・出前講座を従来15名以上の条件から、5名以上に条件変更することにより、より多くの市民のニーズに対応することが可能となった。 ・夜間及び土、日における開催 ・非常勤勤務体系の問題 ・受講者数の増加	・出前講座の条件人数の検討 ・夜間及び土、日における開催の検討 ・定期講習・出前講座の開催数検討

今後の取り組み方針

・出前講座の条件は、現状どおりで25年度も実施する。
・夜間及び土日の実施については、さらなる検討が必要とし25年度については、当面、平日の日中で対応する。
・市内小中学校への救命入門コースのアプローチ
・応急手当普及員講習の案内強化

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,167	5,167	4,133	1,034	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・全ての費目・使途は必要なものに限定 ・需用費に関しては、消耗品（臨時職員被服代）、救命講習に伴う修了証カード（業者限定）を見積もり合わせで購入する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13－⑤	中学校区防災安心安全マップ作成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4) 社会リスクセーフティーネットの確立
担当部課名	市民文化部　市民生活安全課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、津波などの大規模災害への対応と、地域の危険箇所を確認できるよう、中学校区ごとに防災安心安全マップを作成して配布する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額					
	(b) 予算現額	9,372				
	(c) 増減額 (b-a)	9,372				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,372				
B. 執行済額		9,114				
うち交付金充当額		7,290				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.2%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・防災安心安全マップの配布数：17,000枚（配布先）市内17校の中学校、160自治会、市立図書館その他 ・マップのシームレスPDFデータをHPで発信	目　標	（17,000枚作成・配布）	（　）	（　）	（　）
	実　績	17,000枚作成・配布			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：生活地図株式会社と委託し、中学校区防災安心安全マップを作成。那覇市安全で住みよいまちづくり推進協議会事務局で市内17校の中学校を回り、中学校関係者（安全主任・生徒指導教諭、青少年指導員、少年補導員等）とともに計2回ずつの制作会議を実施。1回目は避難場所及び危険箇所を聞き取りのうえ白地図に書き込み、2回目に校正を行った。市内全17中学校へA0サイズの大きなパネルを寄贈、A2サイズのマップを全中学生、市内37校の小学校、保育所・幼稚園、児童館、市立図書館等へ配布した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
防災安心安全マップの配布数：17,000枚	目　標	（－）	（17,000枚）	（　）	（　）	（　）
	実　績		17,000枚			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内17中学校区ごとに震災や津波被害への迅速な避難ルートだけでなく、子どもたちの安全を守るために暗がりや危険な道路などの危険情報を盛り込んだ防災安心安全マップを作成。海抜高度による色分けと、全地番が付された地図上に情報を入れることで、子どもたちが自分の居場所からの避難ルート及び地域の危険箇所を一目で分かる地図を17,000部作成した。全中学生だけでなく、自治会や小学校、保育所・幼稚園、児童館等にも配布することにより、地域の防災意識及び危険箇所の認知に繋がった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	1．協力体制の確立の難しさ 学校行事や協力者の時間の制約もあって、制作会議の実施調整にとまどった。 2．情報を掲載する上でプライバシーは風評に配慮する必要があった。	1．校長会等を通して、学校へのさらなる周知を図るとともに、制作会議の時間帯の見直しを図る。 2．考えられるケースを想定し、掲載ルールを作成し、情報提供者にこういう表示でいいかをその場で提案できるようにする。

今後の取り組み方針

1．自治会長会連合会や警察、教育関連機関、団体で構成され、安全で住みよちまちづくりに関する課題や取り組みについて協議する、那覇市安全で住みよい推進協議会にて、保安灯の普及、促進や、暗い地域の防犯パトロール体制等について検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,114	9,114	7,290	1,824	

那覇市
9,114千円

- **委託料 8,925千円** → **生活地図株式会社 8,925千円**（**中学校区防災安心安全マップ作成にかかる委託業務**）
- **報酬 76千円** → **那覇市安全で住みよいまちづくり推進協議会部会 76千円**（**部回開催（2回）にかかる非常勤職員報酬**）
- **旅費 94千円** → **那覇市安全で住みよいまちづくり推進協議会部会及び各中学校調整（制作会議）分 94千円**（**部回開催（2回）及び各中学校調整（制作会議）にかかる費用弁償**）
- **需用費 2千円** → **那覇市安全で住みよいまちづくり推進協議会部会 2千円**（**部回開催（2回）にかかるお茶代**）
- **使用料及び賃借料 17千円** → （**各中学区調整（制作会議） にかかるタクシー 使用料**）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は、建物ひとつひとつに地番を付した基図についての特許を有し、その地番によって、生徒達が自らの居場所からの避難ルートや危険情報をすぐに読み取れること、世帯名を省略し地番のみで表記することで縮小表示・個人情報の保持が図られること、海抜高度による色分けによる標高情報などがあること等を勘案した上で、随意契約を結んでおり、妥当であったと考えている。 ・費目、使途についても事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等による書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13－⑩	那覇市コンビニAEDステーション設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	消防本部　救急課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	39,841				
	(b) 予算現額	39,841				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	39,841	0			
B. 執行済額		39,474				
うち交付金充当額		31,579				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.1%				
予算の状況の説明		計画どおりに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市内コンビニ100店舗以上にAEDを設置	目　標	（　100店舗以上　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	118店舗			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・達成状況が上回った要因としては、コンビニ側の不安材料（AEDを設置した場合の責任問題・安全性・重要性）について、時間をかけて説明することにより理解協力を得られ、又、コンビニ側の地域への社会貢献理念が一致し那覇市内24時間営業の118全店舗に設置できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数（設置率）	目　標	（　0%　）	（　100%　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100%			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・24時間営業のコンビニにAEDを設置計画することにより、公共施設や事業所に設置されているAEDが夜間及び休日に使用できないことやコンビニは市内に広く分布し、24時間利用できるAED設置場所としてはとても有効だと、メディアで大きく取り上げられ広く広報ができた。また消防本部が実施している応急手当講習の受講者も急増し、AEDの重要性が広く広報できた。

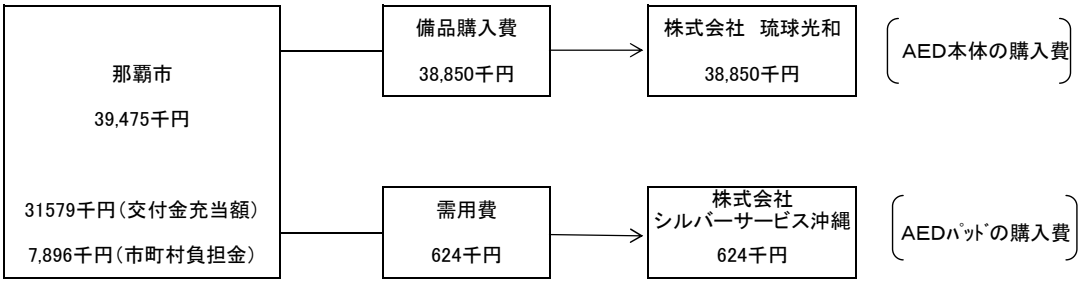
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・事業を推進するにあたり、全国各地の自治体から多くの問合せがあり、好評価を受けたことから、モデルケースとして資料等の準備が必要。 ・「コンビニ＝AED」「コンビニに行けばAEDがある」という意識づけをするため、更なる広報活動を構築する必要がある。 ・年間数店舗の新規開店や閉店、改装などがあり、「全店舗設置」「いつでもコンビニに行けばAEDが設置されている」状況になることが難しい	・「全店舗設置」「コンビニに行けばAEDがある」というコンセプトから①コンビニの閉店及び改装に伴い、AEDの貸し出しが出来ない場合は、電子触媒等を利用した広報を行う。②新規開店店舗にもオープンにあわせて設置できるよう事前に購入し準備する。

今後の取り組み方針

・24時間利用できるAEDの観点から、24時間営業の「ファミリーレストラン」「ガソリンスタンド」「ファーストフード店」も視野に入れて拡充を検討したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
39,474	39,474	31,579	7,895	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入費及び需用費の支出先は、入札により決定。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑫	災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ中央ｾﾝﾀｰ等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	福祉部　福祉政策課	事業実施（予定）年度	平成２４	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

地震、津波、台風などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害ボランティア中央センターに配置する備品の整備を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,043				
	(b) 予算現額	3,043				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,043	0			
B. 執行済額		1,861				
うち交付金充当額		1,489				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		61.2%				

予算の状況の説明

・不要額が1,182千円発生しているが備品整備の入札残によるものである。
・活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・マニュアル策定委員会の設置及びマニュアルの策定	目　標	（　マニュアル策定　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	マニュアルを策定した			
・災害ボランティア中央センター備品の整備	目　標	（　備品の整備　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	備品が整備された			

達成状況説明

・マニュアル策定委員会を設置し、マニュアルが策定された。
・災害ボランティア中央センターの必要な備品が整備された。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
①　災害ボランティア中央センター等運営マニュアル策定 ②　災害ボランティア中央センター等の備品整備	目　標	（①未策定 ②未整備）	（①策定済 ②整備済）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		①策定済 ②整備済			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

・マニュアル策定委員会を設置し、マニュアル策定済。
・災害ボランティア中央センターの必要な備品が整備済。

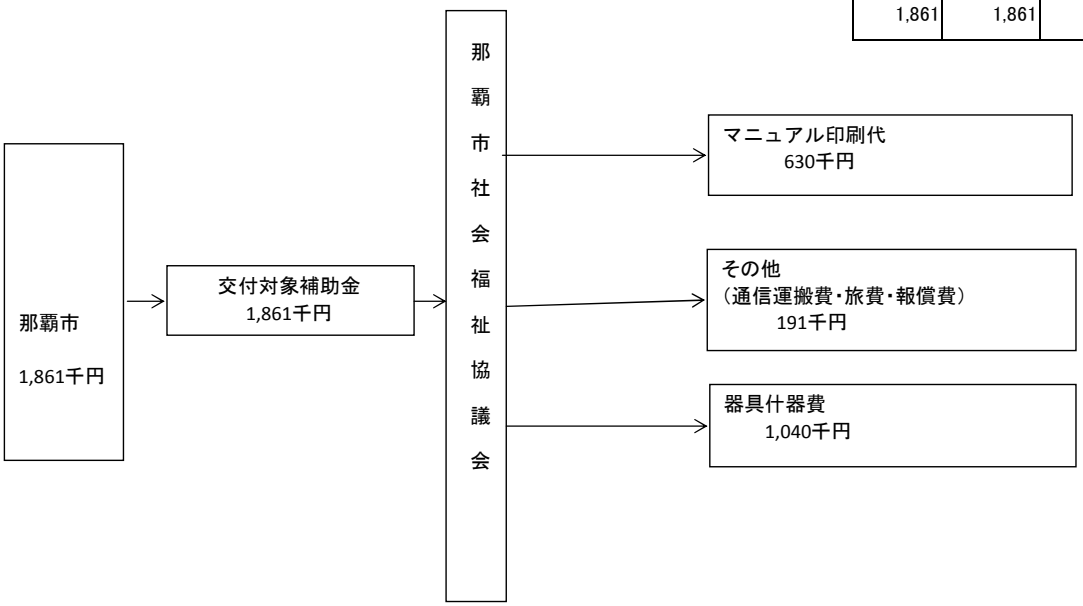
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・訓練を通して、策定したマニュアルの検証を行とともに、今回整備した備品の使用方法を確認する。訓練後にマニュアルの改訂や備品の再整備等を含め、今後の検討課題とする。	・整備されたマニュアル及び備品を十分に活用するには、日ごろからの訓練や、マニュアルの内容を熟知し、災害に対応できることである。

今後の取り組み方針

・マニュアルを活用し避難訓練等を実施する。
・整備した備品を台風等の小災害等でも活用し、大災害に備える。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,861	1,861	1,489	372	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	補助先である那覇市社会福祉協議会は、那覇市地域防災計画で災害ボランティア中央センター等を立ち上げることが規定されているため、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑬	応急給水用簡易貯水槽の購入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 社会リスクセーフティネットの確立
担当部課名	企画財務部財政課 （上下水道局総務課）	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時における応急給水時の給水拠点となる簡易式の貯水槽(2t)を20基購入して応急給水体制の整備を図る。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,274				
	(b) 予算現額	4,274				
	(c) 増減額(b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計(b+d)	4,274	0			
B. 執行済額		3,689				
うち交付金充当額		2,951				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		86.3%				
予算の状況の説明		・不用額が399千円発生しているが、入札による落札差額であり、当初計画していた事業内容は予定どおり実施しており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・応急給水用簡易貯水槽(2t)保有数:20基	目　標	（　保有数:20基　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	保有数:20基			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：応急給水用簡易貯水槽(2t)を20基を調達し、災害時の応急給水体制を強化できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
応急給水用簡易貯水槽保有数:20基	目　標	（　0　）	（　20基　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		20基			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：応急給水用簡易貯水槽(2t)を20基保有することにより、地震等の災害発生時において応急給水用簡易貯水槽の活用により13,300人への応急給水が可能となった。

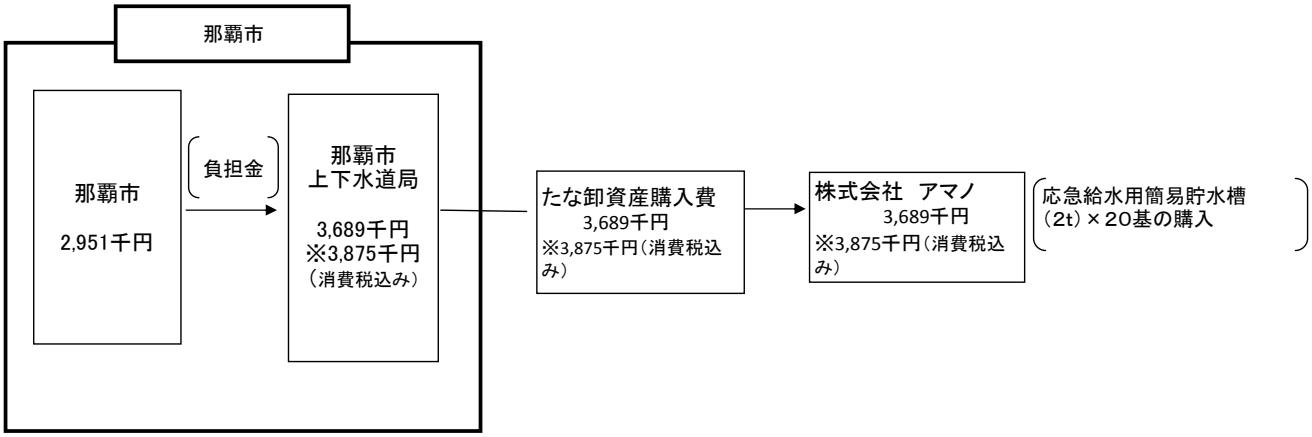
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	応急給水用簡易貯水槽（2t）を20基の購入により災害時の応急給水能力は高まったが、運用要領が整備されていない。	災害時における応急給水用簡易貯水槽（2t）を活用した応急給水に関する運用要領の整備。

今後の取り組み方針

危機管理計画の改定を行い、その中で災害時における応急給水用簡易貯水槽（2t）を活用した応急給水に関する運用要領の整備についても検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,689	3,689	2,951	738	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付金交付要綱に沿った事業であり、負担金支出は妥当である。 ○契約については商品の取扱いのある業者を対象に指名競争入札により業者選定しており支出先の選定方法は妥当であったと認識している。 ○費目及び使途共にが事業目的に即し真に必要なものに限定されており妥当であったと認識している。。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑱	災害備蓄品整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部・総務課	事業実施（予定）年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、大規模災害に備えた非常食糧等の備蓄品を購入し整備する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	59,207				
	(b) 予算現額	59,207				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	59,207				
B. 執行済額		59,207				
うち交付金充当額		47,365				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初は、備蓄品の目標数を保管する場所の確保が出来ないことから、備蓄品については5年かけて整備し、その間に保管場所等の検討を進めるという計画を立てていたが、教育委員会から余裕教室の利用について前向きな回答が得られたため、当初計画を変更し、平成24年度で目標数を整備することとしたため、大幅な補正増となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
食糧・保存水の購入 ・（人口の20分の1）×３日分 ・各小中学校へ分散備蓄する	目　標	（　144,000食　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	164,276食			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：地域防災計画上の目標を上回る備蓄食料品を整備することが出来た。
備蓄用の物置も購入し、各小中学校及び市民体育館へ分散備蓄した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
災害備蓄品備蓄率：100%	目　標	（　0　）	（　100%　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		114%			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：収容避難所である市内の各小中学校及び那覇市民体育館に、備蓄品を分散保管したことで、どこに避難しても備蓄品の提供を受けられる体制が整った。

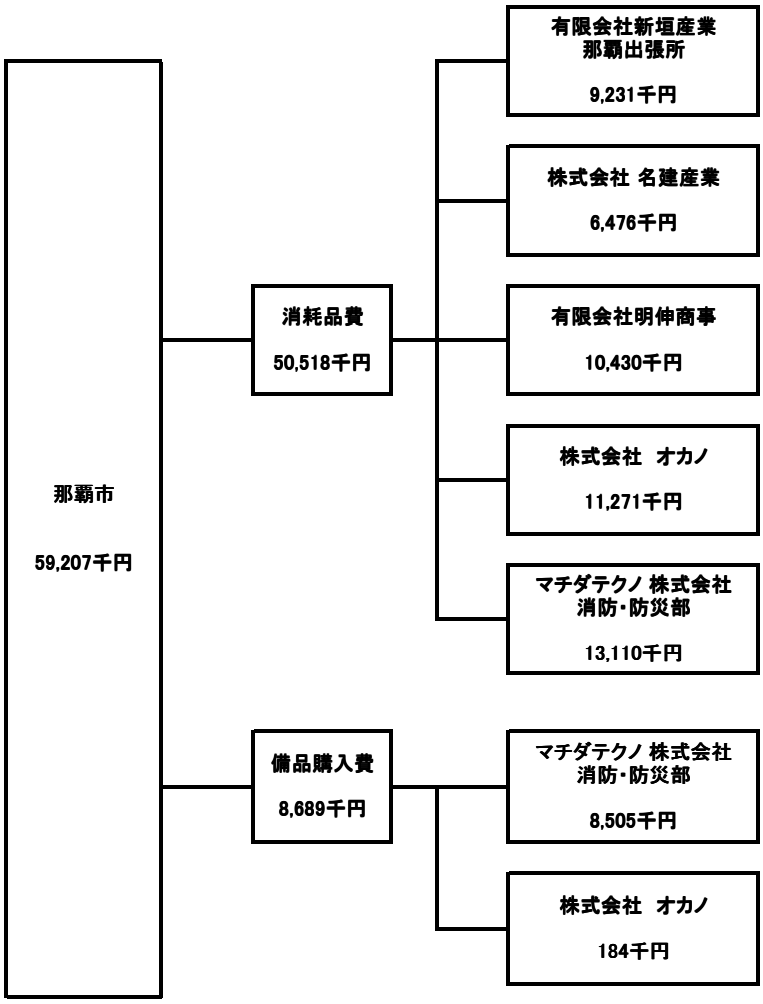
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	1．5年内に大きな災害が起こらなかった場合、5年後に賞味期限切れの備蓄品を大量に抱え込むことになる。 2．賞味期限の切れる5年後に再度、購入する場合に財政負担が大きい。	1．大量廃棄処分を避けるべく平時での活用方法を検討する必要がある。 2．毎年5分の1ずつ購入し、補充する。

今後の取り組み方針

各学校で毎年開催する避難訓練等の際に5分の1ずつ使用することで、賞味期限切れによる大量廃棄処分を防ぎつつ防災教育、防災意識向上にも役立てる。
毎年5分の1ずつ新たな備蓄品の購入、補充をすることで、財政負担や賞味期限を分散させ、備蓄率を維持する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
59,207	59,207	47,365	11,842	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札により、事業を実施したため契約業者・契約金額は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-②	『なぐやけ』整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－4－(2)－ウ アジア･太平洋地域の安定と平和に資する平和･人権協力外交の展開
担当部課名	総務部　平和交流・男女参画課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情（沖縄戦）に対応するため、戦後50周年事業の一環として建立された恒久平和モニュメント『なぐやけ』を再整備し、恒久平和の願いを発信する平和都市の記念碑とする。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,935				
	(b) 予算現額	4,935				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,935				
B. 執行済額		4,912				
うち交付金充当額		3,928				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.5%				
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
恒久平和モニュメントの整備：1ヶ所	目　標	（　1ヶ所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1ヶ所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	遺族会と調整を図りながら、予定通り年度内に恒久平和モニュメント「なぐやけ」の整備を完了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
恒久平和モニュメントの整備：1ヶ所	目　標	（　0　）	（　1ヶ所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1ヶ所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	成果目標に掲げた整備を無事完了した。

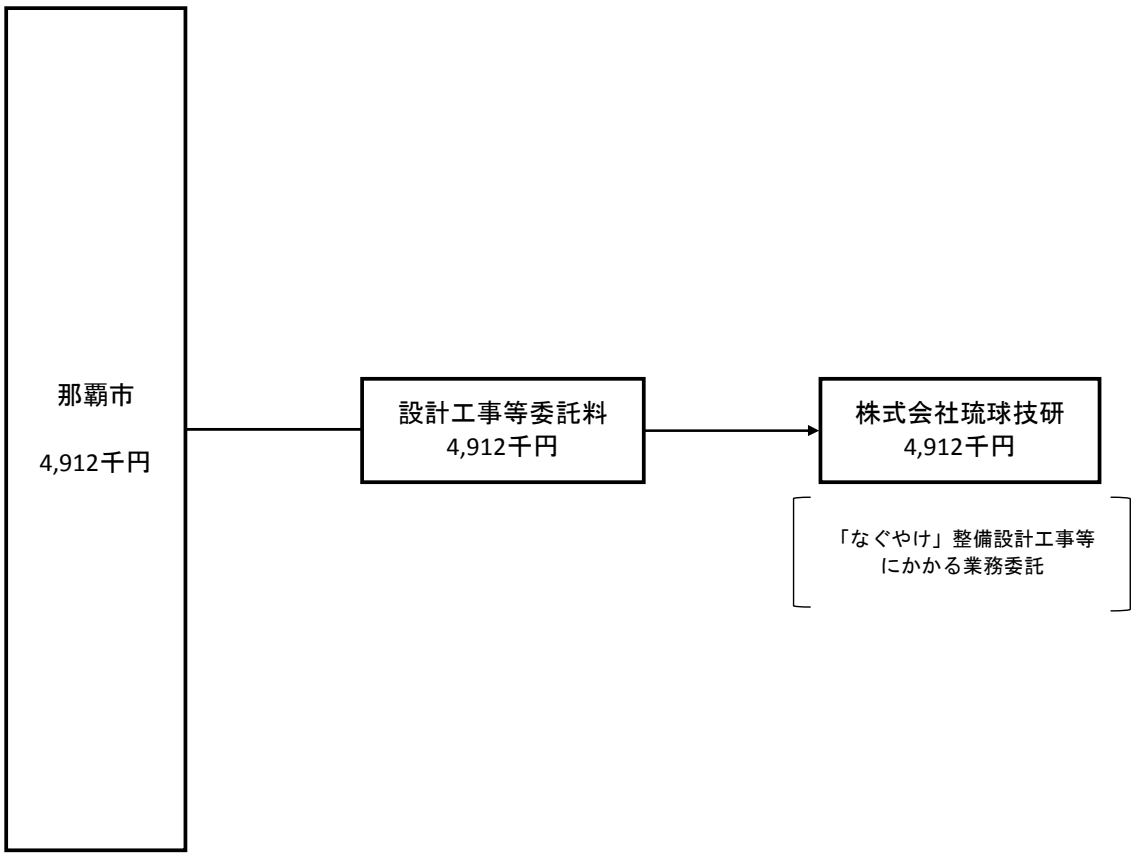
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	遺族会より、「なぐやけ」が那覇市の平和発信のシンボルとして広く認識されていないのではないかとの懸念があった。	「なぐやけ」の周知方法の検討

今後の取り組み方針

那覇市の平和発信のシンボルとして、戦跡・平和ガイドコースを設定する際にそのコースに組み込み、、市内外の皆様によりその存在を認識していただくよう努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,912	4,912	3,928	984	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先業者とは地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定に基づく随意契約を締結。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-③	ライナープレート整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ 戦後処理問題の解決
担当部課名	総務部・総務課	事業実施（予定）年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情（不発弾処理）に対応するため、処理までの保管と処理時の防護壁となるライナープレートを整備する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,360				
	(b) 予算現額	2,360				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,360				
B. 執行済額		1,212				
うち交付金充当額		969				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		51.4%				

予算の状況の説明

・当初予算と比べ、保管用1基と蓋を追加要求したため、918千円の増となっている。
・不用額が1,148千円発生しているが、物品購入の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施しており適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ライナープレート購入 ・処理までの保管用として4セット ・処理時の防護壁として1セット	目　標	（　5セット　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	5セット			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：不発弾の処理までの保管と処理時の防護壁となるライナープレートを合計5セット購入した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
不発弾処理用 防護壁（ライナープレート）の 整備数：合計5セット	目　標	（　0　）	（　5セット　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		5セット			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：不発弾の発見から処理までの期間を、保管用ライナープレートを用いることで、安全安心に保管することができる。
また、処理の際は処理用のライナープレートを用いることで避難範囲を狭め、道路の封鎖や公共交通機関の路線変更の範囲を狭めることができ、市民の精神的負担、経済的損失を軽減させられる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初計画していた事業内容はすべて実施しており、不発弾の安全安心な保管・処理に役立つことが期待され、課題は無いと考える。	

今後の取り組み方針

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,212	1,212	969	243	0

那覇市
1,212千円

原材料費
1,212千円

有限会社明伸商事
1,212千円

ライナープレートの購入

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札により、事業を実施したため契約業者・契約金額は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14－④	地下壕対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくり防災体制の強化
担当部課名	建設管理部　建設企画課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情（地下壕）に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	0				
	(b) 予算現額	5,000				
	(c) 増減額 (b-a)	5,000				
	(d) 前年度繰越額					
	A. 計 (b+d)	5,000	0			
B. 執行済額		4,200				
うち交付金充当額		3,360				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		84.0%				
予算の状況の説明		執行残については、業務委託費の入札によるもの。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
地下壕危険度の判定等及び優先度と対策工の提案	目　標	（危険度判定及び優先度等提案）	（　）	（　）	（　）
	実　績	危険度判定及び優先度等提案			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	
	地下壕実態調査検討業務委託を実施し、那覇市内に現存する未対策地下壕の危険度の判定及び優先度と対策工の提案を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
地下壕危険度の判定等及び優先度と対策工の提案をする	目　標	（　－　）	（基礎調査）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基礎調査			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	
	地下壕の危険度の判定及び優先度と対策工の提案を行う基礎調査を完了した。

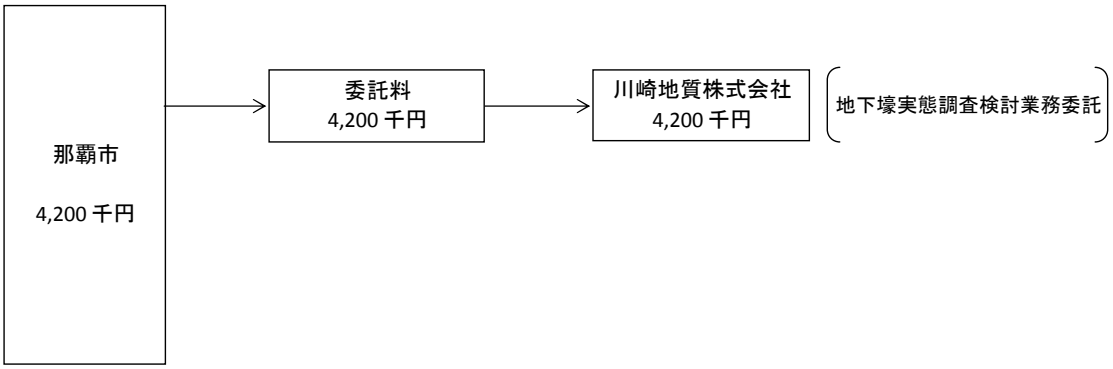
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○壕の埋め戻しについて、土地所有者等の同意 ○壕の危険度等、状況変化への対応（新たな壕の発見、優先度の見直し）	○関係者、関係部署との連携

今後の取り組み方針

○壕に関する関係者、関係部署との連携を図り、危険度の高い壕から順次埋め戻し等を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,200	4,200	3,360	840	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は競争入札方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであり適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	15－①	戦災滅失沖縄関係戸籍の電算化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2 心豊かで、安心・安全に暮らせる島を目指して
担当部課名	市民文化部　　市民課	事業実施（予定）年度	平成24年度～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(戦争により失われた戸籍の問題)に対応するため、戦災により滅失し、再製された沖縄関係戸籍を電子データ化する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	74,995				
	(b) 予算現額	74,995				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	74,995	0			
B. 執行済額		62,839				
うち交付金充当額		50,271				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		83.8%				
予算の状況の説明		・不用額のうち10,689千円は、業務委託の変更契約による委託料の減額によるものであるが、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
沖縄関係戸籍の電算化の実施 対象戸籍数：85,000件	目　標	（原票読み込み作業の完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績	原票読み込み作業の完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：沖縄関係戸籍を電子化するための紙原票の読み込み作業（原簿解体→ナンバーリング→原本スキャン→原本戻し入れ）であり予定していた原票はすべて読みを完了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（25年度）
沖縄関係戸籍の電算化着手	目　標	（　）	（原票読み込み作業の完了）	（　）	（　）	（電算化率100%）
	実　績		原票読み込み作業の完了			
【参考指標】 市独自調査	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24年度で読み込み完了した沖縄関係戸籍の原票データを電算化するため、平成25年度に業務委託を行い、平成26年3月に沖縄特殊戸籍管理システムを稼動させる。

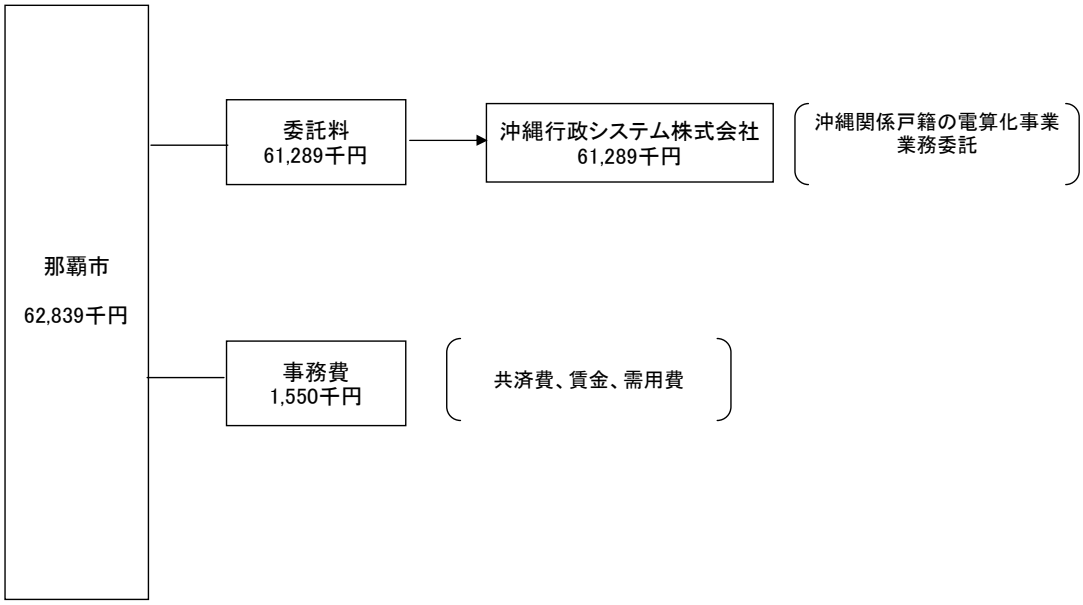
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	沖縄関係戸籍は、古い書類のため、読み込んだ画像の写りが懸念される部分も多い。委託業者が見出しデータを作成する際の姓名の文字や本籍地番等の不明瞭な箇所の問い合わせが、多数発生することが予想される。	問い合わせには「見出し不明リスト」を提供してもらい、それに返答することになるが、判断に時間を要することが考えられるので、リストは作業の進捗状況にそって複数回に分けて提供するよう依頼する。

今後の取り組み方針

限られた期間で「見出し不明リスト」に返答できるよう、戸籍担当職員全員で取り組める体制を作る。
平成25年度は、システム構築を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
62,839	62,839	50,271	12,568	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、現システムとの相互関連性を勘案した上で、随意契約しており、妥当であったと考えている。（地方自治法施行令第167条の2第1項2号に基づく） ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	